



1

0040825-000

259-628

祖国を願みて

今関大造・著

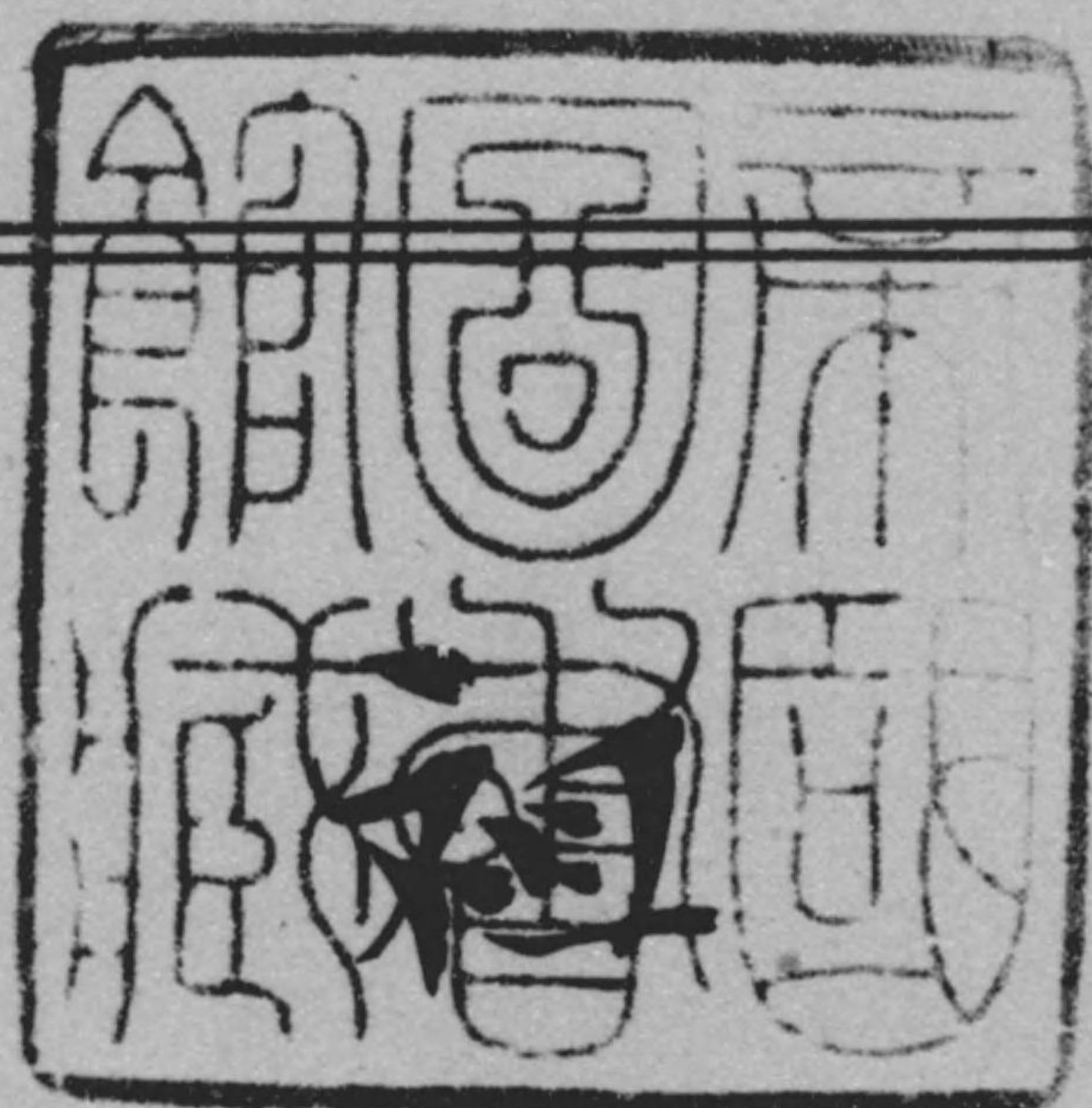
教育出版社

昭和7

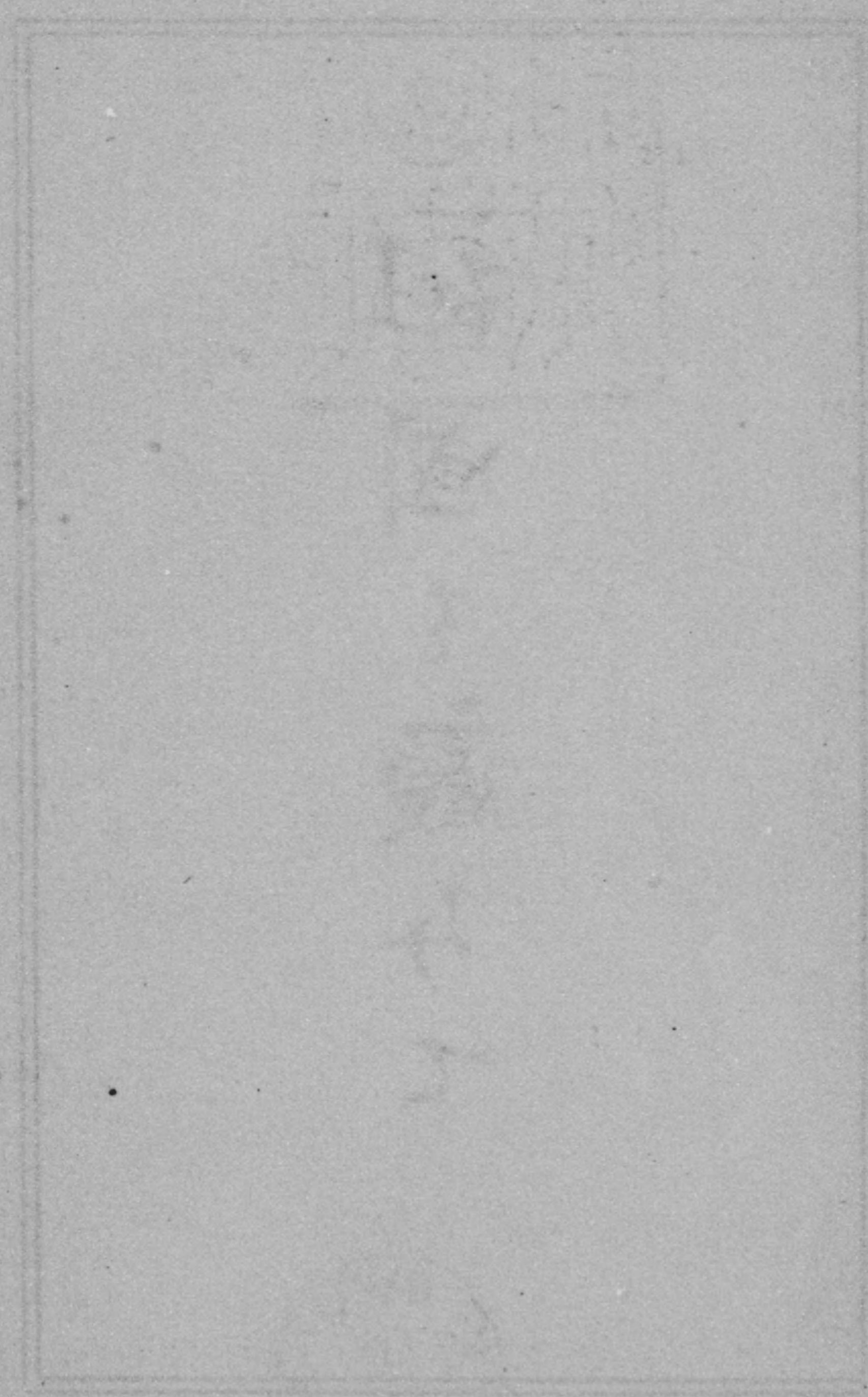
AHA

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第67条の規定に基づき、平成12年3月2日
けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです

87



國を顧みて



1871
1872
1873
1874
1875
1876
1877
1878
1879
1880



者 著

259-628

序

畏友 今關大造君、曩に米國各地を巡歴して、教育の實際を中心に置き、社會各般の事象に就いて、明敏そのもの、様な、君獨特の觀察眼を以て視察を遂げ、その一々に對して透徹した嚴正な批判を加へて、他山の石、以て我が玉を磨く資料たらしめむとして、巡歴の經過と所見とを直截簡單に叙し本書を公にせられるに至つた。

1 米國は何事でも世界一を以て自ら誇りとし居るだけ、流石に偉大な國である。彼の自由平等正義を結合した米國魂を根

蒂に置いて、大仕掛な、思ひ切つたやり口、生々した活動は、政治經濟産業其他の上に躍如として居る。

教育の如き亦其の例に漏れないので、我國などに直ちに移植の出来ないものもある。のみならず、彼の教育は彼の爲めに自然に發達したもので、國情の違ふ我に用なきものもあるのである。況んや最美の裏に最醜の潜んで居ることも見逃すことの出来ぬ場合に於ては尙更である。世界一の長所を有する米國には世界一の短所もある。米國を觀る一部の人士が米國の偉大さに眩惑して、無思慮に之を崇拜して、寧ろ其の短所に米化して顧みざるもの、如きは實に困つた事である。米

國といはず何れの國にも、我の學ぶべきもの勿論少しとしな
い、これを探つて我國化するところに大切な用意がある。今
關君の米國教育の研究は茲に周到な注意が拂はれて居ると思
ふ。蓋し讀むものにとつて好箇の參考資料たるべきを信じて
疑はない、敢てこれを世の教育實際家に推奨する。

昭和六年十月

芝公園内教育局に於て

藤 井 利 譽

はしがき

好奇心に富み而も模倣性の旺盛なることは我が國民性の一面とはいへ、現今の如く我が世相のあまりに米國かぶれをして居ることは誠に憂ふべきことである。勿論採長補短以て我が文化の向上をはかることは極めて大切ではあるが、自己を滅却してまでも他を模倣しこれに追従するが如きは殆ど自尊心と自重心とを缺ける劣等民族の行動にも比すべきで、これ自覺ある文明國民の大に恥づべきことである。近頃の我が新しがりの如く一も二もなく米國を崇拜して殆ど其一切を謳歌し模倣するに至つては何所に一等國民たるの價値あるやを疑はざるを得ないのである。この米國崇拜の思想がもたらした所謂アメリカ思想とその風習の移入が、如何に我が道徳に對する國民の信念を動搖せしめたかは蓋し思ひ半に過ぐるであらう。教育の方面に於ても亦米國模倣の種々の新主張が

續出し、爲に教育の思想界は混沌として歸一を失ひ、その實際に於ても亦徒に彼の模倣に陥りて或は一時の流行を追ひ、或は研究を名としてこの重大なる教育の事業を一時の實驗材料に供するものゝあることなどは實に由々しき問題といふべきである。勿論私と雖も米國式教育法のすべてを否定するものではないのであるが、世の奇を好む人々のやうに、彼我の風俗習慣や兒童の素質環境等の相違を無視してたゞ譯もなく彼の方案を直に我が兒童に適用するが如きは、理論的にも肯定し能はざるのみならず教育上にはまことに寒心せざるを得ないのである。苟も彼の方案を我が教育に適用せんとするならば、先づ以て彼の地の實狀に接してよくその社會相を洞察すると共に社會風潮と教育思潮の因つて生じたる事情を察知し、以て彼に取つては如何に適切なる方案でも若しそれが我が事情に適應せぬものであるならば斷然これが移入の阻止を謀るの用意と、彼の長所美點の採用に關する確乎たる定見とを持たねばならぬと思ふのである。

これ私をして米國視察の必要を痛感させた所以であるが、更にまた移民問題の研究上からも、多數の同胞が在留して而も相當の發展を示して居る米國を視察することが好都合と認めためたので、多年其機會を得たいと腐心して居たのである。たゞ練習艦隊が兩米方面に遠洋航海を行ふに當り、文部省に於ける教育視察員派遣の計畫とこれに對する海軍省の援助とによつて視察員の一行が軍艦の便乗を許さるゝことゝなり、私も亦其一員として茲に宿望達成の機會を與へられたことは誠に感謝に堪へぬ次第である。

愈々一行の五名は軍艦淺間に便乗して六月三十日に横須賀軍港を解纜したのであるが、各寄港地に於ける上陸期間が短いので、艦と行動を共にしては視察の目的から見て如何にも物足らぬ感もあり、また我が在留民の活動狀況や米國社會相の研究には、寧ろ玄關よりも臺所口を、表面よりも裏面を覗くことの必要を感じたので、茲に自由の天地を得べく單獨旅行を企てたところが、幸ひ永野

司令官の理解ある取計らひで自由に内地視察の出来たことは今尙衷心感謝を禁じ得ないところである。

かくてロスアンゼルスに於て軍艦と別れ、其後は太平洋岸に於ける我が在留民を歴訪してシヤトル及びバンクーバーへと歩を進めたが、其間農家商店等に宿りて親しく其生活振りを見聞し、或は労働者や富豪等に接して其涙ぐまじき體驗を聞きつ語りつ一夜を明かし、或は青年男女と膝付き合せて其將來を談じ、時には歓迎會、講演會等に招かれて具に同胞の辛苦を訴へられるなど、其生活實情が一として感激同情の涙に値せざるはないので其都度熱き感謝を捧げつゝ慰問の行脚を續けたのである。特に我が國策上、人口問題、食糧問題、移民問題等の解決が焦眉の急なるを憶ふの時、在留同胞が何れも單身渡航して空拳無援而も烈しき排日の中に立ちて到底忍び得ざるを忍び堪へ得ざるに堪へつゝ惡戰苦闘を續け、以て今日の經濟的地歩を占むるに至りし尊き生活を目撃しては

同胞として誰か感涙に咽ばざる者があらう。これ等民族發展の第一線に立つ人の功績は實に戦場の勇士にも比すべく、また眞に國實に値すべきものである。従てこの意義深き慰問の行脚より得たる教育の資料も亦極めて多いので、在留同胞には此點からも深く感謝して熄まぬものである。

次でアメリカの中部及び大西洋岸の各地に於ては、主として社會相の觀察と教育狀況の視察とに没頭したのであつたが、その實際を見るに及び、彼の世相のあまりに物質萬能的にして而も精神文化の低級なることの實に豫想外なりしに驚かされ、且つ又國情、習慣、道德等のすべてに亘つて彼我殆ど正反對の状態にあることなどには實に異様の感を深くさせられたのである。即ち道德習慣等に於て我の是とする所は彼之を非とし、彼の惡とするところのもでも我はこれを善と認むる程に兩者の觀念が相違して居るのである。これは國家組織と歴史及び民族性の根本的相違が思想、習慣等の相違となつたもので、我は精神文

化に走り彼は物質文化に陥り、前者は情操的、人情的、對個人的、家族的、國家的、上下的の立體道德となり、後者は理智的、利害的、便宜的、利益交換的、民衆的、平等的の平面道德を産むに至つたものと思はれるのである。而して今や彼等の物質文化は正に爛熟の期に入つて、財界には黄金の浪が立ち、生活は向上して驕奢の限りを盡し、享樂的の機關は完備して人心を墮落に導き、夜のアメリカはまるで弛緩、放逸、享樂其儘の地獄の世界を現出して居るわけであるが、物質文化主義的の彼等はこれを極樂淨土の世界としてこの夜の世界に住むべく晝の奮闘を餘儀なくして居るやうに見えるのである。特に科學の進歩は器械力の發達を來たして人が器械の使役を受けるやうになつたことや、或は建築、道路の構造に至るまですべての生活環境が人工的器械的となつて人間生活が單純無趣味の物質化、器械化されたことなどは、正に物質文化の中毒で寧ろ同情に堪へない。故に我等は晝のアメリカ即ち熱と力の充實せる奮闘の世界を讚

美し、これを理想境として我が國に移し、以て國本の培養に資すべきだと信ずるものであるが、世の奇を好む所謂新人達や米國歸りの一部の新しがりやが、彼の享樂の世界即ち地獄の世界と物質萬能主義の思想とを取り入れて無自覺なる青年男女をして滔々とこの風潮に走らしめ、人心を腐敗に導き、以て我が民族の向上發展を害することの極めて大なるものあるに關心せざるを見ては誠に痛歎に堪へない。この米國心酔、白人追従の思想及び物質萬能主義、享樂主義等の生活が直接間接に我が民族精神を破壊して所謂思想の動亂を來し、延いては國民道德上の信念と國家觀念の上とに一大影響を及ぼすべき關係にあることを思ふと誠に寒心に堪へないのである。思想取締りに苦心し警戒するよりも寧ろこの米國模倣、白人追従、物質文化主義的の享樂的生活傾向を抑止し撲滅することが根本の名策ではなからうか。今にして覺醒するに非ずんば國家百年の悔を残すは火を睹るよりも瞭である。

教育の方面に於ても所謂自由主義の教育或は極端なる自學主義の如きは彼我國情及び兒童の素質、習慣の相違等より考察して、我が兒童に適用するも果して弊害の生じないことを保證し得るであらうか。彼の資本主義的教育施設や實利主義的教育方法を、而も個人主義的にして且つ自主的なる米國の兒童に適應せる彼の極端なる自學法などを直に我が國民教育上に試みて果して大なる危険なしと斷言し得るであらうか。單なる米國心酔病より來る無自覺的な教育施設や方案は實に危険千萬と認めざるを得ないのである。勿論彼の實用主義的教育方針や實際主義的教育方法及び主として兒童の環境整理と其個性の發展とに努力する教師の態度などは大に吾人の參考に資すべきだと思ふのである。この旅行に於ける陸上の足跡延長は八千哩、海路二萬哩。内地通信の延數實に四千百三十九通に達し旅行中のすべてが通信事務に終つたかの感あるのみで、視察其物よりは殆ど何物をも得られなかつたが、海外より祖國を眺めて始めて

その姿を認識し、具に自國の尊さと有り難さに感じて國體と國風の優越を悟り、我が民族の偉大性を自覺して眞に日本國民たるの恩恵と誇とを感得したことは得難き收穫である。蓋し他を見ることは自己の姿を見るに外ならぬのであるが、旅行中見、た儘感じたまゝを其都度率直に書き記した見聞録や感想録も亦相當の紙數に上つたので其一節を時々雜誌等に發表した所が記事の共鳴者も少くない、又先輩友人等よりこれが出版の勧めもあるので今回これを上梓することにしたのである。元より短期間の旅行で靜觀の時間を缺き、原稿も亦旅行中の執筆其儘で加筆の餘裕もなく、而も識見の狭小と觀察の皮相、加ふるに批判が主觀的、獨斷的の嫌があるので、本書の内容は殆ど取るに足らぬものかも知れぬが、主觀の相違から從來の視察者とは多少其所見を異にする點が少くないのである。幸に他山の石として御清鑑を賜らば光榮の至りである。

終りに帝國練習艦隊乗込の將卒并に便乗者の各位より受けたる好意、各地に於

10 ける同胞及び領事館より受けたる調査上の便宜と懇切なる指導とに對しては、
謹んで感謝の意を表し併せて在外同胞の發展を祈る次第である。

昭和五年十月三十日

教育勅語御下賜の記念日に當りて

著 者 識 す

目 次

横須賀出港..... 一

東京驛の別れ。壯嚴なる軍艦の出港。空軍來襲。

便乗者の軍艦生活..... 三

便乗者のお目見え。整頓された士官室。艦内で作る氷とラムネ。分隊長待遇の便乗者。一等食の士官室。食後の楽しみは後甲板。副長の多忙な勤務振り。家族的の海軍生活。無差別中に節度のある我海軍。初夜巡檢後は自由の天地。淡水の貴い海上生活。私室は一世帯。最大の楽しみは内地からの通信。作業に熱心な我が水兵。何品でも不自由のない軍艦の酒保。

横須賀よりホノルルまで..... 一三

油の様な太平洋。海上演習の様々。同日が二日続く。淺間座の觀劇。時々迫る海軍軍。島影見えて開り出す。

2 ホノルル入港……………一七

ホノルル在留同胞の歡待……………一九

布哇聯合の教育講演會……………二一

ホノルル見物……………二四

一、ホノルル市街……………二五

自動車の多いホノルル。市内の交通機關は自動車。自動車本位のアスファルト路。街頭は人種の展覽會。本通に稀な日本店。内地品には不自由のない日本町。和服ばやりのホノルル婦人。公開氣分の住宅地。

二、ワイキキ海岸……………二九

年中出来る海水浴。珍魚の多い水族館、モアナホテルの澤柳博士。

三、ハワイ最大のカピラニオ公園……………三〇

四、ダイヤモンドヘット……………三〇

カイクキの簡易な兵營。組織的な國民軍。

五、ポンチポールの見晴し臺……………三一

六、博物館と美術館……………三一

七、サンデーモン公園……………三一

八、氣樂な監獄……………三三

九、カリヒの癩病院……………三三

十、ヌアヌバリの古戰場……………三四

十一、バイナツプル工場……………三五

機械が働く鑛詰工場。邦人のバイナツプル栽培と其生産力。

夜のホノルル……………三六

風紀を亂す物質文化。犯罪の多い白人國。犯罪の最も少い日本人。貞操の乏しい人種に難婚が多い。夜開花とマノアの夜の虹。

4 布哇の學校巡り……………四二

盛なる夏季學校。平民的な大學總長。最新式のバンガロー式校舎。

布哇大觀……………四五

一、土地と人……………四五

火山で出来た布哇島。常夏で果物が多い。一番多い日本人。

二、ハワイの砂糖とパイナップル……………四八

砂糖とパイナップルが本島の生命。従來の耕地勞働は邦人の獨占。割の悪い小作人。

三、布哇の富力と財政……………五一

四、布哇の行政と邦人の市民權……………五一

布哇の沿革……………五三

布哇に於ける邦人の發展……………五三

人口の上では日本の布哇。耕地に働く同胞の苦心。尊き日本精神の發揮。同胞の偉大なる生産力。同胞の經濟力。

日本語學校と日系市民の教育……………五五

必要が生んだ日本語學校。日本語學校の禁止問題。日本語學校の教育方針。

軍艦のアットホーム……………六四

ホノルルより桑港まで……………六五

桑港大觀……………六八

桑港見物……………七一

一、領事館や會社の訪問……………七一

二、正金銀行で弗の兩替……………七四

三、邦人教育の金門學園……………七四

6

四、日本人と日本人町……………七五

五、金門公園(ゴールデンゲート・パーク)……………七七

六、市役所・公會堂・其他……………七九

七、沿岸方面の見物場所……………七九

八、市内の視察……………八〇

街路を埋める自動車。神経が麻痺する街路の構造。高い食堂と安い食堂。人手を省くカヒテリヤ。物價の高いアメリカ。晝は奮闘夜は享樂。

加州師範大學の個人教育……………八五

建築のよくない校舎。人員の少い學級編制。寺小屋式の個人教育。よく努力するアメリカ教師。個人教育法は教生の練習。器械的の偏知教育。

スタンホード大學の參觀……………九〇

夏は枯草冬は綠草。日本學生俱樂部。働きながら學問の出来る米國大學。養澤な女學生。有名な圖書館。本校の規模頗る宏大。

加州大學の參觀……………九四

リチモンドの日本花屋……………九七

コントラコスター地方の邦人農業……………九八

在留同胞の歓迎會。果樹園に於ける同胞の成功。コンコードに於ける講演。同胞悲憤の涙。

桑港教育者との懇談會……………一〇五

- 一、在留民子弟の教育……………一〇六
- 二、加州の教育方針と教育制度……………一〇七
- 三、加州の排日狀況……………一〇九

桑港に於ける軍艦のアットホーム……………一一三

桑港よりサンピドロへ……………一二四

7 サンピドロ港……………一二五

8 羅府見物

一、市内の氣分 一六

二、青物市場 二八

三、石油井戸 一九

四、ハリウッドの活動寫眞撮影場 三〇

五、ベニスの海岸 三三

六、ロングビーチの歡樂場 三四

七、何所も満員の活動寫眞館 三四

八、リンカーン公園 二七

九、グリフィス公園 二八

十、山城御殿 二八

十一、日本人町 二九

羅府教育者懇談會と第二世問題

..... 三一

羅府大觀

羅府に於ける邦人の發展 三五

南加に於ける邦人の農業 三七

羅府に於ける邦人の漁業 三八

南加同胞の經濟力 四〇

羅府を中心としての邦人の教育 四一

ロスアンゼルスより桑港へ 四二

桑港で旅費の始末 四三

桑港よりシヤトルへ 四五

シヤトル大觀 四九

在留同胞の好意……………一五〇

日本人及日本人町……………一五三

シヤトル見物……………一五五

一、市街の外観……………一五五

二、ワシントンレーキ……………一五七

三、ワシントン大學……………一五八

四、日本人小學校……………一五九

五、古谷商店……………一五九

オーバン及ケントの邦人農業……………一六三

日系ボーイスカウトのテント生活……………一六六

シヤトル有志の懇談會……………一六七

シヤトル領事と語る……………一七〇

シヤトル方面に於ける排日……………一七一

シヤトルよりバンクーバーへ……………一七二

加奈陀の大観……………一七四

一、國土と人口……………一七四

二、政治組織……………一七四

三、産業状態……………一七五

四、貿易状態……………一七六

ブリチシユコロンビヤ州の大観……………一七七

バンクーバー見物……………一七八

一、バンクーバーの大観……………一七八

- 二、日本人町 一八〇
- 三、ノースバンクーバーの吊橋 一八一
- 四、ホースシューペーの海水浴場 一八二
- 五、スタンレー公園 一八三
- 六、ヒステング製材所 一八五
- 七、病 院 一八六
- 八、日本國語學校（附）私の生命觀と教師觀（佐藤傳） 一八七
- 九、インディアアン部落 一九五
- 精神病院參觀 一九六
- 感化院の參觀 一九九
- ミツシヨン町の日本人 二〇〇
- ステブストンの漁業 二〇四

- 加奈陀に於ける第二世 二〇七

- B・C州に於ける邦人の發展 二〇九

- 加奈陀教育の概觀 二一〇

- 川相領預事と語る 二二三

- バンクーバーと別る 二二五

- バンクーバーからシカゴまで 二二九

線路の選擇。設備のよいブルマンカー。氣ぜはしい乗車。佐藤君に深謝。
 林間の展望。高價な食堂。米人に嫌はるゝ職紳士。日本式で威張つて押通す。ロッキーマ
 での佳景。ロッキーマの絶景。中部の大平原。平野の中のクリーク町。ムースジョー市。ウ
 キーベンで税關調べ。ノースポータル驛。ミニヤポリス市。セントパウル驛まで自動車。
 セントパウル驛。

- シカゴ大觀 二二八

シカゴの日本人及日本學生 二二九

日本キリスト教青年館 二三三

シカゴ見物 二三三

一、公園と學生の風紀 二三三

ミシガン湖畔のジャクソン公園。風紀の廢れた米國學生。産兒制限の米國婦人。享樂的な海水浴場。公園を美化する日本家屋。實用的のアメリカ公園。

二、交通機關 二三七

數十人乗せて走り廻るモーターコーチ。料金の安い市内タキシ。電車は下層階級の乗物。自動車よりも歩く方が早い本通。

三、商業地帯と百貨店 二三九

歩いても汗は出ないが煤になる。飲み物のうまい町。腰辨のないアメリカ。洋食店のいる。買ひたくなる店頭陳列法。デパートメント全盛時代。價格の安い割引デー。女の爲に働く米人。

四、猶太人のマーケット 二四五

五、支那人町 二四八

六、ストックヤードの屠殺場 二四九

七、夜のシカゴ 二五三

少年審判所訪問 二五九

贅澤な服装のアメリカ婦人。米國美人は脚と姿。アメリカの夜は享樂の世界。夜は成人の天下。恐しいホールドアップ。享樂機關としての活動館と劇場。

物質社會の産んだ不良少年。早熟で貞操を知らぬアメリカ娘。

シカゴ及其附近の學校參觀 二六二

一、パークースクール 二六三

二、ウキネツカの教育 二六四

三、ウオ氏の教育主張 二六六

四、ウキネツカの教室めぐり 二六八

二年。三年。五年。六年。全校集合。調査室。地理室。カヒテリヤ。

五、シカゴ市オークランドスクール 二七五

六、デリー市の公立小學校 二七六

副領事市河氏と語る 二八一

シカゴよりデトロイトへ 二八三

デトロイトとホード會社 二八三

デトロイト教育とブラツーンシステム 二八五

デトロイトよりナイヤガラへ(ナイヤガラ見物) 二八七

ボストン大觀 二九〇

ボストン見物 二九二

一、ボストンコンモンとパブリックガーデン 二九二

二、テレンテイ教會 二九三

三、圖書館 二九三

四、ホテル・コンプレイ・プレーザ 二九四

五、美術博物館 二九四

六、州廳(ステートハウス) 二九五

七、市 廳 二九六

八、舊州廳 二九七

九、フキンウイルホール 二九七

十、フランクリン公園 二九八

十一、ハーバード大學 二九九

ボストンの小學校參觀 三〇〇

訪問の途中。晝休み。教師の款待。校長と體罰。兒童の禮儀。校舎の構造特。別教室の状況。教育の實際と兒童の状況。全校集合と教室への出入。

軍艦磐手に便乗……………三〇九

ボストンより紐育へ……………三二〇

紐育の大観……………三二一

自然力と人力の産んだ本市の繁榮。わがりのよい市内の區劃。人を殺す物質文明。物價の
高いのも世界一。寄合世帯の紐育。世界經濟の鍵を握る紐育。

在留邦人の艦隊歡迎……………三二六

市内一巡り。大夜會。活動寫眞館見物。

領事官の款待……………三三三

紐育見物……………三三四

一、中央公園……………三四

二、博物館……………三三五

三、美術館……………三三七

四、圖書館……………三三八

五、グラランド・セントラル・ステーション……………三三八

六、四大鐵橋……………三三九

七、グラランド將軍の墓碑……………三三〇

八、市役所と市政館……………三三〇

九、ウールウオース摩天樓……………三三一

十、メトロポリタン凌雲閣……………三三一

十一、ブロードウエー……………三三一

十二、シテイ・インベストメンツ・ビルディング……………三三三

十三、エクイタブル・ビルディング……………三三三

十四、シンガー・ビルディング……………三三三

十五、第五街……………三三三

十六、新聞街……………三三三

十七、夜の紐育とタイムス・スクエア 三三三
紐育の夜は眞の不夜城。徹底的の享樂場。享樂を貪るダンシング。紳士の享樂はナイト俱樂部。人を墮落させる物質文明。ダンス亡國。

十八、貧民窟 三三七

十九、バターリー公園 三三七

二十、ブロンクス公園(動物園) 三三八

廿一、拾仙店(テンセント・ストア) 三三八

廿二、自由の神像 三三九

セントロカ・ミツシヨンハウスと米化運動 三三九

紐育の學校參觀と其概感

一、第二十三公立小學校 三四〇

二、第七十六公立小學校 三四三

三、日曜學校 三四五

四、ジョージ・ワシントン・ハイスクール 三四六

五、第九十三ワシントンアベニュー・スクール 三四九
幼稚園。一年の英語。六年の算術。ハイスクール。

六、ワシントン・アービング・ハイスクール 三五一

七、兒童大學とダルトンプラン 三五二
教科目。授業日數。學習法。地理室。其他の學習。

八、ホレースマン・スクール 三五五
構造と設備。學校生活の本質。

施設の大要 三五六
學生組合。オープンイヤークラス。體育俱樂部。保護者との相談。保護者組合。健康に關する規則。毎日の授業時數。

教授方針と學科課程 三五八

(一年) 英語。算術。フライン・アーツ。インダストリアル・アーツ。科學。音樂。ヒジカル・ツレニング。

(二年) 英語。言語。科學。算術。歴史。工藝。美術。音樂。ヒジカル・ツレニング。

- (三年) 英語。言語。算術。科學。地理。歴史。工藝。美術。音樂。ヒジカル・ツレ
ーニング。
- (四年) 英語。言語。算術。科學。地理。歴史。佛語。工藝。美術。體育。
- (五年) 英語。作文。算術。科學。地理。歴史。佛語。工藝。美術。音樂。體育。
- (六年) 英語。作文。文法。算術。衛生。地理。歴史と市民科。佛語。家事(女)。工
藝。美術。音樂。體育。

兒童の學習

一年の教室。六年の教室。六女の算術。六男の讀方。一年の手工。

九、リンカーンスクール

一年の教室。二年。音樂室。學習資料陳列棚。

アナポリスの兵學校

アナポリスよりワシントンへ

ワシントンの學校參觀

一、グランマースクール

三六九

三六七

三六九

三七二

三七三

三七四

三七四

二、職業學校

三、サムソンスクール

一年。六年。

ワシントン大觀

市内巡り

國會議事堂。ユニオンステーション。ワシントン記念塔。國立博物館。白聖館。革命戰聯
合軍記念館。リンカーン記念館。パンアメリカンユニオン。日本樓。動物園。圖書館。招
魂社。

一人夜道の失敗

ノーホーク訪問

ノーホークの小學校參觀

一、マーサー・スクール

二、スツアート・スクール

三七五

三七六

三七六

三八〇

三八三

三八八

三八九

三八九

三九一

ノーホークよりパナマへ.....三九一

コロソ見物.....三九三

パナマ運河の航行.....三九四

原始的な情調。自動式に船を浮かす運河の水門。己を守るにモンロー主義で他を犯すに機會均等。防備の完全なる運河。淡水に恵まれた水兵さん。景色の珍しい運河の兩岸。通過税の高いパナマ運河。穩なパナマ灣。

パナマ市の見物.....三九九

バルボアーよりマンザニヨまで.....四〇一

マンザニヨよりメキシコ市へ.....四〇三

國賓として入國する一行。魚族の多いマンザニヨ灣。全國に用ひらるゝ日本わらぢ。警備隊付の列車。砂漠のやうな平野。日本人に似てゐるメキシコ人。停車場の賣物。高原の眺め。コリマの見物。メキシコの農業。ガダラハラ市の見物。メキシコ第一のホテル。

メキシコ見物.....四一〇

メキシコ人.....四一三

メキシコの日本人.....四一五

在留邦人の歓迎會.....四一八

メキシコ小學校の參觀.....四一九

一、アルバート・フリーレア小學校.....四一九

二、ベニート・ホワレス小學校.....四二五

三、女子師範學校の附屬小學校.....四二六

マンザニヨよりマザトランへ.....四三八

一學年。六學年。

景色のよいマザトラン港。交通機關は馬車。メキシコ金との兩替。人と遊ぶベリコ。寺小屋式の小學校。

マザトランの鬪牛 四三一

マザトランよりハワイのヒロへ 四三二

ヒロ見物 四三四

火山見物 四三五

熔岩上の森林。雨の多いヒロ。物凄い大噴火。

日本人會主催の講演會 四三八

椰子島小學校の講演會。ワイアケヤ小學校の講演會。小學兒童と卒業生に。青年男女に對して。ワイナク小學校講演會。ヒロ市の講演會。

ヒロより横須賀へ 四四六

米領との別れ。實戰の如き戰間演習。百八十度線の通過で一日消失。軍艦の演劇。風雨強く海

上險惡。激浪の艦上通過は隨意。勇ましき副長の活動。金魚の様に水中生活。體を結びて擺飯。漂流を喰つた軍艦鳴戸。邦土に接して感涙。館山沖での祝賀會。横須賀入港。出迎者滿載の御用船。軍艦内の歡迎。關係者の好意。東京驛頭の歡迎。

後編

私の目に映じた北米合衆國 四五六

大きな國だ。豊饒な土地だ。天産物と物資が豊富だ。働けば必ず金になる國だ。生産力の大きな國だ。器械力の尊い國だ。金のある國。物價の高い國。物質文化の進んだ國。金が物を言ふ國。働き手の多い國。寄合ひ世帯の國。精神文化の低級な國。金利の安い國。誰でも商賣の出来る國。都會中心の國。人工的で無趣味な國。自然も生活も單純な國。猶太人の勢力ある國。黒人の多い國。國民の教育程度が高い國。子を多く産まぬ國。移民の多い國。不統一で統一的な國だ。實力を尊ぶ國。

私の目に映じた米國國民性の現れ 四六四

快活で元氣で伸びりして居る。親切な國民だ。若々しい國民だ。米人は正直だ。呑氣な國民だ。無遠慮で無作法で我儘だ。人を信用する國民だ。責任感が強い。理窟よりも實行

が先だ。活動的で發展的の國民だ。萬事大ざっぱだが負けず嫌の國民だ。自尊心と自尊心の強い國民だ。開放的の國民だ。禮儀を輕視する國民だ。自由平等無差別を重んずる國民だ。人に迷惑をかけぬ國民だ。秩序を重んじよく法を守る國民だ。社會道德の發達して居る國民。向ふ見ずの思ひきつたことをやる國民。運動好きの國民だ。人手をかけぬ國民だ。よく讀書する國民だ。時間を大切にす國民。婦人が進歩してゐる國民だ。よく貯金をする。金を使ふことを知つて居る。享樂的だ。女子の貞操觀念が殆どない。賭を好む國民だ。強い刺激を好む國民だ。よく働きよく遊ぶ國民だ。協同心が強くやることが組織的だ。強い人種偏見を持つ國民だ。奇を好み流行を追ふ國民だ。利己主義の國民だ。實際主義の國民だ。親子間に愛と敬とを持たぬ國民だ。動物性に富んで殘忍性が強い。

アメリカの帝國主義的國民運動 四七六

米化運動。軍事訓練。國旗尊重。

私の目に映じたアメリカの初等教育雜感 四七九

一、制度 四七九

教育の不統一。督學官の權力は絶大。教育系統は大體同様。義務教育の程度は高い。小中學には誰でも入學出来る。經費が豊で羨しい。公立學校は自治體又は州の設立。アメリカ

教育を代表するのは私立學校。教育に恵まれたる青少年。教科課程は不統一。學級編制はまちまち。授業日数は少い。夏休みは三ヶ月。入學期は二月と九月。

二、設備 四八六

地方によつて異なる校舎の構造。充實せる内部設備。必要ならいくらでも金を出す。

三、教師 四八八

教師の資格は各種の學校に共通。義務心が強くてよく働く。學校では教師だが校外では普通人。男教員の態度はだらしない。快活で伸びりとして明るい。子供好きに見える。法規や命令に忠順だ。先づ實行して理窟は後から。研究的でよく工夫する。

四、児童 四九三

伸びりしてこせづかない。自治的で且つ團體行動に慣れて居る。至つて従順だ。研究心が旺盛だ。

五、學校生活 四九五

學校は兒童の自然的社會だ。學校は家庭の延長社會の縮圖だ。學校は知的生活的場だ。

六、教育法 四九七

新しい主張の多いアメリカ教育。過程よりも結果を重んずる。教師は教授主義的で児童は自學的。扱は團體的で本質は個人指導を重んずる。教育測定は細密だ。教師児童はお友達で指導は座談式。低学年は各科の總合扱。カードとタイプライターがよく利用される。共同作業を高調する。劇とダンスが盛だ。

七、各科學習法 五〇二

修身。公民科(第一健康の法則。第二自製の法則。第三自持の法則。第四信賴の法則。第五公平な遊戯の法則。第六義務の法則。第七正直な仕事の法則。第八共同作業の法則。第九親切の法則。第十忠誠の法則)。英語科(讀方。書方)。算術科。歴史科。地理科。博物又は自然科。圖書科。手工科。裁縫科と洗濯科。家事科。體操科。唱歌科又は音楽科。外國語。

私の感じたアメリカ教育の長所短所 五三〇

長所。短所(學校は知育一點張で而も實利主義的の教育だ。意志教育が缺乏して居る。獨身の女教師によつて行はるゝ教育は全體から見て圓滿性と統一性を缺く。實利主義的の教育は人間社會を器械化する。自由平等を極度に尊重する結果は親子の道德と禮讓をく。科缺學萬能の教育は理窟に走り人情に遠ざかる)

日米の教育及教師の比較 五三六

日米の風俗習慣と文化の相違 五三一

食物と食事は正反對。衣服や容姿の好みも正反對。實用本位のアメリカ家屋と趣味本位の日本家屋。アメリカ人の物質生活と日本人の精神生活。アメリカの平面道德と我が立體道德。アメリカの外向的藝術と我内向的藝術。音楽。劇。舞踊。

在米同胞の發展と第二世 五三九

一、移民の分布と其素質 五四〇

ハワイ移民。加州移民。北部地方の移民。中部及大西洋岸の移民。

二、經濟的發展 五四五

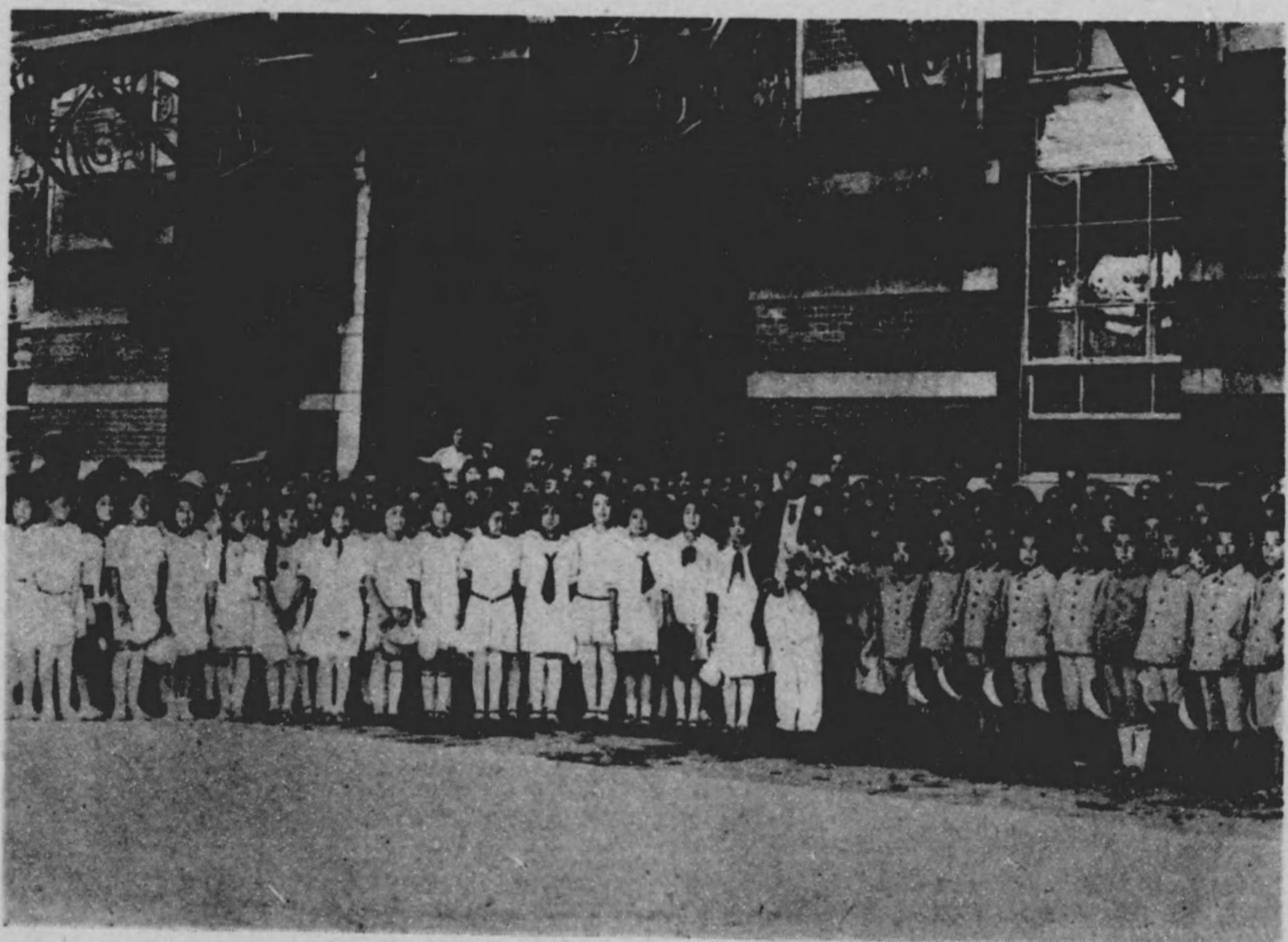
三、家族としての第二世 五四七

四、第二世と其將來 五五〇

五、第二世と日本語學校の教育 五五三



者著の發出驛京東



童兒のり送見るけ於に頭驛京東

32 海外より祖國を眺めて 五五三

土地。氣候。天産。政治。國民性と團體。體質と體力。精神能力。

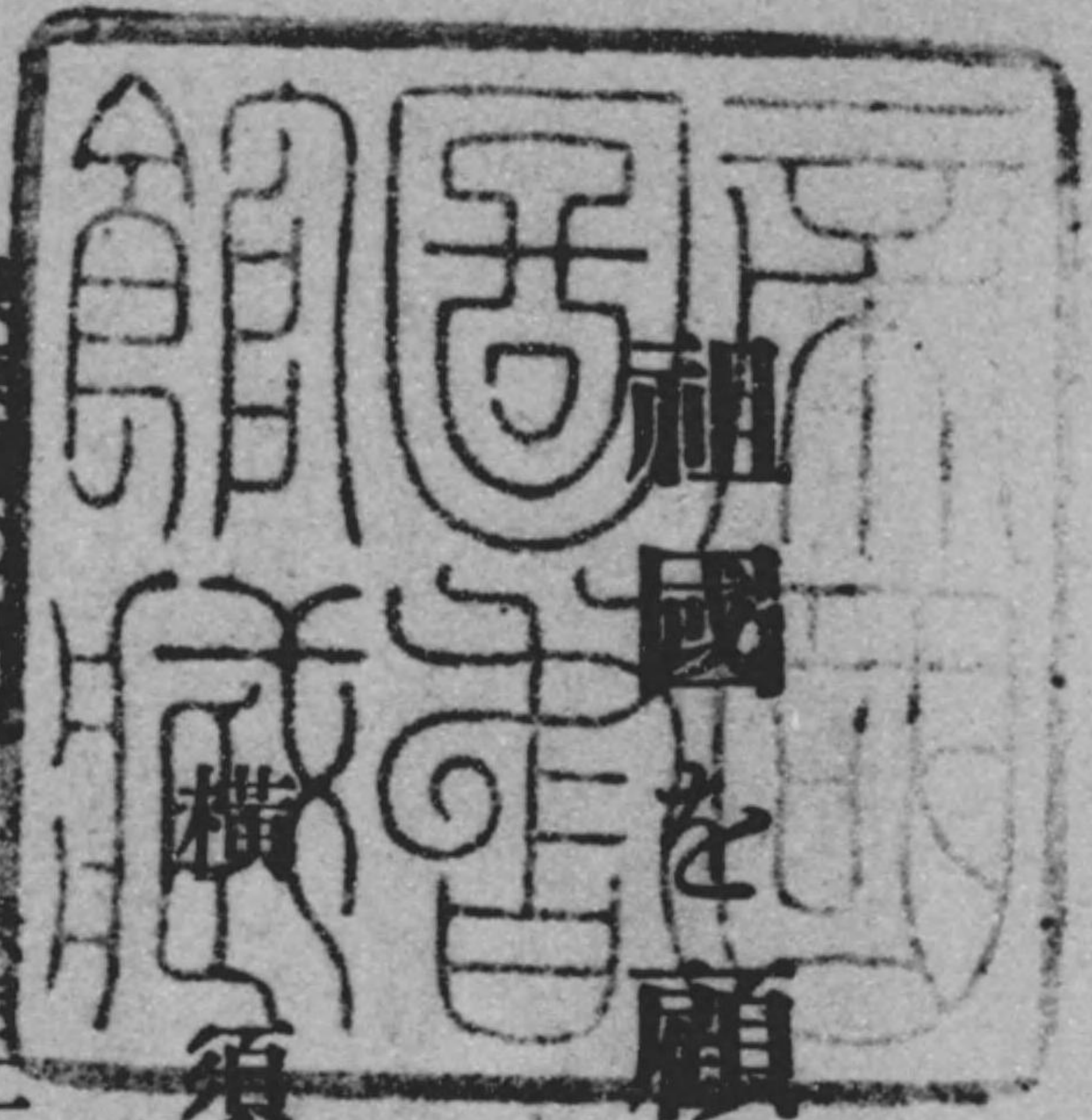
日本の米化 五五九

軍艦生活と自己省察 五六五

日本教育の省察 五六八

官僚的行政の打破と學校經營者の自由手腕發揮。劃一教育の打破と環境の適應。資本主義的教育の打破と機會均等。學校卒業者の特權廢止。義務教育年限延長と教育費の國庫負擔。社會教育成人教育青年教育の系統。教師養成機關の改善と教師の優待。經費と時間の節約。學制の改革。小學校教育の方法改善。

目次



祖國を顧みて

今關大造著

横須賀出港

東京國の別れ 六月二十九日午後四時三十分。多数の先輩・知己・友人・恩師・名譽職并に懐しき兒童や訓練所生徒・職員など、數百の人々に見送られつつ東京驛を去つた時は、重大な責任を感じざるを得なかつた。車中旅行先の事などを想像しながら横須賀に着いた時は、既に浅間・磐手の二艦が萬端の準備を整へて遙の沖合に薄煙を吐きつつ待つて居た。急ぎ水雷艇に投じて指定の軍艦浅間に乗艦し、司令官を始め兩艦長や士官方に挨拶を済ませて上陸すると、家族や親戚の人々が明日の出港を送るべく、旅館に待つて居たので、夜の更くるも知らずに話し込んだ。

壯嚴なる軍艦の出港

明くれば三十日。本日は愈々出港の日で見送人は早朝から来てくれた。昨日東京驛頭で別れを告げた筈の人々に再び逢へた際には言ひ知れぬ嬉しさを感じた。此特殊關係の四十餘人に送られて、共々淺間に乗艦したのは午前八時。艦内は面會人の案内や應接で忙しい。此の日長くも大元帥陛下には侍從武官を御差遣あそばされて將士の門出を犒はれ、また海軍大臣・海軍軍令部長・横須賀鎮守府司令長官等も來艦せられて出港を祝はれた。乗員以外は午前十時三十分下艦し、見送人一同はかねて用意の御用船に移されて見送りの位置に着いた。艦上艦下より見上げ見下す互の視線は幾度か相合して而も言葉なく、強ひて笑顔を装ふ其胸中亦無量。船の別れは一種異様の感がある。やがて出港の合圖と共に本艦は運轉を開始した。時に十一時。軍樂隊の勇しきマーチの音は高く低く港内に響き渡ると、十九發の祝砲は發射せられて濛々たる白煙は海の彼方にたなびき、轟々たる響は山々に反響して壯烈の光景を呈した。碇泊中の各艦艇は、何れも總員上甲板に整列して門出を祝福する。これが登艦禮と言ふのださうだ。登艦禮の後一齊に唱ふる萬歳の聲、爲に天地も動くかと思ふばかりに港内に響き渡つた。各艦の乗員はしきりに帽子を振つて見送つて居る。本艦



東京驛頭の送り



軍艦便乗の教育視察團

(前列右ヨリ) 京都樂只小學校校長 龜田氏
 福山師範學校校長 片山氏
 東京常盤松小學校校長 今關氏

(後列右ヨリ) 東京女高師訓練 瀧谷氏
 奈良女高師訓練 塚本氏
 大阪日吉小學校校長 川原氏

の乗員も手に手に帽子を振つてこれに應へる其の愉快さ。見送りの船でも各々帽子を振りつつ港外まで尾いて来て航行十五分で別れを告げたが、停船して尙も頻に帽子を振つて居るので、こちらでも夢中になつて帽子やハンカチを振りつつ船體の消えるまでも互に見守つた。併し軍艦の出港は壯嚴と言はうか壯烈と言はうか、商船の場合とは全く趣を異にして居る。

空軍來襲 觀音崎や浦賀の山々に招かれて外洋に出た頃、突然數臺の飛行機が現はれて、或は高く或は低く、本艦目がけてやつて來た。見送りかと思つて歡び迎へたが、六機の隊形が稍々異り、近く來つては急に引かへし、艦上に落下しては高速度で逃げ行くなど只事ならずと見て居た所が、果せるかな本艦よりは機關銃・小銃・速射砲の射撃を浴びせる。やがて何れより來た別の六機が之を追撃して空中戦が演ぜられたので、始めて敵機來襲の演習だと知つた。演習の終つたのは午後三時。邦土の山々はいつしか水平線内に没して見ゆる限りは空と水。只港外よりついて來た二羽の鷗が、右舷左舷を飛び廻る其の姿の愛らしさ。

便乗者のお目見え

出港当日には互に健康を祝すべく士官室で午餐會が開かれた。會する者艦長を始め大尉級以上の士官と吾々便乗者を加へて二十餘名。便乗者は一々艦長の紹介によつて挨拶をすませ、茲に士官室の仲間入が出来た。やがて御馳走が運ばれると、艦長がテニブルマスターとなつて話題は次第に轉廻する。士官方も頻に便乗者に話題を投ずるので互に歡談の間に食事は終つたが、其の後も尙士官室の此所彼所に歡談は交換される。艦内には實に氣分の良い空氣が充ち満ちて居るので、不安の心はいつしか喜悅に代り、生活の前途は洋々として光明に輝いた。

整頓された士官室

士官室は中甲板でマストより稍々後部にある。入つて直ぐ人目をひくは東郷元帥書、軍人に賜はりし五ヶ條の勅諭の額面で、入り來る者をして思はず襟を正させる。室内には食卓兼用の長テーブル二基と、其周圍には數多の椅子がおかれ、右舷の方には造り附の長椅子と圓テーブルが二つ、その上には煙草盆や雑誌が載せられてある。此公室では休憩時に士官が集つて喫煙したり讀書などするのが常だが、時には疲れ歸つて長椅子に横はつたり雜談などもするので、艦内生活に慣れぬ便乗者には一の慰安場に使はれた。

艦内で作る氷とラムネ

公室ではよくラムネが飲まれる。一瓶僅二錢五厘、艦内で毎日製造するのだが、市中の賣品より良い味だ。熱帯航路などでは殊に能く用ひられ、僕なども一日に十回位の御厄介になることは珍らしくない。氷も艦内で製造せられるので、ラムネも氷も冷えきつて居る。尙士官室の棚には書籍・蓄音機・碁盤・將棋盤などや花瓶・植木鉢などもある。蓄音機は日曜に使はれ、碁盤は巡檢後(夜九時頃から)に御用を勤めるのだ。

分隊長待遇の便乗者

士官室は副長(中佐)・航海長・運用長・機關長・砲術長・副砲長・主計長・軍醫長(以上何れも少佐で科長兼分隊長)と、分隊長たる大尉六名と、軍醫大尉の公室だから、吾々便乗者はつまり分隊長待遇のわけだ。艦長は艦長公室にゐられるが、時々は士官室に見えられることもある。序だが公室には艦長公室・士官室の外に中少尉の居る士官次室がある。其他准士官室や候補生室・兵員室等もあるが、室によつて食事・入浴其他萬事が違つてゐるのは軍隊式だ。

一等食の士官室

士官室の食事は朝が日本食で、味噌汁と乾海苔又は煮豆位。晝が洋食でスープ・牛肉・魚肉・コーヒークらゐ。夜が和食でお露・煮魚・野菜煮くらゐの所だが、これが

一等食事で三食代一圓五十錢より三圓位支拂ふのだ。尙軍艦に支拂ふ分としては食費の外士官室の雑費として、新聞代(ニュースを印刷して艦内新聞を發行してゐる)・ポイ手當・紙代・酒代等で、月に七八拾圓位のものだ。

食後の楽しみは後甲板

士官方は日中それぞれの勤務があるが便乗者には務がないので、艦内のあちこちを見學したり、甲板上で大海原を眺めてゐる位が仕事だ。初めの中は生活様式の變化と艦の動搖とで、頭がぼんやりして讀書も書き物も出来ないからぶらつくのも致方がないわけだ。夕食は日没前後で、季節によつて時間が違ふが、食事がすむと士官室士官は多く後甲板に出て食休みをするのだ。後甲板には煙草盆が置かれ、其周圍には椅子が列べられてある。眞鍮桶形の煙草盆には、蓋形のふたがかぶせられ、中央の穴には點火された火繩が下げられてある。食後車座になつて喫煙しながら、四方山の話に時を移す情調は、一度経験せねば想像出來ぬ程愉快なものだ。稍々久しうして一人去り二人減じて、遂には人影が消え、其後は士官室の此處彼處に陣取つて思ひ思ひに暮すのだ。

副長の多忙な勤務振り

午後八時半には艦内巡檢がある。副長と甲板士官とで艦内限

なく檢べるのだが實に精密なものだ。銃一本はづれて居ても一大事が起るので、檢査は微に入り細を穿つてゐる。一夜巡檢を見學すべく副長の後について歩いたが、吊床が通路を塞いでゐるので中腰にならねば歩けぬ所もあり、また機關室に入つた時などは、僅か五六分の間汗が上衣までしみ透つた程の暑さで、中々の苦痛だ。而も上甲板・中甲板・下甲板のすべてを巡視するに要する時間は三四十分。歩くだけでも中々骨の折れる仕事だ。機關室の溫度などは常に百五度から百十五度位もあるのに、晝夜二時間の交代で働くのだから機關科將士の辛苦が思ひやられる。特に副長の激務はまた豫想外だ。初夜巡檢から朝と午後の軍事點檢で、一日三回艦内限なく檢閲するのだが、鐵梯子の昇り降りだけでも容易な事でない。其の上艦内の事は一切處理せねばならぬので、入港しても殆んど上陸も出來ない有様だ。石炭積はまた難事中の難事で、何れも眞黒になつて一日十數時間、又は二日にわたつて勞働する事もあるのだが、關係士官は勿論、副長が先に立つてやるなど全くの實踐躬行だ。上立つ者が率先難關にあたるのだから、他の者は文句がない。眞に上下心を一にして仕事を遂行する所に海軍生活の尊さがある。

家族的の海軍生活

軍艦生活はすべて一蓮托生だ。従つて其生涯は家族的で、士官室などの交際を見ても極めて平和だ。此長期間の航海中口論一つ聞いた事もなく、勿論上下共に反感を抱いたり不快の顔面筋などを表して接觸したのを見たことがない。何時も春風駘蕩和氣藹々の世界だ。かく私的交際は誠にデモクラチックで、上の者は決して威張ることもなく、下の者も亦不作法ではないが、個人的には上下の隔てなく全く平等の交際に見える。所が職務上になると、上下の別が極めて明かで、上官の指圖はよく謹聴し、而して互に一歩たりとも犯さない所に、軍人精神が通つて居る。殊に禮儀が正しくて而も親しみの深いことには感じさせられた。士官室に入つて来る者は、上下の別なく皆挨拶する。つまり海軍の生活は外形上は無差別に見えても、内面的には禮讓と節度が嚴格に維持されて居るので尊い。

無差別中に節度のある我海軍

由來我國の社會は甚だしく階級的であつたが、明治以來はそれが外形的の差別社會で、内面的には何の節度も禮讓もなくなつた。特に近來、外形内容共に無差別的になつて來たのは誠に憂ふべきことだが、若しも海軍生活を移して我國現代社會が改造出来るなら、眞に理想的だと思つた。翻つて己が屬する社會、而も少數の便乗者に

於て、殊に自己を内觀した時は、言ひ得ぬ淋しさと恥しみとを感じざるを得なかつた。我海軍の生活は一般に此の通りであらうと思ふが、遠航には特に選抜の上、優良人物を配置してあるのだから一層美しい生活が見られる。おかげで自分も多少の精神修養が出来た。

初夜巡檢後は自由の天地

便乗者中には巡檢前から寢てゐる人もあるのだから誠に相濟まぬことだが、巡檢がすむと士官室の大繁昌期で、何れも和服や寢衣で集つて来る。鳥鷲を戦はす者、ビール一本を快談のお相手に利用する者、讀書する者等、思ひ思ひに晝の疲れを休めて居る。つまり夜の士官室は一種の俱樂部、又は娛樂場と化すわけだ。

淡水の貴い海上生活

娛樂場の盛る時刻になるとボーイの催促で入浴に移るのだが、浴場には艦長浴室・士官室浴室・士官次室分・准士官・兵員との差別がある。湯は淡水だが、長い航海になると海水風呂になるのだ。淡水は航海中最も貴重なものだから、つとめて節約する。入浴の上り湯が一人二升、洗面水が平均六合だから、海水湯の場合は後まで全身がねばねばする。入浴がすむとおそくも十一時頃までには寢るのだが、中尉までが吊床で、士官室士官以上は私室を持つてゐる。便乗者も一々私室を興へられたのだが、狭い艦内で貴重な私室

の貸與を受けた事は、教育尊重の精神からでもあらうが、誠に恐縮した。私室は一世帯。僕の私室は下甲板で、ベッドの外、椅子・テーブル・電燈（晝夜燈）・扇風機・箆筒・押入・洗面器・鏡・棚等が備へつけられ、まるで簡單なる一世帯をなしてゐるから、生活には誠に便利だ。それに専属のボーイ（従兵）もつけてくれたので一層恐縮した。航海の初めは生活の變化と船酔氣分で、讀書も書き物も出来なかつたが、慣れるに従つて我が家と化し、遂には終日私室で調べ物や書き物をするやうになつた。俗界をはなれて極めて閑靜な一室に閉籠り、毎日自己の靜觀や、遠方より祖國の批判的觀察が出来るので、非常に得る所が多かつた。此點からも海軍には衷心感謝してゐる。併し内觀すればする程自己の貧弱さを痛感せざるを得なかつた。

最大の楽しみは内地からの通信 普通就床は殆んど午前一時過で、寄港地などでは朝の三時四時になることもある。内地への通信やら、來書を閱讀する楽しみで、いつしか時を超越してしまふのだ。餘人は知らぬが僕の旅行中最大の快樂は、内地への通信と來書の閱讀であつた。文を譯めてゐる時と讀んで居る時は、いつしか精神は内地に遊んで、其間精神的

に兒童・友人と直接交渉してゐる感じがするので、そこに無上の快感を感じる。従つて時を超越し、如何に夜更でも苦痛どころか、寧ろその事が限りなき満足なのだ。それで到る處よく兒童へも書き、學校へは頻々と書き送つた。其他友人へも知人へも書いて書いて書きぬいで、僅半ケ年に内地に送つた文書は實に延べ四千百三十九。尤も同文の印刷文が半以上を占めてゐる。來書が千餘通、其の多くは自校の先生や、懐かしい兒童からだ。故に一面から見れば此旅行は手紙書きに來た様な氣もする。起床は多く日の出の前後だが、（睡眠時間四五時間）、私室の空氣が一種の臭氣を發するので、起きると早速甲板に駈上るのが常だ。後甲板の椅子にもたれ、煙草をくゆらしながら微風に見舞はれ、空海合體の氣に觸るる氣分は何とも言へない。

作業に熱心な我が水兵 其の中に兵員の甲板掃除が始まる。ポンプの口より海水を噴き出して甲板上一時一面の池に變ずる。砂を撒いては束子で盛んにこすり、こすつては洗ふ。ポンプが止ると雑巾で水をしぼり取る。それから兵員が縦列をなして、力まかせに雑巾で拭ひつつ前進するのだから、同一面が少くも十數回拭はれるわけだ。それ故、掃除後の甲

板は見違へるばかりきれいになる。かくして艦内掃除は朝晝の二回に行はれるのだから、艦は限なく清潔で整頓されて居るのは當然だ。かく海軍の艦を大切にすること、よく掃除する事には敬服した。見方によつて海軍は、作業で一貫してゐると言つても間違ひではない様だ。然し兵員が眞剣に作業に従事して居るのに、作業中必ず兵曹が見張番をしてゐるのは異様に感じられる。錆止を塗るにも、金具を磨くにも、必ず一人の見張番が立つてゐる。特に雑巾掛けの後から、見張番が只ついてゆく様子は、更に異様に感じられ、何となく囚人と看視人の關係を聯想させられる。責任感の強い従順な、そして規律的な我水兵を扱ふ方法としては、どんなものかと思つた。

何品でも不自由のない軍艦の酒保　こんなことを考へながら、熱心な作業振りを見てゐると、ボーイ長が食事の通告に来る。由來僕は朝食が進まぬ方なので、よく酒保から罐詰其の他の副食物を取つて貰ふのだが、酒保には食料品・日用品等、内地品は殆んど用意してあるから誠に便利だ。食料品では、梅干・福神漬・辛子漬・鹽から・乾海苔・雞卵・罐詰類・菓子類。又楊子・齒磨粉・タオル・ハンカチ・石鹼・封筒・便箋用紙・ハガキ・切手にいたるまで、何の

不自由もなくそれに市價よりはいづれも安い。特に便利なのは内地郵便だ。これ軍艦は領土の延長と言ふ見解から、内地郵便局同様だ。入港すると必ず閉塞郵便物が内地に送られる、内地からも来る、之が便乗者の大きな特典だ。僕などは外國郵便にすれば、恐らく六百圓以上は費した筈だが、軍艦の御蔭で經濟的に文通出來たことを感謝する。朝食が済めば、皆甲板に出で、大繩の煙草盆を取圍むことは、夕食後と同様だ。暫くすると士官は勤務に就き、便乗者は自由。晝食後の動靜も大體午前と同様。只夕刻將に太陽の水平線下に没する時の光景には天地混一の一種偉大性を感じさせられる。斯く海上に於て常に大自然を友とし、眞に精神生活の出來たことは、旅行中の最も大なる獲物であつた。

横須賀よりホノルルまで

油の様な太平洋　横須賀よりホノルルまでは三千四百二十二浬餘、平面圖上の航路は弧形を描いてゐるのだが、事實は直線をつなぐ最短距離を行くのだ。若し直線的に進路を求め

ると、球面の最高點を經過するので、それが三角形の二邊に相當するために最も遠くなり、其底邊に當る線は、平面圖上では稍々弧線を描くが實際は最も近いわけだ。本艦は毎時九浬の速力でこの線上を進むのだから、ホノルルまでは十七日もかかるかと思ふと前途は中々遼遠だが、海上が平靜で初航海者にとつては此の上もない幸福だ。初めの間は物珍らしいので艦上の此所彼所を散歩したり、又は甲板上の椅子にもたれて海上を眺めたりして居るのだが、艦の進むにつれて周囲は愈々大洋の氣に充ち、海水は青より藍に變じ遂には紫色を呈して一層の濃度を加へ、恰も紫油の中を航する感じがする。此の頃から洋上には、ゆるやかなうねりが來て巨艦は高く低くゆらゆらりと進んで行く。時々艦首を水中に突入することなどもある。甲板面は常に動搖をしてゐるのだが、四五日も航海をつづけると一向動搖を感じぬまでに慣れてしまふ。たゞ一週間十日と日を重ねるに従つて益々生活の單調さを感じる。何しろ半月餘の航海中に島影は勿論一隻の小舟にすら逢ふこともなく、連日連夜見ゆる限りは水また水、雲また雲で、海上の大自然はあまりにも單純過ぎる。勿論宏大無邊の氣分には打たれるが、眼界は僅半徑七浬の圓に過ぎないので太平洋も案外狭い感じがする。夜分など

の、月影が水面に映じて金波銀波の寄せ來る様はまた格別だが、生活の變化と腦の弛緩とで讀書すら不可能となり、且單調なる生活より來る倦怠の情は極度に迫つて、時々故國のことを追憶させられるのは獨り吾々便乗者ばかりではない様だ。併し流石艦隊員の生活は緊張してゐて夜となく晝となく各種の演習に忙しい。

海上演習の様々

防火・防水演習・或は戦闘準備等の機敏さ、敵艦砲撃・飛行機の實彈射撃・又は人命救助等其演習振の勇敢さ、其の他日常日課の外に隔日位に特別の演習があつて、便乗者は何れも物珍らしくこれを見學してゐるので、時の過ぐるを知らぬこともある。

同日が二日續く

七月十一日午前三時には、東經百八十度を通過して愈々西半球の人となつた。昨日は東半球の七月十日、今日は西半球の十日だから七月十日が二日續いたわけだ。而も當日は日曜なので休日が重なつたから水兵さんは大喜び。

淺間座の觀劇

この日は乗員全部の慰安のため淺間座の觀劇會が催された。後甲板には大テントが張られて舞臺も觀覽席も出來、特等席には艦長始め士官室士官、普通席には候補生と兵員。拍子木の合圖で幕が開くと、現はれたのは淺間座の名優數名。筋書に従つて劇は

展開する。服装から鳴物・背景まで全く本物の通りで技もなかなか上手なために時々泣かされる。これが日々本艦に勤務してゐる水兵さんとは誰も気がつかぬ位だ。御蔭で當日は何れも海上に居ることを忘れて楽しんだ。尙慰安娯樂のためには時々運動會や角力・劍道・柔道の如き競技會なども行はれる。

時々迫る海豚軍

十二日頃からは濤のうねりも稍々大きくなつて来て、怒濤舷を打ち、時々前甲板上に水晶瀧の奇觀を呈する。艦も相當動搖はするが單調を破つて却つて痛快だ。併しこれが二日も続いたので再び倦怠を催し、幸ひ鏝が舷側近くいつて来るので鏝釣りなどを始めたが取れない。或は海豚の大群に逢ふこともある。遙かの沖合より泳ぎ来る幾千萬とも數知れぬ海豚群が、本艦に進路を妨げられて急に方向を轉換し、浮きつ沈みつ先を争ひ疾走する様は正に見物だ。又飛魚の一群が水面近く一直線に飛翔する様は小鳥の群かと誤られる。斯る子供らしい事にまで興味を持たせられる程單調の生活を續けること二週間。

島影見えて踊り出す

出港以來海上は穩で、且時々追風に助けられたので艦は速力以上に進出し、加ふるに毎時二浬の速力を増したので布哇入港の時間が約二日短縮せられ、早

くも十五日の未明には前艦橋から島影見ゆの通知があつた。此響が天使の聲かと思はれる程嬉しかつたので、すわと飛び起きて殆んど夢中で甲板上にかけ上つた。時に午前四時。成る程遙彼方の水平線上に雲の如く薄くかすかに浮び上つたのは正しく島影だ。一同あれよあれよと叫んで居る中に、水平線下に没したのは惜しかつた。これが列島の一つカウアイ島だとのことだから最早ホノルルに近いことが考へられる。午前九時頃愈々オワフ島らしい島が雲か霞の如くに現はれた。段々近づくに從つて山もはつきりして煙も見える。白雲の人家が海岸に點々と現はれたので一同は手を拍つて喜び、艦内は急に活氣づいた。

ホノルル入港

半月餘の洋上生活は極度に陸地が懐しい。目の前に布哇島を見ては飛んでも行きたい程だから、何となく船足が遅い様な氣がしてたまらない。段々と山もはつきりして来るので、艦橋から眺めると、全島の形は大小二つの圓山から成つて恰も洋上の瓢塚の様にも見える。山の

傾斜は極めて緩かに、裾野は四方に擴がつて海岸に及び、綠草は全土を覆うて森林は全くないらしい。山の形から四邊の風光までまるで日本とは正反對で如何にも緩く平和な氣がする。港外に着いた頃はホノルル市は箱庭の様に見える。數層建の方形の家屋は白く赤く、其間處々に綠樹の鬱蒼たる姿は油繪の様だ。山腹に點々と見ゆる人家は住宅らしい。海岸に椰子樹の高く列をなしてゐる様は如何にも熱帯氣分に満ち、中に一きは高く聳え立つ建物はアロハ塔だ。午後二時愈々兩艦は軍艦旗を掲げて威風堂々と入港を始めたが、磐手より發射する禮砲が轟々と港内を壓し、海岸の砲臺からもまた答禮砲が發射せられた。海岸は人山で埋められたが何れも出迎への同胞だ。邦土を離れて茲に十七日、其間人影は勿論船一隻だに逢はなかつた乗込員には土と人とが極度に懐しく、而も異境に幾千萬もの同胞を見るのだから、一種言ひしれぬ氣分に滿されて兩眼には暖かな露さへ置かれた程だ。やがて巨艦は棧橋に横付けせられ、碇は下されて艦内は上陸の準備に忙はしい。乗員の組織的にして機敏なる動作で約一時間の後にはボートは下され大綱は巻かれ橋は架けられたので、在留民の代表者その他の有志が續々乗艦し、交々歓迎の言葉を浴せるので知るも知らざるもまるで兄弟の感じがす

る。布哇聯合教育會が特に吾々の爲に村上・瀧本・大濱の三幹事を遣して、遠來の勞を慰められた時は感激の情に滿された。間もなく日布時報社・布哇報知の記者も来てくれた。上陸後三君の案内で市内見物をする事になつたが、滞在中も引續き日夜三君から非常に親切な指導を受けた事を一同は深く感謝してゐるので、茲に敬意と謝意を表する次第だ。

ホノルル在留同胞の歡待

我在留民は一日千秋の思で艦隊の入港を待つてゐたものか、入港と同時に幾千とも數知れぬ同胞が軍艦員がけて群集し、心から嬉しさに迎へてゐる。やがて幾十人かの代表者が乗艦して互に熱狂的握手を交換する。其光景はまるで久し振りの親子の再會の場面の様だ。無數の自動車は我同胞によつて用意されてあつたので、士官も便乗者も早速車上の人となつて市内を乗り廻はす事が出來た。永い間の航海で陸地の恩恵を極度に渴望してゐた際、而も海外に於て我同胞の熱情に接しては眞に極樂の境涯だ。翌日も亦市内見物及び遠くバイナツブル

園への案内を受けたが、用意せられた自動車は實に數十臺。而も在留民の殆んどすべてが自動車を所有してゐるので、自ら運轉しつつ案内説明の任に當るのだから一層痛快だ。其の日は候補生以上の招待會が開かれ、翌日は全員交歡會に招かれ、其暇々には市内名所の案内と、斯くして在留民は四日の間、業務を抛つて連日連夜接待に努めた。個人的の歡待も亦すばらしいもので、或は縣人會の招待や土産品の贈與等、實に至れり盡せりだ。中には二三十里の道をも遠しとせず續々軍艦の拜觀に來ては土産を持ち込み、又他の島々からは泊りがけで來た者も随分多いと言ふことだ。殊に嬉しいのは是等農園の人々が、パイナップル・バナナ其他思ひ思ひの珍果を自動車に積んで持參したことだ。是等の貴き贈物は本艦だけでも八噸の多きに達した。以て其の赤誠と厚意の程が窺はれる。一方吾々教育者の一行は當地の邦人教育團から篤き待遇を受け、日々の市内見物や名所案内、學校案内やら教育資料の聚集まで一々諸君の厄介になつた。又布哇聯合教育會大會の名の下に各島の教育者がホノルルに集り、僕達は晩餐會にも招かれ、且つ多大の土産物も頂戴した。特に吾々の爲に教育講演會を開催して内地教育者の意見をも聞かれ、また布哇教育事情についても委しく聞かしてくれた。教育

者諸君には勿論だが、中にも役員の方・村上・瀧本・大濱の諸校長からは容易ならぬ御世話になつたので一行は厚く感謝してゐる。

布哇聯合の教育講演會

七月十八日午後七時から、ホノルル市日本佛教青年會館で教育講演會が開かれた。集る者百餘名、殆んど日本語學校の教師ばかりだが多くは各島からの代表者だ。話題の註文は内地の教育や其他の事情に就いて知りたいと言ふことだが一行には持合せもない。併し熱心なる研究的態度に動かされて引受けたものの、三時間内に六人がやるのだから大したことは出来ない。先づ福山師範校長の片山氏が「師範教育」といふ題で、内地の教育界に於ける師範改造問題の精神を説明し、次で奈良女高師附屬の塚本氏が「奈良の教育」といふ題で小學校教育法が受動的より能動的となり、教師本位が兒童本位と代りて、兒童の個性尊重と能力發展の立場から、教師としては兒童本來の發展的能力の發揮成長を助成するの立場にあるべき理由を

明かにし、且つ自校の學習本位の教育法を紹介して聴衆を肯かした。次には京都の小學校長龜田氏が「在留同胞に望む」と題して、同胞の艦隊歡迎の至情を感謝して、同胞の發展を希望し、次は大阪の小學校長川原氏が「産業都市の教育」と題して、大阪の繁榮と商工業の中心地たる實狀より説き起し、實際主義の教育を高潮して閑人の贅澤教育を排し、大阪市の實用的教育を紹介して、實業教育或は短期職業指導に及び、最後に大阪の教育は何所で止めても完結せられるから、社會に出ればすぐ生活に役立つ教育だと結ぶ。次で東京女高師附屬の訓導澁谷氏が「女子教育」と題し、我が國の高女出身が家庭人として世帯方面の實際に疎くして結果より見たる女子教育の誤れるを指摘し、女子教育が資格の教育より人の教育に移れることを説きて、自校の教育方針の良妻主義・實生活の準備主義的なることを紹介し、且つ教育の目的論として、文化價値の生産論によつて結ぶ。最後が僕の「我小學校教育の大觀」と題して大要次の様なことを述べた。由來教育は社會と没交渉であつたが、近時の趨勢はこれと大に趣を異にし、學校は家庭の延長にして而も社會の縮圖であるとの考の下に、學校をして兒童の實際生活を營む場所たらしめ、以て人間本來の成長をよりよくせんとする傾向が

著しく現はれ、爲に教育者が社會善導の事業に參與し、又社會の人々も教育を論じ、又はこれを援助する等、學校・社會・家庭は益々密接なる關係におかるとなつた。特に普選實施の結果と國力培養の必要上から、社會一般が國民教育に着目し、小學教育が重視せられて教育問題が社會問題化するに至つた。而して目下の教育問題としては、義務教育の延長、劃一教育の打破、教員養成機關の改善、中等學校入學試験撤廢、社會教育の普及改善、青年教育等幾多の問題があるが、其の究極する所は制度及教育内容の改善にある。而してこれが實際家に對しての影響としては新教育法の樹立即ち學習の方法改善論となりて現はれ、或者は自由教育の立場に立ちて、受動的の學習と一齊劃一的の學習法に反對し、或者は自學主義或は氣分教育、藝術教育或は師弟共學主義、作業主義、體驗主義、價值創造主義、衝動満足主義など幾多の主義學説をなして殆ど歸一する所を知らぬ有様である。勿論夫等の主義には夫々長所と短所を持つてゐるが、稍々世間から認められてゐるのは、奈良女高師の教育法である。併し何れもその中心思想としては、自學主義的、成長促進的で知的生活の向上に偏する點に於ては、軌を一にするの感あると共に、道德生活に於て此自由主義が、果して國民精神

の成長發展を計る上に、妥當なりや否やの問題に逢着するのである。一體國民精神の成長は國民生活を營みつつ國民精神に接觸することによりて行はるるものであるから、兒童の自由生活ではこれがなし得られないのみならず、現代人の不純・混濁・動搖の變態的國民生活に觸れさせたのでは、國民精神の成長を計ることは不可能なるが故に、自由主義や學習主義の教育では、此點に行詰りを生じてゐる。偶々近來デルタイ、シュプランガー等によつて唱へらるる文化教育説が輸入せられ、體驗主義の教育として歡迎せられて今や大勢は進路を此方面に轉廻せんとする傾向が見えるのであるが、兎に角、内地の教育思想は、尙動搖の渦中を脱するの域には達してゐない。これ或は構成の前の動搖、出産前の苦悶で、何れ遠からず新教育法が樹立せられて安定を見ることが出来るかとも思はれる。尙前述の如き關係から教師の地位は大に向上し、従つて教師は其の職を楽しみ、以て精勵、斯道の向上に努力してゐるとは邦家のため大に喜ぶべき現象である。

ホノルル見物

一、ホノルル市街

自動車の多いホノルル 埠頭を出るとすぐ廣場だが、其處には百臺餘りの自動車が兩側に列んで、通路が横切れないのは閉口した。これ等は何れも客待ちの車だが、ホノルルでは約五人に一臺の自動車があるといふことだから貸自動車の多いのも無理はない。賃銀は近ければ五十仙、稍々遠ければ一弗だといふことだ。

市内の交通機關は自動車 市内電車もあるが車臺が少く、それに十分乃至十五分毎でなければ發車しないから電車本位の日本に較べるとまことに不便だ。尤も電車は主に勞働者に利用されるのだから頻發するの必要もなく、それに車の體裁も粗末だ。乗車賃は一回五仙で、車掌がゐないから各が勝手に銀貨を箱の中に入れて乗るのだ。一度経験したいと思つて或る日一寸乗つて見たが成る程きかない。其の爲か車内には白人は一人もゐなかつた。只面白い事は兩側とも一座席毎に鐵柱があるだけで圍がなく、どこからでも自由にはいれることだ。それに辻々では必ず停車するからベルさへ押せば何處でも下車出来る。乗務員としては

運轉士と車掌の二人だが、日本式の後部から入つて前から下りる車臺には運轉士だけだ。その運轉士が時々車を置き去りにして氷屋やミルク屋で呑氣に飲んでゐる圖は日本では見られない藝當だ。それに日本では電車が通る間は自動車の方でストップしてゐるのだが、此處では反對に自動車が通るのを電車の方で停車して待つてゐる。これで電車が重要な交通機關でないことが首肯される。

自動車本位のアスファルト路

道路の構造も自動車本位に出来てゐる。兩側が人道でコンクリート、中央が車通でアスファルト、かなりの費用を投ずるらしいがそれでもタイヤの消耗代より道路の營繕費の方が安いといふ事だ。路面には時々油を塗つて置く。そして夜分人通りのなくなつた頃に水道のホースで洗ひ流すのだから塵一つなく、遠方から見ると鏡の面の様に光つてゐる。この上を走るのだから音もしなければ動揺もない。日本の自動車にばかり乗つて、いつも命がけの氣持でゐた僕には、この乗り心地のよいのにひどく快感を感じた。

街頭は人種の展覧會

街路は碁盤の目の様で、そこにはモダン式の煉瓦建三四階の店

舗が列んでゐる。かなり大商店もあり、又上等な商品もたくさんある。特に此處は東西航路の十字街たる關係上、航海者の消費する金額も多いので、相當金廻りのよい町と見える。人口は市の内外を合せると約十萬だが、内邦人が六萬で白人は二萬、其他は雑多な人種だ。街頭に立止つてゐるとまるで人種展覧會場にでもゐる様で、來る者毎に面貌を異にし、黄、白、褐、黒等居ながらにして各人種が見られる。

本通に稀な日本店

メインストリート(目貫の通)は殆んど白人の商店で、中に支那商店

のぼつぽつまじつてゐるのは羨ましい。邦人の商店は場末の町にぼつぽつあるが、大商店の見られないのは心細い。中には相當の旅館や料理店等もあつたが、客は殆ど日本人だ。山城屋ホテルは洋式の二階建て設備もよく、それに浴衣がけで日本料理が食べられるのが愉快だ。而も一泊三弗半でかなりの御馳走がある。主人は日本人、買長や日本人魚市場の取締役をしてゐる人で、親切に世話してくれた。

内地品には不自由のない日本町

邦人は別に日本街をつくつてゐて、ここには大抵の日本品はある。異郷でいならずしきそば、洗濯等の看板を見るのは何となく嬉しい。ただ看

板が日本字のところから推して客は總べて邦人だと合點される。

和服ばやりのホノルル婦人

市内六萬の人口中四萬からの同胞がゐるさうだが、今は日本服は見られないで却て白人が日本服をきてゐるのが面白い。夕方モダンガールの散歩や海水浴歸りの婦人が、洋服姿に大紋付の羽織をはをつけて得意になつて歩いてゐるのは異様に見える。羽織には友禪ちりめんもあるが多くは黒ちりめんの紋付で、徳川の家紋なども大分見受けた。それにハツピ・半纏なども用ひられて、襟に徳川とか消防とか、め組とか書いてあるのは滑稽だ。

公園氣分の住宅地

住宅地は商店に續いてゐるが、構造は平屋木造で存外小造だが、不調和な日本の洋館とは違つて調和も品もよく、それに庭の背景も誠によい。緑樹の鬱蒼たる間に紅・白・黄・紫等の花が咲き亂れ、毛氈を敷く緑草は庭を覆ひ、それが常に自動式廻轉噴水器で水の供給をうけるので、いつも緑が萌え立つて如何にも涼しい氣がする。而も住宅には門も塀も垣根もないのだから住宅地帯は恰も芝生の大公園の様なものだ。其の間水を流した様に光つてゐるアスファルト路が縦横に通じ、氣温はいつも七八十度で、そよそよと風の

吹く中を自動車で疾走する氣分は何とも言へない。眞に太平洋上の樂園だ。

二、ワイキキ海岸

年中出来る海水浴

市内には大公園もあるが遊び場としては何と言つても海水浴場得名高いワイキキの海岸だ。冬のない國だから年中海水浴が出来る。海岸には椰子樹高く風を呼び、白砂遠く水清く、大波小波の寄せては返し、碎けては銀波の渦を巻き、或は時ならぬ吹雪をなす光景などは、繪よりも美しい。

珍魚の多い水族館

此處には有名な水族館があつて入場料は五十仙。五色の斑紋あるもの、黄に黒線あるもの、赤青の染分けや、其他種々なる色彩のものがあり、形も種類も皆珍しい物ばかりだ。又大ホテルが二つあるが、遠方から特に目立つて見えるのがローヤル・ハワイアンホテルで結構善美を盡し、太平洋岸屈指の大ホテルだ。

モアナホテルの澤柳博士

モアナホテルも宏大壯麗だ。石造の五階建、庭續きが海で、居ながら海水浴が出来る。太平洋會議に列席の澤柳博士が此處に居られるので訪ねて敬意を

表した。其翌日はホテルの大食堂で一行の者が博士の御馳走に預り、おかけでホテルの内部を見ることが出来たが、設備のよいのには驚かされた。

三、ハワイ最大のカピラニオ公園

海岸つづきにカピラニオ公園がある。海水浴場・大競馬場・大グラウンド・動物園等もあるが、動物園は我上野式とは違って何れも自然の棲息状態に近い様に出来てゐる。

四、ダイヤモンドヘット

カピラニオ公園から三哩程を走ると、鼻づらを海中に突出した相當高い禿山がダイヤモンドヘットで砲臺のある所だ。全山角張つた石山で中腹以上は土がない。山の影にはカイムキの兵營がある。

カイムキの簡易な兵營

草原の此處彼處にテント張りの兵舎があつて、其間に大砲が横はり殆ど雨さらしになつて居るが、士官のゐる所だけはバラック建だ。此處に本國から派遣された二萬程の陸兵が防備してゐるのだが、此孤島としてはちと大げさ過ぎる氣がする。

併し經濟的にはこれが本市の購買力を増して大に市の繁榮を助けてゐることだ。

組織的な國民軍

陸軍の軍備には常備兵の外に、十八歳以上の男子より成る所の整然たる組織を有する國民軍がある。將校百六名、兵千四百五十三名で、一九二六年の教練回数が千四百餘回と聞いてはその熱心さが想像出来る。如何に軍備縮小を口にしても東洋に對してはそれが罷りならぬと見える。

五、ポンチボールの見晴し臺

市街續きにポンチボールの見晴し臺がある。高さ四百米。上から市街を眺めるとまるで箱庭の様で飛行機上からでも瞰下する様な氣がする。路はアスファルトで頂上までも自動車で登れるのには驚いた。それに頂上一面に大木のやうな大シャボテンが生えてゐるのは珍らしい。

六、博物館と美術館

郊外ではビショップ博物館や美術館・デーモン公園（デーモン氏の邸宅）・監獄・癩病院等を見物した。博物館は武器などは大分あるが一般的には貧弱で、大體は土人の生活状態を示したものだ。中に二十間餘の鯨骨は珍しい。それに鳥類の陳列法がよく出来てゐて、棲息状態や習性を其儘現はしてゐる所は面白い。美術館は主として繪畫・武器などの陳列場だが、中に布哇王族の衣服や什器などのあるのが目を引く。日本物としては、甲冑・刀劍・十二單衣等もあつたが主に徳川時代の物ばかりで、却つて支那の物に相當高尚な美術品のあるのは氣がひける。

七、サンデーモン公園

サンデーモン公園は私人の邸園だが公開してある。一平方哩もあらんかと思はる程の大庭園には熱帯の樹木蒼然と茂り、冷風颯々と通つて來るので緑の芝生に横たはつて讀書でもすれば誠に氣分の良い所だ。東京市内人家稠密の間に時々大庭園のあるを見て盛夏の候などには殊に羨ましく思ふが、若しこれを公開してくれたら一般民衆の幸福のみならず思想善導の

上にも極めて効果のあることだらうと思つた。

八、氣樂な監獄

アメリカの監獄は、日本の牢獄を見てゐる者には想像の及ばぬ程簡単な構造だ。門も扉もあるがそれは形式だけで、逃げようと思へば自由に出られる。僕の行つた日は日曜（休日）のためでもあつたらうが、囚人が廣い運動場で盛んにベースボールをやつてゐた。運動場と公道との境には一丈程の杭垣が打たれてあるが、中に嬉々として運動してゐる彼等の様子は、まるで寄宿舎の感がある。それで情け者は入獄すべく時々罪を犯すさうだ。まるで靜養にでも來る氣でゐるらしい。

九、カリヒの癩病院

監獄から程遠からぬ所にカリヒ癩病院がある。周圍に杭垣を打ち、外部との交際を遮斷してあるので、家族や知人は垣根越しに話すのだ。而も三米突以内には近づけない様に、垣根の

外周りに鐵網が張られてある。寧ろこの方が囚人よりも悲惨事だと同情した。今患者は百五十九人、重患者は去勢してモロカイ島に隔離するとはまづ島流しの形だが、其處には五百十人ゐるといふことだ。縣政府は癩患の撲滅と患者の保護には大に努力し、治療保護費として六十九萬一千百四十九弗を計上してあつた。千九百一年に總人口十五萬に對し、該患者數九百二十四名であつたのが、總人口三十二萬八千人の現在に於ては、六百餘名に減じてゐる程好成績を示してゐる。

十、ヌアヌバリの古戰場

市内より九哩ばかりの所にヌアヌバリの古跡がある。山坂をうねりうねつて自動車を走らせだが、道路面はアスファルトやコンクリートだから危険がなくて乗心地が好い。どんな田舎路でも日本の様に泥道や砂利道はないのだ。走るに従つて山中に運ばれ、登るに従つて寒さを感じる。時々雲に圍まれ雨の見舞さへ受けつつ目的地に着いた時は數千尺の山上だつた。此處は山と山とに挟まれた山腹の切通しで、後は峻山前は數百丈の斷崖をなして海に臨み、



海岸の狭い平野にはパイナップルが一面に植ゑられ、それが青々として全土が草原の様だ。眞珠灣軍港は惜しいことには山が邪魔して見えないが、米國にとつては最も重要な軍港らしい。一度太平洋に事あれば全艦隊を入れ得る設備を有して居るとは、ワシントン會議も日本から見れば妙なものだ。兎に角布哇の防備に全力を注いでゐる所から考へても、此會議に於ける米國の精神が益々疑はれる。眼を轉ずれば海面は鏡の如くで、眼界は數十里の遠くに及んでゐる。海上は無風でも此處は常に強風帯にあるのは地形の關係らしい。道路の兩側には頑丈なる鎖が引かれて、觀覽者は道路の鐵杭や鐵鎖にしかとつかまつて眺望するのだが、腕の弱い者では忽ち吹き飛ばされてしまふ。自動車のまま谷へ飛ばされた事もあつたさうだが此の日なども白人の一人婦人が裾をまくられる、帽子を飛ばされる、あわてて轉がされるやら誠に氣の毒でもあり、可笑しくもあつた。此處は布哇王朝の建設者カメハメハ王が全島統一の最後に於て、本島の酋長を破つた古戰場だと、岩壁に記念文が刻まれてゐる。

十一、パイナップル工場

布哇の産業上見逃すことの出来ないのはパイナップルと砂糖の耕地及其製造工場だ。砂糖は主として布哇島ヒロ市を中心としてゐる様だからヒロ見物の項に譲り、此處にはパイナップルのことだけにする。

機械が働く鑛詰工場

市内にはパイナップル鑛詰會社の大なるものが二三あるので、先づ加州鑛詰會社を觀たが、成る程大規模だ。資本金九百萬弗、従業員三千餘人、給料だけでも年額千十四萬八千七百二十五弗で、鑛工場の製造能力が一日二十萬箇、鑛詰製造高年額二百八九十萬箱、税金三百二十萬弗、生産高の割合には職工が少く、鑛詰だけには三百餘人で日本娘が多かつた。パイナップルは機械で皮をはがれる、次に中央の髓をえぐられ種で流れる。そこに多數の女工が揃つてゐて良否をより分ける。そして碎けたものと髓とは別の種に流され、機械にかかつてパイナップル液となり、其の他は上中二種の髓に詰められるのだが、機械はすべて自動式で、種は自動的に送られ、蒸氣で蒸され、出て來ると蓋は目塗りされてゐる。それがまた自動式に荷造り場に運ばれるのだが、その順序が目が廻る程急がしい。此仕事に従事してゐる日本娘達の給料は一時間十七仙から二十五仙位、八時間働けば一弗半か

ら二弗になるわけだ。かかる會社が全島で十ヶ所もあり、其生産能力は年産額八百七十三萬箱、四千萬弗で、何れも輸出されるのだから一孤島の生産としては大きい。

邦人のパイナップル栽培と其生産力

これ等の會社は各所に耕地を有してゐるので

邦人の耕地従業員も少くない。殊に契約耕作(小作に近い)に至つてはかなり多い。あまり割の良い仕事ともいへないが、邦人には適當の職業だ。少しく生産状態を調べてみたが、パイナップルは植ゑつけてから收穫まで三年乃至五年かかるから、五年を一期として計算してみると、一英町に對する支出約六百弗、收穫が三十噸、一噸の相場最低二十八弗とみて(多くは二十八弗から三十弗位)八百四十弗、即ち利益が二百四十弗、一收穫を三年とすれば年に八十弗で、十英町なら八百弗になるから、契約耕作なら相當有利な事業だ、若し收穫を五年と見ても生活は出来る。統計の示す所によると、邦人中會社の下に使用されて其耕作する總面積が一千九百英町、外に小作反別が三千三百五十英町で、此方面からの邦人の所得が、年に約三十五萬弗、其の外個人の所有又は自作地が四百二十一英町(所有者は二十人ある)これが年平均の支出一英町八十弗(合計三萬三千六百八十弗)、収入は一英町六噸(合計二千五百

二十六噸)一噸三十弗として合計七萬五千七百八十弗、差引四萬二千弗の収益となるわけだ。兎に角邦人に取つては大切な活動方面で、ワヒアクの關屋氏の如きは、二百三十五英町の耕地を所有してゐるとのことだ。

夜のホノルル

風紀を亂す物質文化　　ホノルルは合衆國の關門でもあり、且は各國人も多數集つてゐるので、此處を委しく調べれば、米國の觀察にも又在米同胞の狀況を知る上にも好都合と考へて、成るべくよく見ることにしたが、何しろ滞在日子がわづか五日間だから晝夜兼行で、かなり多忙だ。所で先づ市街の情調を味ふべく街頭に出て見ると、夕方から婦人の通行が多くなり、華かな服装をしてぶらぶら歩いてゐる彼等の様子は如何にも呑氣に見える。モダンボーイも集り、ごろつきも集り、水兵も女を連れてふざけながら歩いてゐる。晝の忙しいホノルルとは全く異つた光景だ。

市民は不良青年と水兵を極度に怖れてゐるが、彼等は殺人強盜などは朝飯前のことらしい。警察の規則で少年少女に夜の外出を禁じてあるのも其爲だ。活動寫眞館などをみると、館は俗惡の氣分に満たされ、賭博や飲酒は市内の隨所に行はれる。禁酒法などは表看板だけで金さへ出せば自由に飲めるのが妙だ。それに大仕掛の密造もされれば、個人も造るので、禁酒後は却つて飲酒の量が増したらしい。尤も酒が高いので下層労働者などは工業用のアルコールや、香水油などを飲用するといふことだ。また飲酒との關係ではあるまいが、性的紊亂も甚だしい様だ。公園と自動車は或種の密會場だといはれて居るが、成程夜中薄暗い路地に暗い自動車がストツプして居るのは異様に見える。

犯罪の多い白人國　　警察官憲は日本とは違つて金で自由になるさうだ。實に内地では想像も及ばぬことが多々あるが、具體的に書くわけにはまゐらぬので、抽象的に言へば風紀の廢頽極れりの一言に盡きる。我警察の制度及び職務の執行状態は世界一だと聞いてゐたが、國外に出て見るとはじめてそれがわかる。而も斯る警察力の下に所罰された犯罪数は、驚くべき數字を示してゐるのだから驚かさざるを得ない。千九百二十五年の統計を見ると、縣裁判

所取扱の刑事事件数一萬一千八百六十三、内有罪八千六百四十九、巡回裁判の取扱件数四百二十八、内有罪三百一、區裁判所件数一萬六千五百七、有罪決定八千三百四十八、大審院の有罪十四、總計一萬七千三百十二。市民十九人中刑事犯人が一人の割合にあるのだから、實に物騒だ。これを犯罪種類別に見れば、賭博が第一位で二千四百、飲酒が九百、貞操に關するもの三百、秩序紊亂七百、あとは窃盜・殺人等だ。

犯罪の最も少い日本人

これを人種別に見るとヒリツピン人・布哇人・朝鮮人・白人・支那人の順で、邦人が最も少いのは心強い。ヒリツピン人に犯罪の多いのは、血氣盛りの獨身者が多いのも其一因らしい。次に在監囚徒中人口の割合に最も多いのは、ヒリツピン・支那・朝鮮・ポルトガルで、米人と日本人は少い。米人が形式上少いのは金が人を使ふ國だといふことを含んで考察しなければならぬ。それから囚徒の犯罪別を見ると一層恐ろしい感じがする。殺人・強盜・強姦・姦淫・少女又は肉親との落倫や、窃盜・禁刑法違反などで、少年犯罪もかなり多い。

貞操の乏しい人種に離婚が多い

離婚の多いのにも驚いた。千九百二十六年には、六

百十五件で、最も多いのは白人、次が布哇人・混血兒で、東洋人は少いが其の中でも支那と日本が最も少い、(日本八十一)。離婚の判決内容としては、夫が妻に對する虐待、妻が夫に對する虐待、女の逃亡、無扶助等だ。これで男女間の道德も家庭の道德も極めて低級なことがわかる。序だが貞操觀念は他人種結婚の上にも現はれてゐると思ふので、離婚の状態も調べてみた所が、女で他人種と最もよく結婚するのは、布哇土人と白人、土人の混血兒や、ポルトガル人で、彼等は如何なる人種でも相手選ばずだが、東洋婦人の離婚者は極めて稀だ。男子側からみると白人混血兒と白人とは人種をかまはず妻とするが、東洋人殊に日本人で白人を妻としてゐる者は殆んどない。又當地に私生兒の多いことも貞操觀念のない證據だ。以上の事實から、道德生活の大體は想像されるので、先づ裏面のことは、此邊で筆を止めることにする。

夜開花とマノアの夜の虹

夜のホノルルにも明い部分もある。ワイキキ海岸の清月やマノア住宅地の夜の虹は見物だ。そよそよと冷風に見舞はれつつ、住宅地帯を月下自動車で徐行するのも一興だ。殊に名物のナイトブローミングシエリー(夜開花)は見事だ。これは夜

咲く花で、木はシャボテン類、石垣に紐の様に懸つて、房の頭には純白の花を着け、形は百合の花に似て長さ五六寸、開けば輪の直径は五六寸、夜咲いて朝はしぼれるので夜開花といつて居る。月光下の眺めは時ならぬ白雪を置いた様で、涼しく愛らしい。

布哇の學校巡り

盛なる夏季學校

時恰も夏休みで平常の如き學校生活を見られないのは遺憾だが、その代り何處の學校でも、夏季學校が開かれてあるのは好都合だ。夏季學校は中學・大學と上級に進む程盛だが、この邊が日本の高級學校と大分違ふ點で、休暇を利用しての正式學習などは我大學や専門學校には見られない所だ。小學校などでは早くから夏季指導等と名づけて一種の夏季學校をやつてゐるが、それも形ばかりの所が多い。それは中學の入學準備とか、奉仕的な特殊の教師に限られて、一般には教師も兒童も眞の自覺がない様に思はれる。夏季學校は布哇ばかりでなく米大陸では盛にやつてゐる。小學校方面に於ける其主張を聞くと(一)

長く學習生活から離れると、やがて學習能率は低下する。(二)學校生活より長く離れると、心身が弛緩して種々なる弊害が現はれる。(三)長い休暇の必要がない。との理由で、大體吾人の主張と一致してゐる。僕は十數年來夏休の不必要(或は一步譲つて短縮)や、季節教育(夏は夏の教育法ありとの意)上から、夏は學校に於て二時間位、特殊の方案による教育を施すべきことを主張してゐるが、議論として賛成は得ても、實行者としての味方は極めて少數だ。然るに今國外に於て多數の同志あるを知つては大なる満足を感じざるを得ない。

平民的な大學總長

ワイキキ邦語學校長渡邊氏の案内で、布哇大學(ユニバーシティー・オブ・ハワイ)を觀たが、同氏は學校經營の傍、午前中は當大學の學生として登校してゐるので、萬事便宜が得られた。構内の廣い敷地には一面の綠草を敷き、あちらこちらには樹木が圓く大きく茂つて、其間高尙な建物の見えるあたりは如何にも學園らしく、又全體的に眺めると大公園の感じもする。總長室に行くと誠に喜んで迎へてくれたが、其態度は小學校の先生の様で、少しも高振らない。ここが日本の總長や學校と違ふ所だ。それに話す様子が、十年の知己の様な心情が現はれてゐるので如何にも氣分がよい。どこへ行つても學校參觀の調子

は萬事此の通りで氣持がよい。少しも飾らず、また人を疑はず、初對面から開け放しで陽氣で快活で親しみがある所は米人の共通點だ。教室をのぞいてみると學生も教師も熱心に研究してゐる。大きな圖書館には多數の書籍が、部類分けに整然と列べられ、閱覽室では學生が熱心に調べてゐたが、全く微音でも聞えぬ迄に公衆道德の進んでゐるのに驚いた。此處では女學生が多かつたが、何處の圖書館でも女の多いので女性の進歩的態度が窺はれる。

最新式のバンガロー式校舎

其他マンキンレーハイスクール(中學)、リンカーンス

クール・セントルイスカレッジ(大學)・師範學校等を見たが、構造は古い方では煉瓦又は石造。木造だが、最近の式はコンクリート造りだ。そして何れも広い庭園を有して、内部の設備は我國よりは遙かによい。小學校では近頃一棟一室式の平屋木造が建てられる傾向だ。これをバンガロー式といつてゐるが、名稱までがホームと呼ばれるのはクラスを家庭化する趣意から來たものらしい。かく大きな緑の庭園内に小さな幾棟かの平屋が建てられて、一教師の下に家庭生活を営んでゐるのは面白い試みだ。我國のアメリカ追従者が頻りと木造校舎をコンクリート造に改めつつある最中、御本尊が木造に變つて行くなどは如何にも皮肉な氣がする。

布哇大觀

一、土地と人

火山で出來た布哇島

布哇は八つの島と多數の小島から成れる群島だが、最も大なる

ものが布哇島でヒロ市がある。次はオアフ島でホノルルのある所、あとは加哇島と馬哇島で、總面積が六千四百六平方哩だから、我が千島よりは少し大きく四國よりは稍々小さい。各島共熔岩から出來てゐるから比較的新しい島の様だ。今も熔岩が一面に露出して土壌のない所も大分ある。布哇島の如きは時々大噴火をするので世界的に有名なキラウエヤ火山や、曾て大噴出をした、富士よりも高いマウナケヤ(一萬三千八百五十二呎)及びマウナロカ(一萬三千餘呎)の二山が海上高く聳え、島其物がまるで洋上に浮ぶ山のやうだ。従つて平地の見るべきものもなく、其裾野が耕地をなして居るのだが、全部熔岩のために流がないので水の不便は一通でない。尤も一年が雨季と乾燥期に分れて(十月から二三月までが雨季)かなり雨は

降るが、皆地下に浸入して川らしい川はないので、飲用水などはたまたま流れる小川の源から水道で送るか、又は山に横穴を穿つて滴る雫を集めて水道にしてゐる有様だ。

常夏て果物が多い

氣候は四時温暖で寒暑の差なく、暑くも八十度寒くも六十度以上で、多くは七十二三度位だからいつでも春の氣分だ。これが人心に大影響を與へ、また一方には食物殊に果實を豊富にする。椰子の實・バナナ・パイナップル・芋（土人の常食）・パパイヤ・マンゴーなど、何れも美味で多量に水分を含んでゐるので、一度ハワイに行つた者はこの事だけは忘れ得ない。住民は氣候と食物の關係から心理的には衝動や本能の活動が旺盛となり、生活が享樂的となつて、道德の頹廢するのも無理はない。

一番多い日本人

住民は二十六種の民族がゐるといふ事だが、その中邦人が最も多數でその數十二萬九千九百一人、米人と英・獨・露の北歐人が三萬六千人、ポルトガル人が二萬八千人、西班牙人が千八百、ポトリコが六千、支那人二萬五千、ヒリツピン人が五萬、朝鮮系六千、白人混血兒一萬四千五百、アジア混血が八千九百、布哇土人が二萬一千で、數の上からは日本人の布哇とも言へる。而も邦人は出生率が大なるために人口が愈々増加し、白人

の出生率は小で、特に土人の方は年々減少の傾向だ。一ヶ年間に於ける人口千人に對しての出生率は日本が四十三人、亞細亞系混血が七十七人、白人系混血が五十六人、あとは何れも四十人以下で、土人の二十五人、白人の十一人が最も少い。死亡率は千人中、土人が三十人、其他の八種は十五人以上宛で邦人は僅に九人だから、此割でゆくと一年に千人に對し三十四人の増加で、全體では約四千四百人宛増してゆくわけだ。混血者の出生率が多いが、出生後嬰兒の死亡率も亦驚く程多いから、結局人口増加率は多くない事になる。嬰兒千人中の死亡率を人種別にあげれば、ポトリコ人の百十四人、ヒリツピン人の二百三十七人、亞細亞混血の百三人、白人混血の七十八人、白人の七十五人、日本の七十人、支那の六十一人、朝鮮の四十三人。つまり個人道德の進んだそして貞操觀念の強い民族たる（離婚統計と離婚統計から）日本や（朝鮮）支那の嬰兒死亡率が一番少い。これ等の事情からも布哇は寄木細工式、寄合世帯で夫々分取主義的の、物質生活に陥りやすいのも無理はない。誠に不秩序不統一の土地だ。（本國も同様布哇を廓大したと見ることも出来る）併し物資が豊富なのと、兎に角勞働さへすれば誰でも生活が出来るので今は問題がない。

二、ハワイの砂糖とパイナップル

砂糖とパイナップルが本島の生命 製糖業とパイナップル栽培とは蓋し本島の産業的生命だ。製糖會社は總てで五十三、總資本金九千萬弗。會社所有の耕地面積十二萬一千三百八十五英町で、小作反別は約八百餘英町、産額八十萬噸（千九百二十六年は七十八萬七千二百四十六噸）價格八千萬弗で純益は三千万弗、従業員總數實に五萬人、中邦人の耕作に従事する者一萬五千人。

従來の耕地労働は邦人の獨占 耕地労働はこれまでは邦人の獨占事業であつたが、近時米本國では比島人を移住させて、邦人に代らうとする勢を示し、今や彼等二萬五千の者が耕地に働いてゐる。其外米人・支那人・ポルトガル人・ボトリコ人にして耕地に働く者各千人。邦人が年々減少するに反して比人の増加するのは、邦人の轉業と歸國者が増すためらしいが、何れにしてもやがては比人の獨占になるべき運命にあるのは残念だ。

割の悪い小作人 ところで資本家は米人だが、分配の内容をみると大分資本家の方が割

がよすぎるが、これでは日本人が汗を絞つて白人を儲けさせてやる様なものだ。甘蔗の收穫は植付後十八ヶ月かかるのだが、一株を三四回利用しても成熟期間には變りはない。一英町からは生甘蔗約五十噸の收穫があり、甘蔗八噸から粗糖一噸取れるので、（一斤五仙の相場として）自己の所有地なら五英町もあれば優に生計が立つが、殆んど全部が會社の請負小作か又は常備農夫だから生活は中々困難だ。農夫の勞銀は月、男子が六十六弗、女子が十九弗（これが最低賃銀だから多くはこれ以上になる）、其の外奨勵金として一ヶ月三日以内の缺勤者には月給の一割を増し（勤勞報酬）、砂糖一噸の相場が百弗以上（一斤五仙以上）になれば、利益分配として一噸につき五分（五弗）與へられる。尤も家屋（板小屋）・燃料・水・醫藥は會社からの支給だから、どうか生活だけは出来るもの、資本家の莫大な利益に對しかかる低廉な勞銀で勞働爭議の起らぬのが不思議だ。請負小作には短期請負と長期請負とあるが、前者は一定の耕作地に付いて收穫までの一切の勞働を請負ふので、恰も我國の請負師が土木工事を請負ふ様なものだ。會社からの支給や恩恵は前の場合と同じだから、一日一弗半から二三弗の割合になるさうだ。長期請負は地代二十弗乃至二十五弗と肥料・勞力・家賃・税金まで支拂ふ

ので、損益共に自己の利害に拘はるのだから、凶作其他相場の暴落等の際は、悲惨な目に逢はねばならぬが、普通の場合は前者より利益があるらしい。殊に生産能力に比例して、収益を増すのだから小作者にも張合がある。また能率があがれば會社の利益も増す事になるので多くは此方法によつてゐる。此の方法によると一英町に對する總支出、第一年には約二百五十弗（内勞銀百弗）、二年目よりは二百弗、収入は生甘蔗五十噸で會社の買上價格が一噸五弗、全部で二百五十弗、それに利益配當は甘蔗五十噸とすれば、粗糖一噸となるので、それが一噸百弗の相場なら一英町で六百弗其五分の賞與が三十弗で總收入二百八十弗、差引三十弗から五十弗の利益となるが、若し利益配當がない場合は手間賃だけだ。一人の勞働力では五英町位らしいから、うまくいつて諸経費と勞銀とを差引いた残り、百五十弗から二百五十弗位だ。所が會社は五十噸に二百五十弗支拂つて、六百弗の砂糖が取れるのだから、製糖の生産費を控除しても尙三百弗になるが、小作人は利益配當がなければ、勞銀に相當する百弗位のもので、會社と小作人との所得分配は甚だしい差だ。我が國の封建時代でさへも、四公六民であつたのに、勞働問題のやかましい現代に、これでは資本家があまりによすぎる。尤も邦人は一世

帯普通十英町から十五英町位の耕作をしてゐるから、生活費を差引いても年に五百弗から七百弗位の所得はあるわけだ。

三、布哇の富力と財政

パイナップルの生産では、大會社が十社で資本金約三千万弗、年産額八百七十萬箱約四千萬弗で、何れも輸出せられて莫大なる利益があるのだが、資本家は何れも白人だ。布哇は生産的には砂糖とパイナップルの二大産業によつて、立つてゐると見ることが出来る。僅か三十二萬人の土地で、歳出入豫算が約一千万弗、（我國の三十二萬位の都市の歳出入は二百萬圓内外だ）教育費約四百萬弗、社會教育費七十五萬弗、社會事業費百二十五萬弗、衛生費九十七萬弗等を計上してゐる。社會教育としては國民軍訓練・少年少女の感化院・職業指導學校・外國語學校・低能兒收容所等の施設がある。

四、布哇の行政と邦人の市民權

政治的には米國の一縣として本國の憲法及法律の適用を受け、本國からは監督官としての知事と、行政官たる書記官、検事總長及會計・土地・教育・土木・測量・衛生・農林・會計検査の各局長、高等警部、國民軍高級副官並に海陸の防備司令官が來てゐる。又立法部としては各地方より選出せられた上院議員が十五名と、下院議員が三十名で、其任期は四ヶ年、半數改選の制である。尙郡市にも議院と郡市廳とがあるのだが、公吏は選舉で定まり、市には市長、警察署長、検事、會計官、會計検査官、市參事會員。郡には郡參事會議長、郡參事會員、書記、會計検査官、検事、會計官、警部があつて自治制を布いては居るものの、大體は白人の自由だ。市民權の數から見れば日本人七萬五千人、英・米・獨人が三萬五千、ポルトガル人二萬四千、白人系混血人一萬四千、比島人五千、布哇人二萬一千、其他合計二十一萬だが、實權は知識階級にして且つ資産階級たる白人にあるのだから、土人には同情を表したくなる。

布哇の沿革

布哇は元王朝があつたのだが、米國が巧妙なる方法で併呑したのだ。王朝の建設者は布哇島

コラハの酋長で千七百三十六年に全島を統一して王位に即いたのだが其の後八代リリウオカラニの朝に革命があつて、千八百九十四年共和國となり(某國が革命を起したのだといふ)、次で千八百九十七年我明治三十一年に再び内亂が起つて米國に合併せられたのだ。尤も米國にとつては、なくてはならぬ土地で、經濟上交通上には勿論、米國の東洋發展には極めて重要な地位を占め、軍事上に於ては言ふも更なりだ。米國多幸なりと羨まざるを得ない。

布哇に於ける邦人の發展

人口の上では日本の布哇

布哇の人口三十二萬中我同胞の在住者實に十二萬九千人、

その中日本生れが五萬五千人、布哇生れが七萬五千人、全島の市民權所有者十二萬中邦人は七萬五千人、選舉權を有する者が三千人、ホノルル市だけでも四萬人からの邦人がゐるのだ。

ヒロ市の如きは一萬二千人の人口中、邦人約八千、純然たる日本町で、二三の白人商店を見る外はすべて日本商店だ。かく人口の上からは日本人の布哇とも言へる。

耕地に働く同胞の苦心

これ等十三萬の邦人は、主に耕地其の他の勞働に従事してゐるのだが、砂糖會社に働く者のみでも一千人、家族を合せて約三千の人がこれで生活し、その年收は一人當り約五百弗とみても、約五十萬弗となるわけだ。其他砂糖耕地の邦人は多く小作農で、それに少數の自作を加へると約一萬二千人、一人年額七百弗とみて、その所得は約八百四十萬弗、これで約三萬五千の同胞が生活してゐる。これを結果からみると生活は豊に思へるが、事實は左様には參らぬのだ。併しこの八百四十萬弗は全く汗と血潮の結晶で、其奮闘生活をみては實に感謝感激の外はない。耕地は見渡す限りの甘蔗畑で所々に二棟三棟のバラック式長屋があるのだが、一棟には五六戸の世帯がありこれが耕地農業者の住家だ。而も周圍は甘蔗密生し中に入れば日光の見舞さへ受け得ない所で黍の枯葉を取る苦痛は想像の外だ。黄昏疲れ切つて我家に歸つても何の楽しみもなく、内地の如き娛樂機關もないのだから、特に獨身者には同情に堪へない。歸宅しても手足を伸して一日の疲れを癒す位が關の山で、すべては故郷に在す親への送金を唯一の勵みに働いてゐるのだ。この十年二十年にわたる同胞の奮闘は全く親兄弟への犠牲的奉仕の生活で、個人生活の様子をきかされては落涙

を催さずには居られない。これ獨り甘蔗耕地の人々ばかりでなく、在留同胞は皆これだ。

尊き日本精神の發揮

かくして在布三四年間の奮闘生活は殆んど内地送金に終り、従つて投資が出来なかつた所から土地の所有者も極めて少い。しかし君父のためならすべてを顧みざるの行動は、日本人ならでは出来ぬ藝當で、これぞ我民族精神の眞髓だと眞に心強く感じられる。ところが近來我内地にはどこからか西洋風が吹いて來て、家族制度は家庭本位に走りかけ、家族道徳や情誼を主とする對個人の道徳は日を追うて遠けられ、かくして我精神文化の誇とする立體的の道徳は、白人文化の平面道徳の下風におかれんとする一般人心の傾向を見ては、轉た痛歎に堪へぬ。此點内地同胞の熟考を望みたいものだ。

同胞の偉大なる生産力

パイナップルやコーヒの栽培に従事してゐる邦人も少くないが、其生活の状態は前者と大同小異だ。會社耕地のパイナップル園内の邦人の耕作反別は一千九百英町で、従業者四千人、小作・自作が三千七百七十英町で、この勞働に従事する者約八百人、其所得は小作一英町約五十弗、自作は勿論それ以上だ。今これを會社所有地分より約十二萬弗、小作分二十三萬弗、自作分七萬五千弗とすれば全部で四十二萬五千弗になる。そし

て之に従事する總員は一千二百人、其家族と共に約三千の邦人が生活してゐるわけだ。
 コーヒーは殆んど邦人の獨占的職業だ。植付三年目より一英町一斤位の收穫を見、五年目には二三千斤の收穫になるから、年平均千三百斤とみれば、一英町で三百二十五弗の収益となる。コナ地方が最も良い産地で、邦人の耕作反別五千五百五十四英町、總収入百六十萬弗、これに従事する者千二百人、及其家族が約三千人。

米作は邦人の専門的業務で、その耕作反別三千二百二十四英町、中邦人の耕作分は六百五十英町(支那人三百八十英町)、一人の耕作面積が普通二三英町だが、一人で二十英町、中には七十英町の農場を經營してゐる者も少くない。收穫は一英町で二十四俵(年二回)で一俵の相場は五六弗(一俵は百斤)、これに従事する邦人約一千二百人、家族共三千人、年所得が約三十二萬弗。

野菜園も殆んど邦人の占有でこれに従事する者一千二百人、耕地面積二萬英町、年々百萬弗の産額は、邦人三千二百人の生活費となるのだ。

それから花園業も有利な事業で、三英町位の土地と温室があれば出来る。従業者百餘人年收

十萬弗位の所得がある。

次に牧畜業に従事する者二百八十人(家族と共に七百人)、年收十五萬弗。養雞・養蜂等の業を營む者家族共約三百二十人の生活資源で、年額十六萬弗の收入がある。

次は眞に我獨り舞臺の漁業方面だが、ヒロとホノルルには邦人の大會社があつて、所有船舶は會社と個人で五百八十四(機械船三百八、傳馬船五十四其他)、其税金一萬二千弗、約二千の邦人漁夫が遠洋漁撈に出かけるのだ。一航海三週間位で七八百湮、時には千五百湮も出ることがあるといふことだが、やがて鱈・鯉・鯨・鯛等を満載して歸り來る様は、想像するだに愉快だ。而も一度出て來れば一船二千弗位にはなるさうだ。千九百二十六年度の漁獲九百三十五萬封度、約百萬弗の收入、これで五千人の人々が生活してゐるのだが、二世がこれを相續する氣がないので、やがては廢滅だとは誠に惜しいことだ。

あとは白人の家庭に働く家内労働者・植木職・理髮職・洗濯業・ホテル・料理屋・飲食店等の業務に従事する者が家族共約二萬七八千人、内稼手は二萬人、其年収入は約一千六百萬弗。最後に最も收入の多いのは商業だ。それ故労働者で小金ができると商業に轉じたがるが、現在商

人は約二萬五千人、其家族を合すれば三萬八千人、年收約二千五百萬弗。

同胞の經濟力

以上在留同胞の血と汗とで、毎年約六千七百七十萬弗の大金が産み出

され、十二萬九千人が生活し、其剩餘が内地送金となり或は貯金又は投資となるのだ。現在投資額は總べてで二億弗に近いかもしれぬ。或人の調査によると農業に一億弗、商業に一億二千萬弗、鐵道に千六百萬弗、電車に二百七十萬弗、銀行に四百三十萬弗、貯蓄貸出三百七十萬弗、信託會社に四百七十萬弗等で、合計二億六千萬弗になつてゐる。勿論之はすべての資本・家財・其他を計算してのことだが、兎に角生産的には、個人的にも國家的にも偉大なる働をしてゐることが知られる。年々内地送金のみでも、五六百萬弗は下るまいが、此外日本品の輸入せらるるもの、年額六百萬弗内外、これ全く邦人在留の賜だ。

日本語學校と日系市民の教育

必要が産んだ日本語學校

古來布哇土人の間には文字もなく、學校もなかつたが、一千

七百七十八年、英人クツクの本島發見から（一千三百年代に邦人の漂着せる者あり）英國海相の名を冠して、サンドウキツチ群島と呼ばれることとなり、此處に歐洲との交通が開けてイスパニヤの宣教師等が渡來した。其後一千八百二十年に米國の宣教師が土人語をローマ字で綴つて、カメハメハ二世の代、始めて王族方へこれを教へたのが學校の始めであるさうだ。次で白人の多數が移住するに至つて、生活の必要上から、宣教師によつて白人の爲の私立學校が設立せらるるに至つたのだ。而して我國と布哇との公的關係を生じたのは明治元年始めて百五十人の移民を送つた時からだ。これより先個人的には文化元年に仙臺の漁夫が漂着し、天保三年にも、同十年、同十二年にも漂着者があり、弘化四年、嘉永三年にも上陸者があつたが、現在の如き關係を生じたのは明治四年に我國との間に修好通商の條約が成立して、時々官約移民を送ることになつてからのことだ。其後明治二十七年からは官約移民の廢止となり、同時に民間移民會社の手によりて、年々多數の移民が送られる様になつた。かく多數の邦人が集つたが、重に獨身者でもあり、且始の間は子女の年齢の關係上、教育などを顧るの暇もなかつたが、第二世が白人學校の教育を受くるに及んで、其言語と習慣とは邦人

の家庭人としては異様の感を與へ、且邦語の不充分なために、親の意思感情すらも通じ得ぬことがあるので、親は其子の將來について大に憂慮する様になつた。偶々明治二十九年四月牧師奥村多喜衛氏が、ホノルルに日本人小學校を設立してより、各地の在留民も續々之を設立經營する様になつて、現在では邦語學校百四十五、教師三百五十五名、兒童數二萬一千の多きに及んでゐる有様だ。従つて如何なる奥地の小部落でも必ず學校を設立し、中には三四十人の學校も多數ある位、日本語學校が發達した。また一方には佛敎團が盛んに小學校を設立經營してゐるので、布哇の日本小學校長に多數の僧侶のあることは、此間の事情を物語るものだ。そこで白人の公立學校に通學する第二世は、下校後日本小學校に来て、一時間宛の國語教育を受け、國語を通じて祖國を理解し、國民感情に接觸出来るわけだが、米國がこれに對して露骨に壓迫を加へたので、こゝに大問題を惹起した。

日語學校の禁止問題

米國は歐洲戰爭後、一層帝國主義に傾き、内には國民の統一運動(國旗尊重・憲法尊重・國語の普及・米國習慣の順化)が盛んとなり、外には國權の伸長が露骨になつた位だから、布哇の日本小學校の隆盛が、彼等に極度の刺戟を與へたに相違ない。

特に排日問題と關聯して現れたのが例の外國語學校取締方法で、これが布哇縣會に提出せられて一千九百十九年から實施される事となつた。此法令によると外國語學校は(一)政府の監督を受くること、(二)教師の資格試験を行ふこと、(三)教科書は政府編纂のものを使用すること、(四)通學兒童の年齢と教授時間に制限を加ふること。これでは邦語學校は全滅だ。この對策のために在留民は容易ならぬ苦心をした。兎に角日本語教授が出来なくなれば、第二世は日本文どころか家庭の會話さへも不可能になり、悪い意味での米化(個人主義的・放縱・家族道德の破壊等)一方で、而も白人學校卒業者は、生活的には不具者となる外はない。つまり日本語を知らぬ日系人では、白人も日本人も言語上の不便から、雇ひ手がなくなるのだ。そこでこれが對策として在留民の意見は二派に分れ、飽くまで政府に對抗して難關を打破せんと主張する硬派と、米國市民としてこれに順應せんとする軟派とは寧ろ軋轢さへ生じて、遂に硬派は斷然布哇政府を相手取つて、米國法廷に試訴することとなつた。ところが巡迴裁判はこれを理由ありとして、事件は桑港の大審院に移され(一千九百二十二年)、審理の結果は邦人側の勝訴となつた。然るに被告側が控訴したので、紐育の大審院の再審に移され

たが、原判決は正當なりと認められて、布哇政府の敗訴となり、さきの外國語學校取締規則は無効になつた。その理由とする所は該取締令は米國憲法違反なりとのことだ。米國憲法によれば教育は州又は縣の自由なるも、親は憲法上其子の教育について權利と義務とを與へられてゐるので、何を學ばせるかは親の自由だ。又一般論としても、人々は學ぶ權利を有してゐる、何を學ぶかは各人の自由だとの理由から日本語學校が認められたわけだ。これで八年間の懸案は目出度解決されたが、此の間試訴派では布哇教育會を造りて學校間の連盟を固くし、一方教科書を編纂してこれを連盟校の兒童に使用させるなど、大に民族精神の統一に努めた。また軟派の學校は政府に對して兒童一名につき一弗宛の税金を納めて新令の適用を受け且教育局編纂の教科書を使用して居たが、今は兩派共舊の如く、大手を振つて日本語の教授をしてゐるわけだ。なほ本件については硬派の中心となつて終始奮闘された、布哇時事社長に敬意と感謝を表する次第だ。

日語學校の教育方針

邦語學校の教育方針は再三變更せられ、今は民族主義的教育を施して居るが、最初は日本の教科書を其儘教へて、よい日本人たらしめようとした所が、其

後烈しい排日に遇ひ、また移民としての自覺も出來たので、米化主義に變化した。然るに白人主義の教育の結果は、第二世の日本色彩が薄らぎ、或は親子の結合を亂して（孝道を知らず）邦人家庭の生活を破壊することさへもある様になつたのと、米化主義的の生活に變へても、到底排日を緩和し得ざること氣付いたので、茲に再び日本人式の教育を施す必要に迫られた。そこで今では邦語學校は非常の隆盛を極め、校舎は改築・修繕せられ、設備も教師の待遇も大に改善せられた。尙日本小學校の外に本願寺設立の布哇中學・布哇高等女學校があつて、前者は生徒數三百八十名、後者は三百十四名ある。同じく本願寺所屬の中等學校に、ヒロ中學・ヒロ高等女學校と、淨土宗所屬のホノルル女學校がある。其他獨立校としては布哇中央學院・同高等女學校等で、これ等中等學校の生徒總數は一千二百八十名、此の外白人の中等學校には多數の第二世が入學して、成績は割合に優良だとのことだ。

軍艦のアットホーム

碇泊中當地の官民並びに在留同胞より受けたる歡待に應ふべく、我が艦隊は出港の前日にアットホームを行つた。來會者の大部分は在留民で、晴姿の老若男女が凡そ千五六百名、軍艦では副長を始め士官方が接待に忙はしい。後甲板にも前甲板にもテントと幕とが張られて椅子・テーブルも列べられ、一隅には上品なしかも神々とした嚴島神社が造られてある。やがてビール・サイダーは運ばれ、すし・海苔巻・焼鯛なども列べられた。日本酒は灘の生一本で而も無盡蔵飲み放題といふわけだから上戸の喜は一通りではない。特に禁酒國の米人までが公然飲めるのだから、白人の婦人なども大に飲み且つ興じて悦に入つてゐる。尤も彼等は平素盛んに喫煙したり、又竊に飲酒をしてゐるとの事だから不思議はない。中甲板の模擬店には團子屋・うどん屋・汁粉・お稻荷さん・おでんや・甘酒屋などが下戸連で大繁昌。前甲板を見ると舞臺が出来て居て今劇の眞最中だ。俳優は何れも水兵だが中々うまくやるので貫泣きをしてゐる客も少くない。かくして娛樂の時間が午後一時から五時まで、在留民の満足は一通りではなかつた。兎に角祖國を離れて異境の空を眺めつつ多年孤獨無援の生活を續け、而も排日の火中に身を投じて時々悲憤の涙に暮るる我が同胞が、母國艦隊の來訪で如何に慰められたで

あらうか。如何に心強く感じたであらうか。今ここに艦上歡を交はして更に萬感胸に迫り、感涙に咽ぶ者すらあつた。これで本艦隊の使命中、同胞慰問の目的は達せられた。

ホノルルより桑港まで

七月十九日はホノルル出港の日だが、此の日帝國教育會長柳澤博士の招待をうけたので、モアナホテルで午餐を認め、歸艦して見ると數多の在留同胞が艦内黒山の如くに集り、中に布哇教育會幹事の諸君も多數見えた。艦内は出港の準備で忙はしく、海岸には數百臺の自動車と二千餘人の同胞が出港を待つてゐる。聽て午後五時半碇は上げられて、艦が運轉を始むると一時に轟く萬歳の聲は實に天地も動する程だ。乗員は甲板上に整列して登舷禮を以て之に答へ、水陸互に姿の消えるまで帽を振つて別れを惜んだ。中には汽船で港外まで送つてくれた人々もあつた。乗員は尙も別れ惜し氣に布哇島の姿を見守つてゐたが、船が進むと共にあたりは刻々と闇黒になり、今はたゞ燈臺のみかすかに見えるばかりで、遂に名残り惜しくもホ

ノルルと別れを告げた。明くれば二十日、海上は相變らず穩だ。ホノルルより桑港までは二千百十七哩で約十日間の行程だから前の航海に比しては稍々樂だ。それに今は航海にも慣れ氣力も旺盛になつたので、この航海は主として内地への通信や視察事項の整理等の時間にあつて、多くは私室に閉ぢ籠つてゐたが、二十六・七の兩日はうねりが大きく、濠の動搖が甚だしいので便乗者中には一二の船酔をしたものもあつた。然るに此動搖中兵員の閱兵式が而も規律正しく行はれたのは流石に我海軍だと敬服し且心強く感じられた。二十八日は桑港入港の日だ。早朝から時々商船にも逢ふので、最早陸地に近づいた事がわかる。午前十一時前方に細く長くかすかに山らしいものが見えて來た。鷗も盛に飛廻つてゐる。其中に右舷の方にもかすかに半島らしいものが現れた。左の山の波打際は白くて雪の如く右手の半島は白く赤く禿山の様に見える。艦の行手に又半島が現れた。さきに赤く白く見えたのは桑港の市街で、今は海岸の大風車さへはつきりと見えて來た。刻一刻と陸地に近づくので、禿山と見たのは桑港市の赤煉瓦の建物であつたことに氣がついたが、町は山と見誤る程高低と傾斜を持つてゐる。此處は大體山腹の町と思へば間違ひはない。それに建物は不揃で、三十階の隣が二

階建の而も横に大きな建物やら、細長い塔などが入り亂れて、其不秩序には一種不快の感が生ずる。米國の自由と不統一の氣分は建築物にまで現れて居ると氣がついた。金門（ゴールデンゲート）を通過すると愈々世界四大良港と言はるる桑港灣だ。成る程大きい。灣と言ふよりは寧ろ内海と言ふ方が適當と思へる。金門の幅は千四百米灣内の面積四百五十平方哩で、これが全部港内になつてゐるのだ。桑港市は其灣内に突出した半島にあるので海岸線の延長は棧橋共約五十哩、尤も棧橋の數も五十餘ある。金門には太平洋海岸唯一の堅固なる防備があるのだが、灣港全體としても要害がよい。入港して第一に見える島がアルカトラス・アイランドで、陸軍監獄・燈臺及び砲臺のある所だが、砲身が山上所々に露出してゐるのは、米國流の開放主義と思へる。左方に見える大きな島がエンゼル島で、移民留置所のある所、我密航移民等が數々苦しめられる所で、聞くからにぞつとする。尙ゴート島には無線電信所がある。これ等の島々に迎へられつつ入港すると、港内には異様な型の連絡船が此處彼處を縫ひ廻つてゐる。多數の商船も碇泊し、米國の巨艦二隻も泰然と碇を下してゐる。本艦が約一哩の沖合に投錨したのは午後三時。在留同胞の代表や領事其の他の邦人が續々來訪する。間もなく

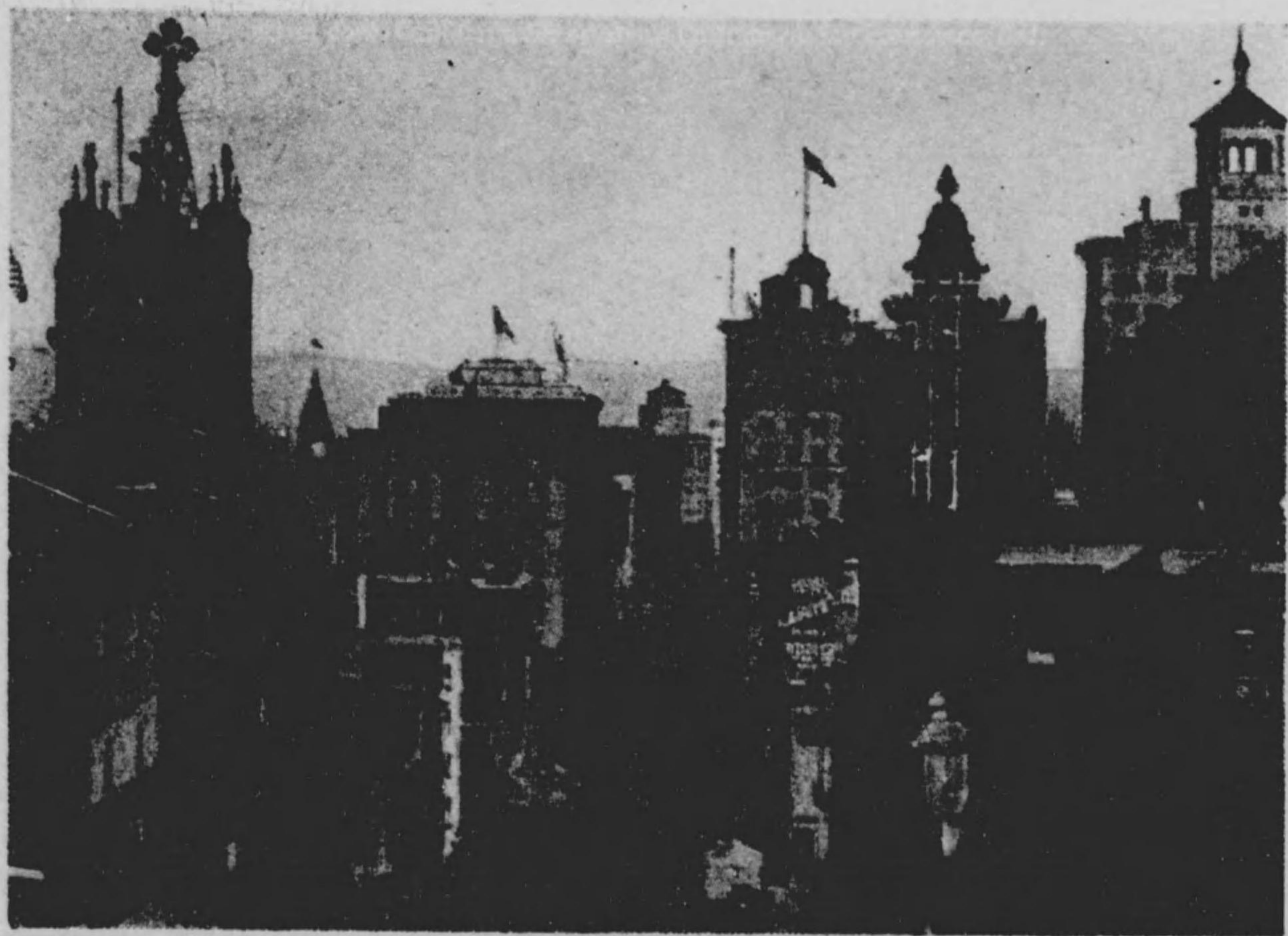
上陸すべく水雷艇で棧橋に向つたが、港内は急に温度が低下して寒さを感じて来た。それに時々濃霧がやつて来るのだが、寒さと濃霧とは桑港の名物ださうだ。それに海水は赤く濁つて汚く、潮の流は急なので汽艇はかなり動揺する。多少潮を浴びつつ棧橋にいたら邦人より成る歓迎委員が多数集合し、一々世話してくれるので安心した。又米國海軍でも接待委員を出して居る。上陸後直ちに自動車で一先づ小川ホテルに落付いたが、邦人經營の旅館としては最も設備がよいもので、主人は誠に親切な人だ。

桑 港 大 觀

桑港は米國西部に於ける三大都市の一人で人口凡そ七十萬、東洋貿易の中心地にして東西交通の要路に當り、且つ物資の一大集散地として、西部に於ける發展の中心をなしてゐる。鐵道は此處を起點として四方に通じ、紐育へは三千二百六十九哩で四日の行程、ロスアンゼルスには約五百哩九時間、ポートルランドには七百七十三哩二日間、シヤトルへは九百七十五哩二日間、シカゴへは二千三百六十一哩で三日間、ニューオールリアンスには二千四百八十一哩



む望を灣港桑りよ街市



街 市 港 桑

で三日間で行ける關係上、西部地方の物資は勿論、東洋濠洲方面よりの輸入品は殆ど此處から中部・東部の各地に送られ、又米國內地の生産物は多く當地を経て輸出されるので、貿易はかなり盛だ。千九百二十五年の輸入一億四千萬弗、輸出一億七千萬弗、全米八十二億弗の四パーセントで第五位を占めてゐる。輸出の主なるものは果物・乾果・野菜の罐詰及機械油等で、輸入の主なるものはコーヒー(二千六百萬弗)・生絲(四千萬弗)だ。これを各國別に見ると英國への輸出は三千七百萬弗で、輸入二百萬弗。支那への輸出は三千三百萬弗で、輸入二千五百萬弗。濠洲への輸出千六百萬弗で輸入は九十萬弗。而して我國への輸出は三千三百萬弗で輸入三千六百萬弗。我國よりの輸入が年々増加するのは喜ばしい。尙我國より輸入せらるる物品は生絲・茶・蟹・陶器・雜貨等で、我國への輸出物は革・機械油・棉花・肥料・農産物・木材・自動車等である。貿易の隆盛と共に海運業が益々盛となりて、船舶の出入は年百四十九萬五千噸、其商品は二十二億弗に及び、海岸には五十一の棧橋が列んで、中央から右が奇數、左が偶數の番號が付せられてあるが、これ等のすべてが常に使用せられて居るのを見ても、其盛なることが窺はれる。兎に角桑港の海岸線は棧橋共延長五十哩といふのだから、船舶の出入は

極めて都合良く出来るわけだ。かかる關係上外國人の通過する者も多く、千九百二十六年には其數三萬七千四百七十六人、これが多大の財を散するので、商業も一層盛大を加へ、經濟力も相當充實して居る。即ち銀行の總資本金は十五億弗で、加州全體の四割三分を占めてゐる有様だ。市街は半島の突端にあつて三方は海（内一方は外海）、總面積は四十六平方哩。大體正方形の町でその一角フェリービルディングが市の大門をなして、ここからマーケット・ストリートの大通が對角線狀を以て市街を三角形に兩分し、直線の街路が左右前後に走つて、其處には細に電車が敷かれてあるのだが、フェリービルディングの前から電車に乗れば、必ず此處に歸つて來るのだ。海岸は大體平坦ではあるが、市街は土地の高低が甚だしく、急勾配の大坂が此處彼處に在るので、中にはケープルカーで通行する所もある。まるで山坂の町、山上の町の感がある。市街の區劃は整然として眞に碁盤の目の様だが、建築物の大小高低の差が甚だしいので、一見雜然不統一の感が生じ、加ふるに硬質で而も方形の形式は、日本人には重苦しい不快の感を與へる町だ。併し市内には多數の我在留民を始め、總領事館、正金・三井・三菱及び其の他の我大會社等もあることで、我國との關係極めて密接に、従つて本市の盛衰は

直ちに我國に大影響を及ぼすの地位に置かれてある。

桑 港 見 物

一、領事館や會社の訪問

桑港のフェリー一號棧橋から上陸すると、其處は大廣場で中央には大時計臺がある。此處が市街電車の起點でここからは何處へでも行けるが、電車に乗つても其儘で居れば、電車は市街を廻つて何度でも此處へ歸つて來る。それがどの電車に乗つても同様此處へ戻つて來るので、各方面からの車臺が間斷なく集散し、何時も電車が列をなして居る。其他貸自動車（黄色に塗つてあるのでヤローと呼んで居る）も次々と疾走して來るので、路を横切るのはまるで命がけだ。尤もアメリカの市街地では徒歩する者は極めて少數で、多くは自動車・電車を利用するのだから、街路の構造も交通整理の方法も乗物本位に考へられてあるわけだ。日本なら徒歩者の雜沓する際には自動車の疾走を遠慮し、或は停車して人々の通過するのを待つのだが、アメリカでは自動車の通過中は電車も人も遠慮し、徒歩者は引續く自動車の列外に

ついて辛うじて横切るのでから哀れだ。日本領事館を訪問するのに徒歩で行きたいと思つたが、此有様を見ては危険を感じてとう／＼ヤローのお世話になつてしまつた。領事館はバタリー街とマーケット街の角のビルディングの二階にあるのだが、自動車が一二分も走つたかと思ふ中にもう着いた。料金は四十五仙、あまり安くはないが二哩位までは四十五仙らしい。若し紳士向の貸自動車なら一弗は取られる。兎に角ビルディングの二階に上つたが領事館は見當らない。薄暗い所をあちらこちらとさがして漸く見當つたものの、片隅の見すばらしい一室なので、何だか肩身が狭かつた。先づ總領事に敬意を表し、序に在留邦人の状況や桑港の經濟狀況を尋ねたり、或は視察上の心得などについての指導を受けて辭した。

次に日本商業會議所を訪問する事にした。これは領事館のすぐ近くのマーケット街五百五十一の、東洋汽船會社の樓上にあるので徒歩で行つたが、自動車の往來が頻繁でかなり歩きにくい。先づ事務長に刺を通じた所が、早速喜び迎へて、事細に邦人の事情などを話して呉れた。此處の會議所の會員は二百人、互に連絡を取つて商業を營んでゐるとの事だが、商業上にも相當發展してゐるのを見て心強く感じた。この會議所には日本商品の陳列場なども設けら

れて種々販路の擴張策なども講じられて居るが、日本品の相場は甚だ高い。定價を見ると内地で一圓の物は一弗から一弗五十仙(二圓三十錢から三圓五十錢位)。また此處には邦人の活動や發展に關する諸調査物・統計表などがたくさんあるので、其印刷物や雑誌を頂戴し、且色々質問を試みなどして得る所が多かつた。

次は三井物産の桑港支店を訪ねる事にしてカリフォルニヤ街まで自動車を走らせた。間もなく壯麗なる大ビルディングの前で下され、エレベーターで三階に上つたら三井コンパニーの札が出てゐるので、三井の専務理事小林正直氏から堤支店長宛の紹介狀の取次を頼んだ所が、早速應接室で會つてくれた。此處は領事館と異つて室も大きく美しく、且諸設備が整つて如何にも大會社らしい氣分がする。従業員の多くは白人で此處にはかなり多數の人員が働いてゐるやうだ。堤氏より貿易狀況やら經濟狀況等を聴取つて、我對米貿易の優勢なるに驚き且つ心強く感じられた。此外我貿易會社として三菱商會社・淺野物産會社等があり、爲替銀行として正金銀行支店・住友銀行支店等もあるのは心強く感ずる。

二、正金銀行で弗の兩替

此處では主として在留民の内地送金の事などを尋ね、序に米貨との兩替をしたが、當時の相場は邦貨百圓が四十六弗三分の二、千圓で四百六十六弗六十六錢受取つた。物價は大體日本で五圓の物品が五弗か六弗だから日本金の百圓は當地で四十五六圓位の價値に下落するわけだ。

三、邦人教育の金門學園

金門學園は日本人會の設立にかかり、邦人子弟の教育をする所でブキヤナ街にあるのだが、此處は山の手で附近には住宅が多く、且日本人町もある。校舎は二階建の木造でかなり大きく、外觀の美と共に設備も整頓され、殊に室内の清潔整頓などはよく行届いてゐる。來り學ぶ者は幼稚園からハイスクール程度の者で約七百人。彼等は白人の學校で學ぶ傍ら、放課後此處で邦語を毎日一時間宛學ぶのだ。若し邦語の教授がなければ家庭生活上、言語不通のために親子間の意志疏通を缺くの不便を來すは勿論だが、邦語を解せぬ日系市民では假令高級な學校を卒



業しても、白人も邦人も使つてくれないので、高等遊民になるの外はないとのことだから、邦人の發展には大切な學校だ。教科目は主として國語で、教科書は我國定教科書を元にして、加州日本語學校が當地に都合よく使用出来る様に部分的改正を施したものを使用してゐる。日本系の米國市民に國語教授を通して、日本民族の純真な精神を培養せんとする語學校教師の任務の極めて重大なることを痛感する。園長は鈴木高志氏で學校の隣が住宅、夫妻で本校の經營に當つてゐられるが、信望の厚い人で、就職十年餘にもなるが、眞に十年一日の如く、我同胞子弟の教育に盡瘁せられた功績は蓋し甚大なものがある筈だ。數回同氏を訪問して、桑港の狀況やら日本人の事情或は米國の教育等について、種々啓發せられたばかりでなく、滞在中止始各所の見學案内等に至るまで、萬事萬端極めて親切な指導を受けたことを深く感謝する。

四、日本人と日本人町

75 桑港震災まではかなり多數の同胞が、デューボンド街を中心として集團的に居住し、各種の設備等もあつて相當繁榮してゐたのだが、震災の打撃と排日の結果、大分ロスアンゼルス方

面に移住したといふことだ。併し今でも大體は上町のポスト街・ゲリー街・サター街の一區域と、舊グラントアベニュー邊からスタクトン邊の一區域と、更にまた汽船の乗客を目的としたるサウスパーク邊の一區域に集つてゐる。此の外に我銀行會社や貿易商又は卸賣商店等は、大抵カネー以東マーケット街以北に散在してゐる。其の内最も多く居る所は上町で、此所には日本人會・佛教會・キリスト教會や各縣人會もあれば、多數の日本商店があつて、多くは日本商品を販賣してゐる。料理店・玉突等の娛樂機關も備はり、又日本語學校や日本書籍店の如き修養機關もあるので、内地の生活を欲求する者でも、大體はそれを満たすことが出来る。下町の日本人町も大體上町と同様、日本美術品・日本雜貨等を販賣する商店が主で、料理店等も少くはない。支那人町に接してゐる所から、何れも東洋品が多いので、時には日支商店の區別がつかぬ事もあるが、支那商店の方が一般に大きく、それに商賣上では何となく支那人に押されてゐるの嫌ひあるは惜しい。現在の市内在住邦人數は約八千人で、商人は約五百人、其他は多く白人の家庭に雇はれて勞役に服する者、又は白人住宅に野菜・食料品等を取次する者（用きき）、或は一般勞働に従事する者等で、大體に於ては生活程度も高くないが

中には成功した豪商も少くない。現に日本人の商業會議員たる者二百人で、其多くは一萬弗から十五萬弗位の資産の所有者だが、中には百萬弗の資本で店員四十人を有する大商店もあれば、五十萬弗の資本家もある。其他十萬弗以上の資本家が二十戸もある所から見ても、相當經濟的にも發展してゐる事が窺はれる。而してこれ等の人々は多く内地品を直輸入して賣捌いてゐるのだから、我對外貿易の上にも大に影響があるわけだ。その上正金・住友の兩銀行、三井物産・三菱商事・淺野物産の三大會社が大々的に貿易を營んでゐるので、當地の我在留民だけでも國家經濟上偉大なる働をなしてゐることは言ふまでもない。異郷に來ては同胞の姿を見ることがすら非常な喜びであり、且つ眞に蘇生の思ひがするのに、親しく邦人の店を訪ねて、其過去の苦心奮闘を聞き、今日の發展狀況に直面した時、誰でも感激の涙を催さぬわけには參らぬ。

五、金門公園（ゴールデンゲート・パーク）

桑港市は建物の高低と地面の凹凸やらで何となく雑然たる感じがあると同時に、器械的で人工的に出来てゐて、殺風景な固苦しい嫌な氣のする町だが、所々小公園のあるのは結構だ。特に金門公園はかなり廣大なもので、市の西海岸から間口約七哩長さ約三哩餘の面積を擁し、園内には池もあれば沼もあり、森林も山も谷もあるので、全く自然の趣を現はして人工的で固苦しい市街との対照が極めて面白い。水禽の棲息も小鳥の御宿も自然其儘で、谷間續きの沼の邊りに貂が藪から顔を出したり、森の中では栗鼠が戯れてゐるなど誠に趣に富んでゐる。花壇も温室も心地良く出来て居て、其傍に純日本風の茶亭のあるのは懐しい。一方には大運動場もプールもあるが、特に有名なのは博物館だ。陳列せる参考品中湊川神社にあつた青銅の燈籠と、我皇室からグラント大統領に贈られた鞍及びリンカーンに贈られた筆筒は特に我等日本人を引付ける。公園の西端は外洋で、海岸では水泳も出来れば別に大プールもあるが、日本人にはプールの使用は許さない。我邦語學校教師の談だが、曾て邦語學校兒童を引率して此プールに來た所が、守衛の拒絶にあつてとうとう水泳が出来なかつたと憤慨してゐた。而も其兒童は日系の米國市民であるのに、人種的の偏見からかくも差別待遇されると聞いては、實

に不快に堪へない。こんな事にまで排日の及んでゐては、同胞の日常生活が思ひやられる。

六、市役所・公會堂・其他

市役所はバンネス街とラーキン街、マキレスター街とシテイーホールアベニューの間にある宏々な建物で、圓錐形の高塔が高く聳えて遠方からもよく見える。傍の公會堂は數萬の人を容れ得る大設備があつて、内部の構造も美しく出来てゐる。稍々離れて大圖書館もある。

七、沿岸方面の見物場所

第一フェリービルディングの樓上にある加州發展協會には、加州生産物の殆んどすべてが列べられてゐるので、これは是非見ておかねばならぬ所だ。尙近くには鑛物陳列場と、加州の大模型がある。海岸を北に進み更に西南に曲れば、メーソン砲臺と美術館があり、フェリーから南の方のユニオン鐵工場には大造船場があるが、何れも規模の大きいのに驚かされ、つくづくアメリカは物質文化の發達した國だと感心した。

八、市内の視察

街路を埋める自動車

市の氣分を味ふべくあちらこちらをぶらつくこととして、先づマーケットストリートから始めたが、何分にも自動車が多いので思ふ様には歩けない。十字街で交通巡査が整理してゐるのは東京と同じだが、民衆の行動が極めて靜肅で秩序的なものと、一回の通過に自動車が四五十臺づつも續くので、徒歩者が命がけで向側に越すあたりは流石米國だ。そして約一町も行くと又十字街だから、前と同じ様に待たされるので、十町も行くにはかなりの時間を要する。そこでとうとう閉口して裏通りに這入つたが此所は主に大商店や會社のある所らしい。此會社地帯では何處まで行つても自動車の空車が間隙なく列んでゐるので、此處も横切れない。此空車は會社商店等の通勤者が乗捨たものだが、夕方には夫々主と共に住家に歸るのだ。かく何處へ行つても車の多いのには驚いた。今全世界の自動車二千七百五十萬臺中米國が二千二百萬臺だから、全體の八割は米國にあるわけだ。これを人口に割ると五人に一臺の割で、桑港は三人半に一臺の割合だ(日本は僅か五萬臺)から、全

市自動車で埋つてゐる様に見えるのも無理はない。それで日本の通路が歩くべく出来てゐるのに反し、米國では凡て自動車本位に出来てゐる事も首肯される。

神経が麻痺する街路の構造

大通の中央が電車、其兩側が車道で全部コンクリート又はアスファルト、兩外側が人道で多くは敷石だが、其道幅が割合に狭いのは徒歩者が少いためらしい。道路の構造が硬質で建築物も硬質、而も一本の街路樹さへもなく、草木も土壌も全く見られないのだから、嫌な刺戟と重苦しい壓迫を感じて、徒歩などでは特段に疲労を感じる町だ。これでは人間が機械的となり、物質的となるのも當然だ。愈々歩くことには閉口したのでしばらく休息すべく、食堂をさがした所が、幸ひ近所に大きなレストランがあつたので、其處へ這入つたが設備の良いのには驚いた。

高い食堂と安い食堂

食堂の大廣間には安樂椅子も圓テーブルもあつて、自由に休息が出来、一方には化粧室も理髮所もある。まるで大ホテルの食堂其儘だ。食堂には圓テーブルがたくさん置かれてある様子は日本と大差はない。ボーイはすべて男子。日本式に五六品注文した所が分量が多いので閉口した。ピフテキなども日本の三倍位もあるのだから、六品

は食べきれない。勘定は三弗二十五仙(我七圓餘)、紳士向のレストランはかなり高價だ。ホテルの食堂なども相當高價だが、アメリカは一般に食料品が安い方で、ランチやカヒテリアやではかなり安いがある。労働者や下級生活者の出入する所では、一食二十五仙から三十仙でも済まされる。

人手を省くカヒテリア

又食堂によつて(カヒテリア)勝手に品物を選び取つて食べられる所もある。ボーイから盆とナイフ・フォークを受取り、客が一行になつて食料品の陳列場を廻りながら、自分の好む物を取つては盆に載せ、選び集めて出口で計算し代金を支拂つてから食卓につくのだが、これならば四五品で三四圓位のところだ。これは人手を省く方法で、双方の便宜だ。これに較べると日本などが餘りに形式張つたり、體裁振つたりして餘計な經費をかけるのは馬鹿らしく思はれる。當地の果物の安いのと味のよいのとは嬉しい。内地で五六圓のメロンが十仙(二十錢)か十五仙、だから食事の際は毎日其ど厄介になれるわけだ。併しこれをレストランで求めると、切る手間が加はるので、四ツ切り一つが二十五仙。勞力の高いのにも驚く。

物價の高いアメリカ

物價の高いのは勞力の關係らしい。卸屋から五圓で仕入れたものは、小賣では普通十圓賣ときまつてゐるのだが、其の五圓の大部分は勞力の代償らしい。これ等も極端なる物質主義の現はれかも知れぬ。序に物價を調べてみたが、大體は日本の二倍位の様だ。内地で四五圓の中折帽を求めたら五弗、ハンカチが二十五仙、日本物等は一層高い。白人婦人のよく用ひる縮緬羽織などは、日本で三十七八圓位のもので、此處では四十五弗、日本酒一升が十五圓、日本マツチの小箱が五仙、日本旅館が食事付一泊七弗、白人ホテルが普通三弗から五弗。この方は夕食と朝食の費用が相當にかかるので、中等旅行をするには一日汽車賃の外に四十圓位はみて置かねばならないが、三等旅行なら汽車賃の外、一日平均二三十圓もあれば足りるらしい。

晝は奮闘夜は享樂

日中火を吐く様な奮闘の場面は一轉して、夜は享樂の世界に化するのだが、夕方からは白人の商店は閉ぢられるので、市中の氣分はいくらか落付いて来る。夜まで店を開いてゐるのは食料品店・薬店ばかりだが、日本人・支那人・ユダヤ人だけは夜も商賣をしてゐるので、白人に嫌はれる。白人の方は日中は緊張した活動をしてゐるが、時間が來

れば總べてを中止し服を着かへてさつさと歸るのだ。併し直接歸宅する者よりもレストランや、活動寫眞館に行く者が多い様だ。夕方十字街に立つてゐると、あちらこちらをぶらぶらりと散歩してゐる者が非常に多く、而も婦人等の厚化粧に美服を纏つて、花を追ふ胡蝶に似たる光景は日中の奮闘の世界とは全く別天地だ。しかし夜の世界には子供は全く見えな。活動寫眞館などもかなり盛つてはゐるが、晝でも子供は殆んど入つて居ないのは、親が自己の享樂にのみ専らにして、子供の事などを顧みない爲らしい。斯る所にまで白人の個人主義・利己主義が現はれ、夜の享樂は全く大人の世界だ。そこで夜の米國には享樂機關が完備し活動館・酒場・賭博場・ダンスホール、或は其の他の享樂機關なども到る處にあるらしいが、これ等は追々と視察することにして、宿に歸りかけると七月の上旬でも震へ上る程に寒い。一體加州は一年中暖で草花は四時絶えない程だから、夏は相當に暑い地方だが、桑港灣と桑港市だけは夏でも特に涼しいのは、海流と氣流の關係らしい。それに日中時々濃霧が襲ふので、それが時には小雨の様に感ずることもある。此の夜なども霧が一面にとち籠つて、冬着の上に外套を用ひて漸く我慢が出来た位だ。

加州師範大學の個人教育

建築のよくない校舎

此處には有名な加州師範大學があるので、金門學園長鈴木氏の案内で、奈良女高師の訓導塚本氏と、東京女高師訓導澁谷氏と共に參觀に行つたが、幸ひ夏季大學が開かれてあつたので、大學と小學校の授業を見る事が出来た。夏季大學の學生は主に現職の小學校教師で、其九分九厘までは婦人だ。勿論師範大學の在學生も九分通りは女學生だ。刺を通ずると附屬の主事(女教師)が出て来て親切に案内してくれたが、第一に目を引いたのは女學生即教師の服装の華美なことだ。これがアメリカの小學校教師かと思ふと、教育者としての生活態度が疑はれる。校舎を一巡したが建築法としては何等の参考資料もなく、衛生上からは日本の學校建築法が遙か進歩してゐると思はれる。内部設備としても東京の最近出来る小學校などには比較にならぬ程劣つて居る。只裁縫室と洗濯室とが別々で、前者の方にはミシンを兒童數だけ備付けて、各人自由に衣服が縫へる様になつてゐると、後者の方には洗濯器械と電気アイロンを澤山備付けて、簡単に而も僅かの時間で洗濯が出来る様

になつてゐるのは羨しい。運動場は狭くて用具などは殆んど備付けてないので、児童はボール投げ位の運動をするに過ぎない。尤もアメリカの小學校には大抵體操科はないのだから、それでもよい様なものの、見方によれば却て大きな自由運動場が必要とも考へられる。但本校には相當完備した大プールがある。幼稚園から上級までの手工・圖畫等の成績品を見たが、特に感心すべき程のものはない。圖畫などは却て日本の児童の方がよいやうにも思はれる。只幼稚園の手工・圖畫の作品の大きいのには賛成した。ボール紙一枚又は數枚位の紙に、共同製作で大きく而も児童の生活を現はしたり、或は各種の柱や楨等を與へて、児童の家を組立てたりさせる所は面白い試みだ。

人員の少い學級編制

二三の普通教室を見たが、机も腰掛も固定式一人用のもので、一室の児童數二十五人、室は間口約九米、奥行約七米で黒板は前後にある。教師は前面黒板の下に角テーブルと椅子のある所に陣取り、児童席は一行五人、五列又は六列に稍長方形をなしてゐる。

寺小屋式の個人教育

教室に教壇はないが、児童前方の一隅に教師用の椅子・テーブル

があり、教師は正面のテーブルに坐して、児童を一人宛相手に指導してゐる様は、まるで我徳川時代の寺小屋式だ。児童側を見ると、算術もやれば英語をやつてゐる者もある。つまり教科も進度も個別的で、彼等は各々個別に進度表を持つてゐて、學習の結果を一々試験して貰ふのだ。其結果教師の承認を経て次の課程に進む様になつてゐるので、意味なく先へ先へと進む様な事はない。一教程の終るまでは繰返して學習し、學習の結果は一人宛教師の前へ出て發表するのだが、地歴などのかなりまでつき込んだ質問で試される所などは、まるで我文檢や高文試験の口頭試問の様だ。斯様な過程でゆくために一學級内には各科毎に二年程度のももあれば、五年程度の者もあり、又同一児童で算術は五年で英語が四年の者もある。若し或る科で六年の課程が終れば、他教科中未修了の分を學習し、全科が終れば卒業させるので、卒業期は個別的で而も卒業證書は與へない。此方案にも或長所はあるが、これではあまりに偏知的且記憶萬能で、如何にも器械的學習だ。これでは單に問題の解決さへ出来れば良い事になるので、學習過程は問題でなく結果さへ得れば良いわけだ。ここにアメリカ式の科學萬能偏知的教育・結果主義の教育が遺憾なく發揮されてゐる。併し本校の長所と認むべ

きは個人調査が科學的に行はれて、學習指導(教材と方法)が全く個別的な所にある。

よく努力するアメリカ教師

従つて教師の方はかなり骨が折れる。毎日の指導時間は六時間で、其間教室内では終始兒童の學習相手となつてゐるので、食事の前後一時間休む外には殆んど休憩がない。兒童の問題解決の結果を見てやつたり、一人宛其學習の結果を口頭で發表させたり、或は宿題を見てやつたりするので、全く暇がない様だ。その外指導時間外には宿題を個別的にタイプライターで刷つてやるのだから、かなり忙しい。成る程努力を惜しむ教師に自學主義や個別補導主義の教育法が不可能なことがわかる。我一部の教育者が教師の手を省くために口にする、自由畫・自由選題とは大に其趣を異にしてゐる。

個人教育法は教生の練習

個人教育法は誠に結構であるが、學級人員の關係及其他の都合で極めて困難であり、且極端なる自學主義は相當の弊害があると信するので、之に對する教育上の意見を求めた所が、主事は次の様な説明をした。

「極端なる自學主義の弊も認めてゐる。又普通の小學校で個人教育の不可能な事も、個人教育に伴ふ弊害も認めてゐるので、小學校でかかる方案を實際に試る考はない。但教育は個人の

發展を重んじ、個人の素質によりて成長の手段を異にするのだから、教育の方法に於ても個人的でなければならぬといふ強い考を教生に持たせるためにやつてゐるので、決してこれを普通の學校に適用する考はない。教生時代にかかる練習を経て置けば、團體教育中にも特に個人扱を重んずる様になるであらうとの豫想の下にやるわけで、つまり教生指導のためだ」と言つて居た。兎に角本校はあまりに個人性の發揮を重んじ過ぎ、加ふるに偏知主義的で個人學習の方法が却て器械的だと思はれた。

器械的の偏知教育

算術は殆んど計算一點張りで、讀方は讀むこと・書くこと、地歴等は本の上で事實を器械的に記憶するのみで、殆んど考察も味ふ事もない様だが、これでは知識の成長すら出来ないのではないかと疑はれた。況んや眞に人間としての發展などは思ひもよらぬことではあるまいか。尙自由教育に就ての意見を尋ねたら、米國には誰でも自由に教育を受け得る意味に於て、自由教育(フリー・エジュケーション)といふ言葉はあるが、日本で言ふ所の自由教育はないとの答であつた。

スタンホード大學の參觀

夏は枯草冬は綠草　スタンホード大學は桑港から南東約五十餘哩を離れたメーフィールドにある。桑港から汽車なら約二時間だが、途中の様子も見たいので自動車で行つたら約二時間半かかった。一行は視察團五名の外澤柳博士・東京府立第五中學校長伊藤氏・福山師範學校長片山氏及金門學園長鈴木氏都合九名で繰り出した。山坂の市街を上り下りして郊外に出ると、住宅地帯の廣々した所に住宅が列んでゐる。何れも木造平家で品よく出来ては居るが、粗造バラック式で如何にも簡單だ。米國式の開放的で門もなければ垣根もなく、一見して簡易生活が窺はれる。車の走るにつれてぼつりぼつりと小山に迎へられるが、山と言はず野原と言はず一木一草のないまるで枯野の原で、日本の冬枯其儘の眺めは異様に感じられる。此處は四月から九月末までは乾季で全く降雨がないので、夏は綠草がなくなる代りに、十月から三月頃までは雨季で、冬は却て綠草全土を覆うて所謂青春の氣分に満つるといふことだ。

沿道の所々には牧場等もあつて牛の香氣さうに寝てゐるのも面白い。此附近の壤土層は二三尺でそれからすぐ岩石層だが、土色は灰褐色で一見瘦せてゐる様に見えるも肥料なしに作物の出来る事は羨ましい。七八哩も走つた頃は大分氣候も暑くなつて冬着では堪へられない。夏は桑港を中心に七八哩までの所は寒いが、其圏外に出ると八十度以上あるのだ。道路の兩側にはガムトリー(ゴムの木と言つてゐる)の並木が高く茂り時々涼風を送つてくれるので心地が良い。それに道は平坦鏡の如く、而も一直線に走るので車中眠を催すには閉口した。約二時間半ばかりで大學の門前に着いたが、門から玄關までは數町の距離を有し、兩側は人工的の密林があるのでまるで大庭園に入る氣分がする。正面のアーチ形の大門を入ると、突當りが教會堂で之を中心に幾多の壯大なる建物があちらこちらにあるのだ。多くは二階建だが中には平屋もある。何れも石造建の赤瓦で、いかめしくはあるが學府としての柔か味がなしいのは惜しい。併し一面の芝生はせめても全體の軟化・自然化を助けてゐる。

日本學生俱樂部　此處には日本留學生の俱樂部があつて、二十七人自炊生活をしてゐるとのことだから訪ねた所が、夏休のために二三人だけで、他はそれ／＼働きに出てゐて逢

はれなかつた。

働きながら學問の出来る米國大學

學生でも働けば週三十弗位の収入があるので、夏休中に三四百弗位にはなる。月謝は年二百弗、學費は普通八百弗位で事足りるので、我留學生中にはスクールボーイ（或家庭に雇はれて朝夕仕事をして勞銀を得る者）や其他の勞働によつて自ら學費を得て修學する者も少くないとのことだ。日本俱樂部で自炊してゐる者は月平均百五十圓なら充分だとのことだが、日本學生は白人學生俱樂部に加入出来ないと聞いては如何にも残念だ。かかる所にまで排日の感情が現はれてゐるのだが、此處に一橋博士が教授としてゐられることは心強く感じられるので、一行は同氏の居室を訪問して敬意を表し、それから構内を巡視した。

贅澤な女學生

當時夏季大學が開かれてあつたので多數の學生が出席してゐたが、女學生の服裝の華かなことは特に目立つてゐる。一般に米國婦人は贅澤だが、此處の女學生等は絹糸の長い靴下（股までのもの）と絹布の服とは一律一體で、大概の者は寶石入りの指環を飾めて居る。普通女學生が年八百弗位の被服費を投ずると聞いては呆れるの外はない。構内に

上品な建物のレストラントがあるので、一行は晝食に立寄つた。全く紳士向の上等料理店だが、客は何れも大學の學生だ。

有名な圖書館

本大學には有名な圖書館がある。建築の壯大と内部設備のよいのには感心した。歐洲大戰の記念圖書館には參戰國のあらゆる參考書類が集められてあつたが、我國の關係書類もかなり多かつた。讀書室をのぞいたら、幾百の人々が熱心に書見してゐたが、室内肅として微音だに聞えぬ所は流石に公衆道徳が發達してゐると思つた。若し用事があつて止むなく室内を歩く時でも、全く音を立てぬ様に注意してゐるには感心した。

本校の規模頗る宏大

學生数は現在七千人と稱してゐるが、毎年の入學者は三百人位で希望者は三千人もあるとのことだ。選抜方法としては、ハイスクールの校長が卒業八十五點以上の者を推薦し、大學ではこれにテストを用ひて入學を決定するのだ。つまりハイスクールの校長が學力を決定し、大學では成長能力（伸びる力）を試験して採否を決するわけだ。米國でも大學になると入學難が起るわけだが、本大學などは有數の學校だから特に入學が困難らしい。兎に角本大學は一萬エーカー（千二百萬坪）の宏大なる地面を有し、建築費其他

で七千萬圓を投じたのださうだが、これが一人のスタンホードが全財産の提供によつて、創立されたと聞いては米人の美しい社會心が羨ましい。我富豪中にもかかる散財をする者が多數出てくれればよいと思つた。此所の陸上競技場もかなり大きい。平地に盛土して摺鉢形に出来てゐるのだが、トラックの直線コースが二百米で、スタンドの收容人員約六萬、其他ゴルフ場・テニス・ベースボール等の運動場も設けられて居る。兎に角本大學の規模は頗る宏大なものだ。

加州大學の參觀

當大學は六十餘年前の創立にかかり、アメリカでも屈指の大學であつて學生數實に一萬二千、特に農學を以て聞えてゐる。桑港の對岸バークレー市にあるのだが、連絡船と電車を利用すれば桑港の海岸からは約五十分の距離だ。灣内には諸所に通ずる連絡船が盛に往來してゐるが、オークランド行に乗るのが最も便宜だ。料金は十五仙、船は相當大きく且綺麗で、二階と下

とでは數百人は乗れる。殊に面白いのは自動車のまま乗れることだ。對岸迄は約七哩、十五分程で棧橋につくとその儘自動車で走れるのだ。棧橋は海中に約三哩も突出してゐるのだが、電車が來てゐるので下船すると其場で電車に乗れる。此處からバークレー迄は尙十哩もあるが電車では約三十分。正門近くで下りると中央に高さ二百呎の四角塔が高く聳えて居るのに目がつく。正門から塔迄は一直線の大路で、それが塔の所から左右に別れ此の塔を中心として左右に多數の校舎が建てられてゐるのだ。建物は赤煉瓦の二階建ではあるが何處となく落付があり、加ふるに丘あり谷あるなど地形は極めて變化に富み、森や林の間から夫々の建物が隠見して自然と落付いた氣分を持つてゐるので、如何にも學府として相應しい感じがする。

95
此所には吉岡博士が教授として居られるので研究室を訪問した所が喜んで迎へてくれた。前以て金門學園長の鈴木氏から依頼してくれたので、博士から其研究の發表や實驗などについての講義を聴き、且つ實驗室の見學などをしたが、權威ある本大學に同胞が教鞭を執られることには言ひ知れぬ痛快を感じた。博士の専門は實踐心理學の研究だが、主として能力の個人差の問題を鼠について實驗し、或は記憶の優否、判斷の遲速、或は質の遺傳等に關する

問題の解決に盡してゐられる。之が教育上の適用としては能力別學級編制、不經濟なる原級留置の廢止、個人別教育等に關し論文を發表せられてある。尙博士の説明によると、當大學には軍事に熱心なる教授が居られるが、氏は歐洲大戰の際に志願を以て従軍し、大負傷をして歸つてから毒瓦斯の研究に熱中し、且つ學生の軍事訓練に大に努力したる結果、今では軍事教育についても有名な大學になつてゐるとの事だ。又能力試験法は米國の軍事に利用せられて非常に能率を擧げてゐるとの事だ。例へば現今の如く器械本位の戦争に於ては、人間は機械を動かす道具化されるのだから、將校さへ養成して置けば莫大なる國費を投じて常備軍などは置く必要がない。只戦時に多數の壯丁を集めた際に、人間の能力によつて器械に配屬方を適當にすればよい事になるのだから、ここに器械と人間との組合せ、即ち人間を兵科別に能力試験を利用すれば、各方面から見ても非常な能力經濟だと云ふ事だ。

尙博士は米國の軍事教育の盛なこと、一般に軍事に熱心なること等を説いて、我日本が誤られた平和論や策略的軍備撤廢論等に惑はさるることなく、國防に關しては遺漏のない様にと日本國民の自覺を望んでゐられた。

リチモンドの日本花屋

元大阪の訓導で、今リチモンドの花屋をしてゐる前田氏が自動車で迎へに来てくれたので、リチモンドの邦人の狀況視察に出かけた。リチモンドは桑港の北方對岸にあるので、灣内の連絡船でも行けるが時間の都合上、桑港からオークランドの棧橋に上陸してここから自動車で一時間半ばかりかかった。途中有名なスタンダード石油會社があるが、石油が大鐵管で海岸に送られ船で各地に運ばれるなど其規模の大きな事には感心した。リチモンドには邦人の花屋が三十五人居るのだが何れも成功してゐる。花は殆んどバラばかりで温室咲の切花だ。重に桑港で賣捌かれるのだが、一本十仙から二十仙位、温室の廣さは一エーカーより三エーカー位で一戸の年収入一萬ドル位になるとの事だから、純益は其六割と見ても平均六千弗位にはなるわけだ。日本人にとつては誠に有利な仕事で、而も益々需要の増加を示してゐるから一層有望な事業だが、排日氣分が濃厚で、土地を買ふ事は勿論借りる事すら不可能な爲に現在以上の發展は困難らしい。只勞力と肥料との増加によつて生産能率を高める外はない。

それにしてもかかる狭小の地面を利用し、而も排日の間に立ちて、現在の地盤を築き上げた我國人の奮闘力の偉大さを知った時には、言ひ知れぬ満足を感じた。

コントラコスター地方の邦人農業

在留同胞の歓迎會

加州北部の在留邦人は約六萬人で、その多くは農業に従事してゐるのだが、サクラメント地方は主として米作、其他は主に蔬菜園や果樹園に働いて居るのだ。これ等の人々が相聯合して練習艦隊の歓迎會を催したので、乗込員の方は各地方に分れて行くことになったが、僕は果樹園の視察を豫定して居つた關係上コントラコスター郡の方へ行くとにした。電車でパークレー迄行くと接待員が數十臺の自動車を出迎へてくれたので、此處から自動車で走つた。桑港から目的地迄は約六十哩。途中各所の見物のために迂廻したので、實際は百哩以上も走つたが四十五哩位の速力だから割合に早い。それに米國の道路は何處でもアスファルトで平坦に出来て居るので、全く動搖がなくて誠に心持よく走れるが、

時には七十哩位の速力で疾走するので、まるで宙を飛ぶ様な気がする。途中クラケットに立寄つて對岸に通ずる鐵橋を見たが、橋の高さ四百八十呎、長さ四百二十呎、巾七十呎。海峽に架けてあるのだから一寸目新しい感じがする。それからマンテンジ、コンコード等の町を通過すると、此附近一帯は果樹園で之が栽培に従事して居る者は多く日本人だから嬉しい。歓迎會場のアラモに着くと、同胞の老若男女數百名が御馳走を山と積んで待ちわびて居た。會場は大體園遊會式で洋食の外に赤飯もあれば團子もある。或はするめ・にしめ・すし等全く日本式の御馳走に満たされた有様は、まるで内地其儘で久し振りに蘇生の感がした。而もそれが前日來徹夜しての手料理だと聞いて何れも在留同胞の心盡に感謝した。在留民も限りなく喜び、知るも知らざるもまるで兄弟同様の感に打たれ、特に排日の中に立ちつつ特殊部落の扱を受け來つた我が在留民諸君が、祖國艦隊の訪問によつて力強い背景を感じ、始めて明るい気分となつた様を見ては感涙を催す程嬉しい。お蔭で練習艦隊遠航の必要と其使命の重大なることも痛感させられた。一同驪を盡すこと茲に三時間餘、互に名残を惜みつつ此處を引上げることになつたが、僕は當地日本人會長から講演の依頼を受けたので居残つた。會

場は此處から約二十哩も離れたコンコード市郊外の日本人小學校。これは最近在留民團が三千ドルを投じて新設したので、漸く民族的の教育が出来るといつて喜んで居た。校舎は邦人部落の果樹園中に建てられた木造平家で兒童數約七十人教師二人。邦人子弟が白人學校での教育を受けつつ、其傍此處で日本語を學ぶのだ。

果樹園に於ける同胞の成功

此附近の邦人戸數約八十、家屋は大體バラック式で洋風の木造平家、それが畑中にポツリポツリあるのだ。そして夫婦共何れも農園に働いて居るのだが、中には地主として小作させる者、又は土地を所有して(白人名義で)自作して居る者も少くない。日本人會長の井手氏などは十五エーカー以上の土地を所有し、毎日邦人と白人を四十人宛も使用して居る程盛な經營振りを見せて居る。又江守氏の如きは二十エーカーの土地を所持し、毎年内地に一萬ドル宛の送金をして居るといふことだから、此附近の邦人も相當發展して居ることが想像される。併し普通は小作で一戸三エーカーから八エーカー位の借地をして、一エーカー五十弗から八十弗を拂はねばならぬのだから樂ではない。講演會は午後七時からなので、大分時間もあるから井手氏の御世話になつて邦人の果樹園を見たり、或

は邦人生活の狀況などを聞いて其偉大なる發展に驚いたが、今日の地盤を築き上げる迄の苦心と其の慘憺たる過去の歴史を聞いては、海外發展の第一線に立てる在留同胞諸君に對して眞に感謝し感激せざるを得なかつた。況んや現在に於ても尙其志を得ずして、獨り故國の空を眺めては人知れず無限の感に打たれて居る同胞も少くないと聞いては、眞に同情に堪へない。

コンコードに於ける講演

そろそろ約束の時間になるので、井手氏に送られて學校へ行つて見ると、既に百人餘りの同胞と他に少年男女が約三十人程集つて居た。そこで在留同胞の自尊心を強めたいと思つて大要次の様なことを話した。

我國の人口増殖は年々約八九十萬人、加ふるに歐洲大戰と大震災の影響から不景氣續きで働かんとしても仕事がなく、ために經濟は益々逼迫し人心は惡化し、甚しきは自暴自棄の結果或は遊惰となり、或は享樂に耽るなど國家の前途を憶へば誠に憂へざるを得ない状態にあるを悲しむのである。所で此現状から當然起るべきは人口問題と食料問題の解決であつて、これが國力充實上又民族發展上の根本問題たることは何人も異論のない所である。然し之が解決策としては産業上の組織と方法の改善によつて生産力の増進を計ることも、或は生活の改善

によつて能率増進と消費節約を計ることも無論大切ではあるが、他面海外移住といふことが極めて必要な事である。併しながらこの海外移住といふことは種々の事情上個人としては誠に容易の業ではない。之を押切つて渡航した諸君は個人としては實に勇敢にして且つ進取的な偉大なる力の所有者で、之を民族の上から眺むれば既に海外で働くことそれ自體が、大なる奉公であり、且つ一人の渡航者によつて將來幾百人の子孫が海外に繁榮する事を思ふと、諸君が國家に貢献することの極めて甚大なるものがあると信ずる。況んや多年排日の中に立つて隱忍奮闘以て今日の經濟的地歩を築き上げた其辛苦艱難は、内地の同胞として實に感謝感激の外はない。實に戦場の勇士の捧げし血と肉と、諸君の捧げし肉と汗の尊さに於て全く區別はない。此の尊き生命と意義深き生活を自覺して一段の自重自愛を希ふ次第である。尙諸君は第二世に對して物質の相續よりも精神の相續を忘れてはならぬ。諸君の偉大なる奮闘性及び諸君の眞生命即ち終始母國の爲親兄弟の爲に奉仕せる犠牲的精神、これは我が民族精神の心髓たる孝道であつて我國民道徳は忠孝を中心に縦の關係をなしてゐるのである。此の日本人特有の精神を第二世に繼承せしむるのは諸君の一大責任であるのだ。最後にお願ひしたき

は諸君は國家の爲子孫の爲異邦に骨を埋むる決心を持たれたいこと。だ出稼主義では諸君の重大責任は到底果すことは出来ない。願はくは自重自愛せられよ。

次は少年少女に對しての希望だが、第二世は日米兩國の言語習慣に通じ、偉大なる力と尊き生命を有する兩親を戴く事の幸福なる理由を説き、東西文化の融合を計るべき大使命を有する大和民族としての一大理想を鼓吹し、その爲には兩親の職業を繼承すると共に、その偉大なる精神の相續に遺憾なからしめ、且つ日本民族の誇りと自尊心を以て白人と伍し、第一世以上の活躍發展を成し遂ぐるの決心と覺悟とを促して前途に光明を與へたが、第二世も多少自分の立場がわかつて大満足の様子であつた。

話の済んだのは午後十時半、既に二時間半も語り續けたのだが、閉會しても誰も歸らうともしない、一同は始めて自ら慰め得たので非常に満足したらしい。中には嬉し泣をしてゐる者もある。とうとう僕の周圍に集つて座談が始まつた。そこで互に遺憾なく語り合つたが、事情を聞けば聞く程涙ぐましい奮闘の歴史で誠に悲壯の感に打たれた。排日の本場だけあつて邦人の苦痛は容易ではない。土地所有權がなくなつたので、折角血と汗の代償として得たる

土地は白人名義に直し、若しそれが事實白人の手に渡つたが最後再び其の土地を手に入れることも不可能になるのだから、常に不安の状態に置かれるわけだ。

同胞悲憤の涙

借地も一度返還すれば最早借しては貰へない。農夫となつて勞銀を得た所で生活上の餘裕もなし、資本の必要に迫られても、白人銀行では決して貸出しをしない（日本人銀行からも借りられない）。然るに一方故郷の親兄弟は毎月の送金を首を延べて待つてゐるので之を考へると斷腸の思があるらしい。こんな痛々しい話を聞かされては眞に同情せざるを得なかつた。特に十年二十年、中には一生を通じて親兄弟の爲に送金すべく、この苦痛に甘んじて働いてゐる日本精神の美しさに接しては感激せざるを得なかつた。最早時刻は十二時、中には十數哩の距離を遠しとせずして集つた人々もあるのだが、尙も座談が繼續せられていつ果つべしとも見えない。これでは際限がないので漸く散會する事にしたが、僕は五六哩隔てた一農夫加藤氏の宅に厄介になることにした。同氏の宅はささやかなバラック式の洋館で應接室と寢室と食堂兼臺所の三間、此の附近の農夫としては稍上等の方だ。他にも附近の果樹園の中に小さな家屋がボツリボツリあつたが、一般に粗末な小さな家ばかりだ。自動車

こそは大抵持つてゐるが、生活は何れも簡素で、而も働いて得た金の多くは内地送金になるのだ。従つて我同胞は投資が出来ないので、苦心して働いた割合に經濟發展の出来てゐないのも無理ならぬわけだ。白人間には活動・芝居・俱樂部・運動・ダンス其他社交機關や娛樂機關が備つてゐるが、邦人には何の娛樂機關もなく只働くばかりで、飲酒と賭博位がせめてもの娛樂らしい。そこで日夜故郷を思ひ出しては歸國を急いで居る者も少くないとのことだ。其爲に毎月頼母子講に掛金してやがて一時に金の手に入るのを楽しんで居るのだが、これを反面から見ると送金と頼母子講で苦勞すべく在留して居る様なものだと言つて居る。其他排日に關する悲惨な狀況やら在外生活の苦痛などを聞かされて居る中に、午前三時になつてしまつたが、當地に於ては在留同胞の實狀を知つた外、其尊き犠牲や奮闘の生活に接して感謝に満たされ、しみじみ國民的精神生活を營むことの出来た事を同胞各位に感謝する。

桑港教育者との懇談會

金門學園長鈴木氏の主唱で我等一行の爲に教育者の懇談會が開かれた。集る者數十名。桑港附近の日本語學校長や金門學園の先生方と水入らずの會合で、而も日本人料亭で牛鍋をつつきながら互に聞きつ語りつ驩談數刻、或は日本教育を論じ、又は米國教育を批評し、或は日米の社會生活の現状又は社會相の裏面を論議するなど、互に多大の參考資料が得られたので、今その主なるもの二三を紹介することにする。

一、在留民子弟の教育

米國太平洋岸中邦人の在留する所には、何處にでも日本語學校が建てられてあるが、設立者は日本人會で管理監督は學務委員會、經費の支出は民團と保護者で領事などに關係がないので、校長教員は殆ど民團の雇人の如き立場に置かれてある。従つて學校經營の困難なことは想像以上で、時には校長の意志が教育の上に全く實現し得ないこともあるらしい。當地の語學校も元は純日本式の教育を施したが排日熱が盛になつたので一時米化主義の教育に變り、而も語學校は單に日本語を授けるばかりでなく、却て米化を奨励するやうになつたが、排日の

根柢が人種偏見にあるを知つて、今では稍日本主義の教育に傾いて居る様だ。つまり初めは日本主義、次は自主日從主義、今は自主白從主義に變つたのだ。そこで日系の兒童は白人學校に學び、放課後一時間又は二時間位日本語學校で日本語を學びつつ、日本人としての教育をも受けるのだが、當地生れの日本兒童の素質と成績とは割合によいといふことだ。曾て加州大學で加州全體の兒童の能力を試験したことがあるが、其際の成績は平均點は黑人・支那人の上で、日人八八點、白人九〇點。然るに桑港の日本兒童は九二點。次に語學校教師の勤務は午後又は夜分で俸給は割合に安い、爲に他に職業を持つて居る者が多いやうだ。殊に僧侶又はキリスト教の牧師が傳道の傍教師をして居る者も少なく、中には無資格者も珍らしくはない。現在北加に於ける日本語學校數三九校、教師數七八人、園兒三五七人、兒童三二四三人、日語の教育は益々隆盛に向つて居る。

二、加州の教育方針と教育制度

アメリカの憲法では教育は各州の法律で自由になることになつて居るので、教育のすべては州法で決定される。そして立法機關としては州議會があるのだが、議會を通過した州法でも市民の一般投票で否決された場合は法律とならないのだから、其時の都合で教育の法律は意外の變化を生ずることがある。そこで各州の教育は夫々特色を持つて居るが、加州の法律によると義務教育の期間は十二年間で、十八歳迄は何人も教育を受けねばならぬことになつて居る。經費は市町村から半分、州費で半分出すので其總額はかなり潤澤なために、内部の設備は大に完備し、特別教室は勿論講堂と兒童圖書館のない所はない。それに兒童の學用品は全部校費支給で、中には幼稚園や一年の兒童に食事迄も給し、兒童登校下校の際には市の自動車で送り迎へをやる所もある。

授業日数は小學校一八一日、中學一八三日で一週は五日、一日は大體六時間、教育系統としては小學校八年（グランマースクール）、又はエレメンタリースクール）、ハイスクール四年、大學四年、計十六年だが、近來は六、三、三、四の制即ち小學校六年（プライマリースクール）、ジュニヤハイスクール三年、セニヤハイスクール三年、大學四年計十六年制が多くなつて來

たこのことだ。

加州の教育方針としては知能の向上を計ることと、民主主義の向上する様に訓練して善良なる米國民を養成することだ。而して善良なる米國民とは憲法を尊重し國家に身命を捧げ、納税の義務を履行し、國家を目標とする黨員に對して正しき投票をする人を指して居る。つまり加州の教育方針としては一方には知育を根本とし、他面には公民的教育を目當として居るのだが、一般德育の含まれて居ない所が米國教育に對する考へ所だ。併し近來は修身科特設論が相當盛になつて來たこのことだ。

三、加州の排日狀況

内地にあつて排日問題がかなり強く僕の頭を刺激して居たことと、外交問題で米國の横暴を甚だしく不快に思つて居たので、直接彼等に接したらさぞ不快に感ずるであらうと思つて居たところが、旅行して見るとかやうな氣分の起らないのは意外だ。彼等を訪問して見ると快く迎へ、接すれば親しみが有り且つ何事も無遠慮で明け放しのところは、まるで最初から舊

知のやうだ。途中道を尋ねなどすると極めて親切に教へ、時には二三丁位の案内さへしてくるので、旅行だけでは全く排日の気分がわからない。確に米人は個人的には親切だと感じたが團體的には強い強い排斥の行動を執つて居るといふ實例を聞かされた。例へば邦人の土地所有を否認し、我移民の入國を禁じ、條約によつて得たる我歸化權すらも事實上は之を認めざるのみか、既に歸化して居た者でも市民權は與へられない等のことは、内地人の熟知して居ることだが、其他あらゆる排斥の手段を執つて居るので、我在留民は極度に憤慨をして居る。試に二三の實例を擧ぐるならば、

十年一日の如く辛苦艱難勞働によつて得たる農園さへも、今は表面白人の名義に代へて辛うじて其實質だけを持つて居るのだが(米國で生れた子のある者は子供の名義で)、若し事實が暴露でもしよものなら直に沒收される。また一度土地を賣却でもすれば、再び邦人には賣り手も貸手もないのだから邦人の所有地は漸次減少するばかりだ。其他商店を開かんとし店舗の貸手もなく、資本の入用に迫られても銀行は貸出しをしないので、邦人としては全く經濟的發展の機會が得られないわけだ。

又専門學校に在學中の邦人子弟には學生俱樂部への入會を拒絶し、其卒業後に於ては白人の會社も商店も全く之を採用せぬばかりか、醫業・辯護士を開業しても白人は一切之を信頼せぬ有様だが、これ等は全く人種的偏見の結果でこの種の排日が少くない。例へば中流以上の住宅の賃借不能は勿論、時には普通の家屋さへも貸さぬこともあり、特に甚しいのは米國生れの邦人子弟はすべて米國市民たるに拘はらず、或水泳場では其入場を拒絶したり、團體見學の際でも特殊の場所は日本市民の參觀を拒絶し、白人に對して邦人との結婚を禁止するなど、彼等は飽くまで感情的だ。かくの如く公私共誠に徹底した排日の渦中に奮闘する邦人の辛苦は實に容易でない。

我同胞等は初め排日の原因が、風俗習慣の相違にあると考へてしきりに米化につとめたが、一向緩和されなかつた。或は白人勞働者の競争者として經濟問題に起因せるものと認めて、勞銀を白人同様に釣り上げてみたが、今尙排日熱の衰へざる所から考へると、彼等の理由とする所の不同化民族・勞銀問題等は全く一片の口實で、その眞意は主として恐怖心と人種偏見の結果らしい。即ち排日の原因は大體次のやうである。

- (一) 日露戦争に於て白人に打勝つた結果、白人優越感を傷つけられて、我國に對する嫉妬・恐怖・憎惡の念を生じさせたこと
- (二) 加州耕地の開拓力の偉大さに驚き、わが民族の奮闘力を怖れたこと
- (三) 出産率の大なる爲に、將來日本市民が絶對多數となりて支配階級となることを憂ふること
- (四) 白人優越感より來る人種的偏見の熾烈なること
- 以上を以て見れば、白人の正義・人道・博愛等は白人間に限られて、異人種には一向適用されないわけだ。かく人種偏見を以て邦人を排斥するのでは、我々は如何なる手段を以てしてもその排斥を免れる事が出來ないと覺つた我在留民は、極度に緊張して自衛自活の手段上民族の結束を固くし、日本人は日本人として對抗奮闘する外道がないと云つてゐるが、誠に悲壯の言である。

桑港に於ける軍艦のアットホーム

當地の官民並に在留邦人の大歓迎を受けたる我練習艦隊は、一日アットホームを行つて當地の關係者一同を兩艦に招待した。來會者中白人客は少數だが、在留民の老若男女で艦上は立錐の餘地もない。中には六七十哩の遠方から來た者もある、何れも母國に歸つた様な心持になつたと云つて心から喜んでゐる様を見てはこちらが嬉しくてたまらない。誰にあつても親戚のやうな氣分で談話が交はされる。例によつて日本酒は無盡蔵で上戸連の喜びは一通りではないが、殊に白人連は夢中に喜び婦人などが大杯を傾けて悦に入つてゐるものも珍らしくない。こんなことは日本婦人には見られぬ藝當だが、白人の婦人は飲酒や喫煙は平氣でやる様だ。邦人側に歓迎されたのは、すし・しるこ・だんご・うどん・そばなどで、それに水兵藝術團の芝居などは在留民を慰むるにはふさはしいやり方だ。特に多年排日の中に奮闘し、或は極度の壓迫を受けつつ、忍ぶべからざるを忍び、時々太平洋の彼方を眺めては遠く思を祖國の空に馳せて、人知れず悲憤の涙にくるる加州同胞が、本日艦上に於て直接我海軍の威風に接しては、感窮つて落涙する者すらあるのは當然だ。

桑港よりサンピトロへ

桑港の滞在八日間、八月五日は軍艦出港の日だ。僕はまたサンピトロ迄便乗することになったので、午後五時軍艦と共に桑港を辞した。兩艦が金門を通過して外洋に出でんとする頃、ふと港内を觀れば海上には船舶の往來繁く陸上には日將に暮れんとして電燈の光が力なく輝き、赤煉瓦の色があざやかに見える。日本なら夕餉の煙のたなびく頃だが、此處ではそんな自然の情調は味へない。殊にあまりに人工的のかたくりしい市街であつたと云ふ印象が強いので、此處を去るのが名残惜しくも感じない。士官室に来てみると滞在中の奇談や珍談で興じてゐるが、明朝の上陸準備があるので私室に歸りとう／＼午前三時半迄手紙を書き續けた。明くれば六日、五時に起床して前甲板上から海上を望むと、どうやらサンピトロへ近づいたらしい。兎に角陸地がかすかに見え時々漁船にも遭遇する。やがて日章旗を掲げた小汽船が遙彼方からやつてくるのは在留民の歓迎團と首肯される。その後も次々と歓迎船が兩艦の左右に集つてくる。港内までは尙十哩もあるとのことだが、かかる遠方迄も出迎へに來たこ

とを思ふと、同胞の心中が察しられて極度に嬉しい。かくて兩艦は空砲を見舞ひつつ入港し、棧橋に横付けしたのは午前八時。在留邦人は黒山をなして迎へてくれた。

サンピトロ港

サンピトロ港はロスアンゼルス市の關門で、船舶の出入も相當に多い。殊に羅府附近から多量の石油を産出するので、それが内地及び海外へ搬出される關係上、石油船の出入が盛だ。それに海岸には多數の漁夫が居住してゐるので出漁船も亦多い。これ等の漁船は何れも機關船の小なるもので、大抵は四五人乗、これで一週間も外洋に出漁する勇敢さには驚くが、これは殆んど邦人の仕事になつてゐるのだ。尤も伊太利人と少數の支那人がわが競争相手となつて居るが、漁業は邦人の最も得意とする所で、彼等は到底相手にはならない程邦人側が盛だ。漁獲したものは多く罐詰にするので、邦人所有の罐詰工場もあれば、また海岸の家屋の多くは邦人の住居である程その發展振りを見せて居る。尙此附近に邦人經營の温泉があると聞い

だが、時間の都合で見られなかつたのは残念だ。日本町のある所は出島だが、海岸には白人の商店が軒を列べて相當の繁榮を示して居る。此處からロスアンゼルス迄は約四十哩で、電車では（賃金八十仙）約一時間位、自動車でも走つても同じだ。入港の日ロスアンゼルス猪ノ口氏夫妻が自動車で出迎くれたので、同氏の運轉で羅府見物へと出掛けた。

羅府見物

一、市内の氣分

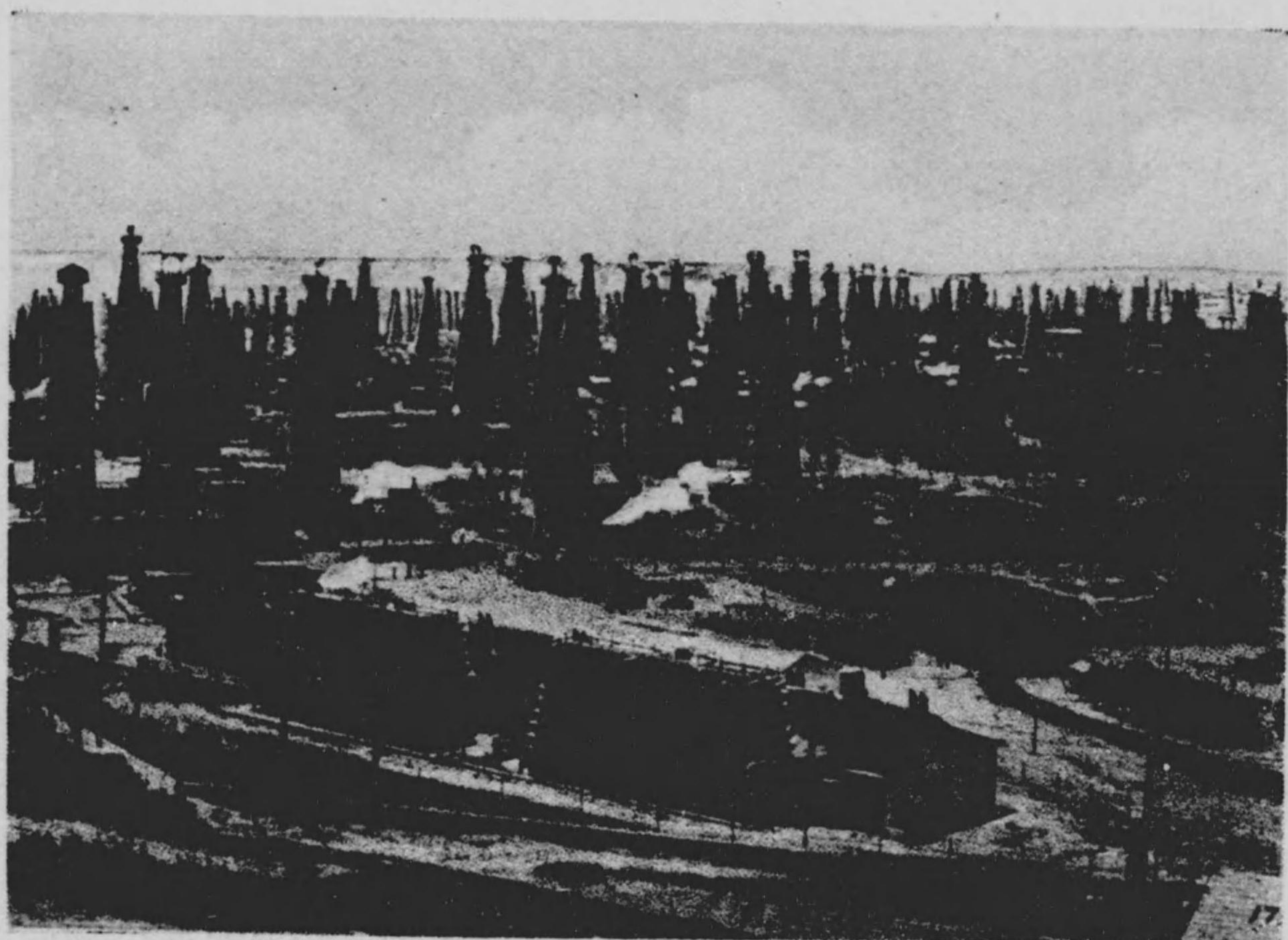
サンピトロから猪ノ口氏の自動車に乗じて走り出したが、例によつて一直線のアスファルトがきらきらと光つて居る上を疾走するので、少しの動搖もなくて誠に乗心地がよい。速力の制限は四十哩ださうだが、時々スピードをかけるので其際は宙を飛ぶ様だ。路の兩側は平坦な地面で所々農園があるが、人家はぼつり／＼とあるだけで殆ど市街地とは思へない。これ

で世界最大面積の市街だとはあきれたが、道路だけは整然と出来て居て何時でも建築の出来る様になつて居る。途中右手の畑中と左の小山に數知れぬ櫓の林立して居るのが石油井戸で、見渡す限り一木もない大平原に角錐狀の櫓が亂立天を衝いて居るのは一種の奇觀だ。三十分程で市街に着いたが、場末は何處も同じで家造りや店の様子が何となく田舎じみて道路の舗裝も桑港には及ばない。併し本通はさすが大商店が櫛比し自動車の往來も頻繁で、それに桑港の如く高層の建築物が少く、大抵は赤煉瓦造りの四五階建であるから桑港の如く固苦しい氣がしない。市内の道路は大體に於て碁盤式ではあるが場所によつては斜線も曲線もある。人道は敷石又はコンクリートで街路樹のないことは桑港と同様、誠に殺風景で寧ろ不快を感じるが、住宅地には木も草もあるので柔な感じを與へる。住宅の構造は多く木造平家建で、床の高さは五六尺、間数は五六室の所が普通で、建築費は中流家屋一戸千五百弗位の所が多い。中には一萬弗内外の住宅も珍しくはないが、一般に木造の多いのは氣持がよい。それに庭は一面緑の芝生で垣根も門もなく全くの明け放しで、陽氣の點は如何にも米人の性質が現はれて居る。此日は市内の一般的狀況を観察する目的で市内の各所を走り廻つたが、桑港

に比して何處となく生氣が満ちて居る様な感じがした。

二、青物市場

セントラル街九丁目の電車路から少しはいつた所の宏大なコンクリート建が、當市經濟の鍵を握つてゐるマーケットだ。數千坪の矩形の地面の外廓にはコンクリートの建物が道路に沿うて建てられて恰も城廓の様だ。建築費だけでも百五十萬弗で米國一のマーケットだと稱して居るが成る程大きい。午後の九時頃から荷がそろそろ集つて來て、十二時には幾千とも數知れぬ貨物自動車が附近一帯の道路を埋め、爲に交通も杜絶せられる有様だ。午前一時から市が開かれ朝の六七時頃迄には全部の取引が終つて、貨物自動車は跡方もなく消え去りまるで附近は嵐の後の靜肅さを示して昨夜の騒ぎは夢の様だ。運ばれた貨物はオレンジ・林檎・桃・梨子等を始め西瓜・メロン・トマト・キャベチ・其の他あらゆる果物と野菜類だが、これ等のすべては直ちに其場で貨車に積まれシカゴ・紐育等の中部・東部の都市に送られて全米の需要を満たして居るのだ。つまり全米に供給する果物・野菜の原産地が加州で(特に南加)、羅



石油井戸



ロサンゼルス海の水浴場

府が其配給の鍵を握つて居る關係上、當地農業の盛衰は直ちに米人の日常生活に大影響を及ぼすのみならず、これが當市の經濟界を左右するわけだが、而も此荷主の殆ど全部が我が同胞だから、限りなく嬉しく且つ大いに心強く感じらる。尙第七街にもマーケットがあるので其處も見に行つたが、大體此處と同様で荷主も殆ど日本人ばかりだ。邦人は經濟方面に於ては到る所で實質的に發展し、羅府の野菜市場に於ても眞に市價を左右する程の勢力を持つて居る。

三、石油井戸（油田）

羅府には近來二大油田の發見があつたので一躍米國のオイル中心地となり、其關門たるサンピドロは世界第一の鑛油輸出港といはれて居る。一九二四年の輸出量は實に千五百三十四萬五千九十九噸を示し、産額は年一億四千七百七十六萬二千四百五十九バレル、一億五千八百二十九萬一千五百弗で加州全産額の七割四分を占め、これが當市の生命とも言ふべきだ。なほ當地の油井からは天然瓦斯の噴出が夥しいので、これ等は家庭用・工場用として供給せらるる關係上、瓦斯料金も鑛油も極めて低廉なので、これが市民の生活に大影響を及ぼすわけだ。

サンビドロに上陸して羅府の中心地に向ふ途中、右方の平地と左方の丘陵に幾百とも数知れぬ三角櫓の高く聳えて見えるのは油井だが、先づ右手に見えるロングビーチ附近のものを視察することにした。油井は何れも田畑らしい平地に設けられ、一井毎に十數丈の鐵製三角櫓が建てられて鑛油は動力によるポンプで汲み上げられるのだ。一井一日の産出量は平均三百弗とのことだから、一井あれば優に生活が出来るわけだ。曾て邦人の所有地四五十坪の中に五箇の油井が設けられ、それより多量の噴出を見たので莫大なる利益を得たといふことだ。井戸の深さは概ね五千尺位、一井を掘るに十萬弗を要すとあつては資本家も亦容易ではないが、うまく掘り當てれば極めて割のよい事業だ。こんな荒地を掘ると直ちに石油が噴き出すなどは、實に天恵の多い米國だと羨しく思はれる。

四、ハリウッドの活動寫眞撮影場

羅府は活動映畫王國の名に背かず、實に世界映畫の八割四分は當地の製作にかかるもので、これに従事しつゝある男女俳優は二萬を算し、一九二四年の製作量は未現像フィルム約三萬

哩、現像分は約七千五百哩、一億六千萬弗に達すといふことだ。撮影所は五十八箇所もあるのだが、何れもハリウッドの大自然十哩程の區域を背景として居るなど大袈裟なところは飽くまでも米國式だ。場内には山も川も谷も平野も備はり、所々假設の都會農民部落或は南洋の土人部落又はインデアン部落等も出來て居て、其間馬を走らせ自動車を驅り、又は汽車を走らせなどして撮影するのだ。また一方にはブラック建の邸宅や大廣間などが準備せられて室内撮影も盛に行はれる。場内の參觀は謝絶される筈だが、我練習艦隊の士官と一緒にいたので大に歓迎せられ、また撮影の實際から製作所までも限なく案内された。特に女優達が日本士官を珍らしかつて聯合撮影を申込み、舞臺衣装のまままで寫したのは滑稽だつた。一體ハリウッドは雨量が少くて常に空氣が乾燥し、氣候溫暖にして（最高七一度最低五四度三平均六四度四）四時花卉を有する等、フィルム製作の必要條件を具備して居るので特にこの事業が發達し、且活動映畫界の世界的發展と相俟つて益々發展の氣運に向つて居るのだ。現在當地のフィルム製作會社數二百有餘、資本十二億五千弗（全米十五億弗）俳優並に其他の従業員に支拂ふ毎週の給料實に百三十萬弗と聞いてはちと驚かざるを得ない。ハリウッド

の町はづれには俳優部落とも稱すべき一大邸宅地があるが、四圍の状況は清く閑で恰も一大公園の如く、その華美幽麗なる境地は眞に天國を想像せしめ、また建物の壯麗なる恰も王侯貴族の如くに感ぜらるる迄に贅を盡し美を盡し居る點から想像しても、彼等の豪華な生活振りが思ひやられる。併しこれが羅府の風教上には少なからず悪影響を與ふるに相違ない。

五、ベニスの海岸

ベニスの海岸とオシアン公園は羅府の遊園地、市民の娯樂場で、東京の淺草公園、大阪の千日前のタイプとも思へるが、其規模の大なるのと娯樂機關の完備とに於て到底其比でない。見せ物を始めとして各種の遊戯場・簡易賭博場・飲食店などが軒を並べ、而もそれが皆満員の盛況だ。特に賭事の繁昌して居るのには驚く。射的にしても客と客とが互に賭け合ひ、すべの遊戯は何れも賭博の手段に使はれる。而もこれ等幾十種かの遊戯は極めて單純なもので殆ど技術を要しないものばかりだから誰にも出来るのだ。負けても勝つても金錢には執着なく勝負其物を樂しむ所は、香氣で無邪氣なそして投機心の濃厚な米人の氣質がよく現はれて

居る。婦人の娯樂的趣味がまた一風變り、ハンマー打の如き腕力的のものや、釣瓶落しのやうな乗物に乗り嬉々として居るなどは、全く男性的で冒險的で如何にも強烈な刺激を欲する人間だと思つた。又好奇心を満足させるおぼけの家なども繁昌して居るが、此處は梯子段を登つて室内に一足はいると、突然床が一尺ばかり落ちるので入場早々どぎもを抜かれる。橋を渡りかけるとそれが前後に動くので手摺に支へられつつ辛うじて通過し一安心すると、急に下から吹きとばされて青くなつたり、また婦人の裾などは頭の方まで吹き捲くられて臀部まる出しの姿などは實に滑稽だが、前に廻つてこれを眺めて居る人々の様子も亦呑氣なものだ。其他こんな滑稽な或は恐しい箇所を十回餘も通過させられながら、料金を拂つて喜んで居る米人の性格が面白い。ボール投げの遊戯なども實に滑稽だ。妙齡の美人が椅子にもたれ其傍に丸札を出し、これにボールを投げ當てると其美人が急轉直下水中に墜落する仕掛になつて居るので、若者達は嬉しがつてしきりに投げ付けて居る。かかる馬鹿氣た遊戯が繁昌して居る割合に、飲食店の少いのは日本とは著しい相違だ。

六、ロングビーチの歡樂場

此所は海水浴を中心としての享樂場だが、一哩餘に亘る砂地の海岸に幾千萬の男女が海水着のまま水を仲介に相戯れて居る様は、日本人には見られた圖ではない。而も海岸に沿うてかなりの幅員を有する人道は遊山客を以て満たされ、片側には食料品店・飲食店又は土産物の賣店が軒を列べて往來の雜沓限りなく、一面享樂的の設備も遺憾ないとの事だが、米人の享樂的な生活振りには驚かざるを得ない。海水浴の状況や散歩者の氣分などを觀察しつつ歩を進めると、十數丈の旗竿の尖頭に體を縛して靜止せる奇人が見えるので、其理由を尋ねたら三週間の空中生活を續くべく既に二週間を経過したと聞いて、米人の突飛さには少なからず驚かされた。ロングビーチからサンピトロの棧橋までは約四五哩、其間自動車の珠數つながらの光景を見、流石は自動車國だと首肯した。

七、何所も満員の活動寫眞館

猪ノ口氏の接待で活動寫眞館へと自動車を走らせて見ると、豫定の館は満員客止めであつたので他の館に行つたらやはり満員、そこで次へ次へと探し歩いてとうとう一時間もかかつて漸く入場することが出来た。入場料は僅か八十仙だが館の壯大にして美しいのは驚いた。我帝劇などは二流位の格にしかなれさうもない。館の構造は大體帝劇式だが、廊下のみが二階三階で座席は三階から下まで難段式に造られ、等級の別の無いのはデモクラティックだ。観客は殆ど若い男女のみの様だが、全部が夫婦といふわけではなく、寧ろ夫婦ならざるものが多いとの事だ。勿論子供は絶対に混つてゐない。かかる享樂の世界は成人の獨占圈内で、子供は勝手に家庭で寝てゐることなどは、如何にも個人主義的で利己的なる米國風が窺はれる。併し米人は人の迷惑になる行動を嫌ふ結果として、集會の場所に乳兒などを連れる事は絶対にないといふことだ。日本人は子供の爲に物見娛樂をするのだが、米國では子供よりも先づ第一に自己の楽しみを求むることが普通一般の事らしい。かかる所に迄彼等の個人主義が現はれてゐるが、只感心に堪へぬ事は彼等の集會道德の高い事だ。館内で私語する者などは一人もなくまるで水を打つた様に靜かだ。やがて幽麗なる音樂が始まると輕装の美人が樂

に應じて踊り出し、これが電光の放送で五彩を放ちて或は遠く或は近く、ために舞臺面は色彩の變化によつて其美は龍宮かと疑はれ、舞踊の姿は天女の再來かと思ふばかりに美しい。而も光彩の變化と共に雪の肌が無遠慮に露出されるので青春の血をそそるやうだが、日本人には却つて見る方で遠慮する位だ。舞踏が済むと次は獨唱・音樂或は茶番狂言・歌劇などで、舞臺面は次第に轉廻するがやり方はさすがに進んでゐるやうだ。特に民衆音樂の進んでゐるのには感心させられた。樂隊が靜に合奏すると歌曲が映寫される、民衆は樂隊の指導で練習して、四五分の後には滿堂合唱が出来る様になる所などはまるで唱歌練習場の様だ。映畫は極めて僅で全時間の三分の一乃至四分の一位の所で、日本の活動館とは大いに趣を異にしてゐる。但し感心なのは國家觀念の培養に着眼してゐることだ。映畫にはその日のニュースの外必ず青年の軍事教練、或は義勇兵の活動振り、又は軍隊生活の紹介等、民衆を國家的に統一せんとする材料は必ず出すやうになつてゐる。又國旗が現はれると民衆は敬虔な態度で之に敬禮をする。つまり米國二萬有餘の活動館が移住民の米化運動、國民統一運動の一機關をなしてゐるのだがこの點などは、營利のみ目的としてゐる我活動館の學ぶべき點だと思つた。

八、リンカーン公園

此所は四五エーカーの面積を有する有名な公園で、商業中心地に近いのと本市最古の公園の爲に當市の民衆娛樂地といはれて居る。園内の池上には四時舟遊びの絶間なく、且つ園地の殆ど全部が緑の芝生を以て滿されてゐるので、晝食後の散歩場に利用される外、來つて芝生に横はる者、木蔭に讀書する者、運動する者など毎日幾萬かの人が利用するのだが、別に眺めや風景等のない單なる廣場だけでは日本人向ではない。一體に米國の公園は廣場・散歩場或は運動場と思へば間違ひはない。大自然と隔離された無味乾燥の人工的市街や石造の中に器械的生活を營む米人には、綠色の草木と廣場とが無上の慰安場となるのだが、日本人の公園としては大自然の趣と風光の雅致がなくては満足が出来ぬ。近來日本が米化して公園までが人工的になつてくるのは大に考物だ。

公園前の鰐園はまた見物だ。丈餘の大鰐が小池の邊此所彼所に横つてゐるがよく人に馴れて

ある。高いびきで眠れるもの、木蔭に休息するものなどが一度園丁の合圖があると、直ちに駆け集つて餌を争ふ様は流石に瘳猛に見える。小鰐の群が幾百千の集團をなして獸肉の大塊にかちり附いてゐる様はむしろ愛らしい。

九、グリフィス公園

羅府市中に散在する公園は四十七ヶ所で、其面積實に四七五三エーカーと云はれてゐるが、グリフィス公園は其最大なるもので、面積實に三七五一英町（面積に於ては米國第一だ）。園中には二ヶ所のゴルフ場や庭球場・動物園・噴水・沼・運動場等の設備があるの外、丘あり、谷あり、加ふるに天然林の鬱蒼として、如何にも自然の趣を有することは、米國には珍らしい公園だ。

十、山城御殿

獨人バーンハイマン氏が巨費を投じて造營した純日本式の建築山城御殿は、ハリウッドの丘

上高く東洋の文化を誇り顔に市街を瞰下してゐる。建物は徳川時代の建築様式によつた御殿造りで、其坪數數百坪、廣大なる庭園また純日本式で、築山・泉水・あづま屋等に調和せる石燈籠・石橋・鶴などを配し、一木一草も悉く日本産ならざるはなく、而も植木の刈込までも全く日本式に出来てゐるので、永らく内地をはなれた旅行者に取つては極度の慰安材料だ。

十一、日本人町

羅府在住の邦人は約二萬人、其内商人はアラメダ街より第一街にかけて市の繁華な一區劃を占有し、所謂日本人町を造つてゐるのだが、意外に思つた事は何れも大商店が軒を並べてゐる事だ。桑港の日本人町などは支那町の一隅に殆ど附屬式にあるのだが、此所では支那町などの比較にならぬ程繁榮を見せて居るから愉快だ。即ち大ビルディングのアジア商會を始めミカドホテル・太平洋ホテル・肥後屋旅館等の大建築が白人の大旅館と雄姿を競ひ、其他幾多の中小ホテル・大料理店・洋品店・寶石店を始め、あらゆる商店の生氣濺刺たる光景を見ては涙を催す程嬉しい。殊に此所では日本料理・うどん・そば・福神漬・鹽から・乾苔等の食料品から

衣類・書籍に至るまで内地にある品物は何でも求められる。ただ価格が内地に比して甚だしく高價なだけだ。和食一人前三ドルから五六ドル、日本酒一合一ドル半、福神漬一皿三十仙、旅館は寝るだけで一泊三ドルから五ドル、(白人旅館も同様) 書籍は定價五圓のものが五ドル、そば一盛二十仙、先づ大體日本で二圓のものが二ドルから二ドル半位で、中には五十銭位のものが一ドルするものもある。

併し果物は却て廉價で、メロンが二十仙、西瓜が二十仙から三十仙。内地ではメロンなどは贅澤品の分だが、此所では食後には必ずこれが食べられるので、大分旅行の恩恵を得たわけだ。序に當市に於ける邦人の商業並に之に類似の職業を調べた所が、

銀行二、會社十四、藥舖十三、法律及仲介事務所三十二、製造所十五、菓子店十二、豆腐屋六、美術貿易十六、寫眞器十四、家具農具十二、食料品三十五、貸自動車十一、運送業二十、自動車修繕十一、保險業二十一、時計商九、印刷所四、魚市場七、雜貨十七、書籍店五、樂器商三、洋服店二十六、洗濯商百、自轉車業十八、農物産二十四、花商百十四、日本料理四十八、洋食七十五、書物商百四十四、植木園四十、靴商二十、大工二十二、ホテル二百、

支那料理四十、理髮湯屋九十四、果物煙草六十三、庭園請負二百四十八、病院齒科醫四十六、獸醫十五、産婆二十一、チャブスイ六十五、

等であらゆる種類を網羅してあるが、大體に於て共食的で白人相手の商賣の極めて少いのは遺憾だ。ただ見逃す事の出来ないのは僅十七軒の農産物仲買商が取引高千萬弗に上る事と、白人相手の切花商の収益の極めて大なる事で、中には百萬弗の資産を築き上げた人もあると聞いては會心の笑を漏さずには居られない。

羅府教育者懇談會と第二世問題

羅府第一學園長島野氏を始め、當地日本語學校長約二十名の人々が我等一行の爲に懇談會を催してくれたので喜んで出席した。會場は日本料理店なので如何にも内地に居るやうな氣分が湧いてくる。それに當地在留の教育者諸君が眞から款待してくれるので、旅の疲れは頓に癒された。

食後互ひに當地の教育状況を各方面から説明してくれたが、第二世問題について極めて重大視されてゐる事には大いに共鳴した。第一世は腕一本で今日の地位を築き上げた大なる奮闘力を有してゐるものの、若し第二世が之を本質的に相續が出来なければ、日系市民の將來は誠に慘憺たる状態となるわけだが、遺憾ながら衆論は悲觀説だ。

是等の人々の意見によると、第二世は元氣に乏しく、奮闘性を缺き、勞働を嫌つてホワイトカラーの生活を希つてゐるのだが、白人側では日系たる以上、如何なる専門的の修養と技術とを備へてゐても絶対に採用せぬので、年々高等遊民が増加し、遂には健全なる家庭生活を攪亂するに至るとの事だ。加ふるに第二世は外形的には白人式の習慣を得てゐるものの、皮相淺薄で白人の有する美點の本質には觸れてゐぬ爲に、白人に比して一步を譲らざるを得ざる状態だ。之を日本人に較ぶれば對個人道徳が空虚で、特に孝道若しくは恩誼を解せざる點に於て殆ど比較にならぬ程低級人となるわけだから、此儘では將來低級なる特殊部落民となるの外はないと憂慮されてゐる。

かかる事情にあるので、第二世の教育に就いては家庭も學校も特に力瘤を入れてゐるが、教

育方針なども純日本式でやつてゐる様だ。初め當地の日本語學校は日主白從主義であつたが強い排日に遭遇してからは全然米化主義となり、遂には極端なる米國追従になつたものの、米人の排日は人種的偏見が根柢で、邦人の顔面の白化せざる中は到底排日の止まざるを看破した結果、此に強き民族的の自覺となり、日本人として團結して對抗的に奮闘する外に道がないと稱して、今では極端なる日本主義の教育となつて居る。其意氣の盛なるには敬服するも、他國內に無形の日本帝國を建設せんとする考は同意出来ぬ。尤も第二世は晝間白人學校に於て、米國市民としての教育を受け、放課後一時間位の日本語を學ぶ爲に日本語學校に通學するのだから、此考である方が結果に於ては適當かも知れないが、第二世に對しては我民族發展の大理想を與へねばならぬと思ふ。

羅 府 大 觀

ロスアンゼルスは最近迄は一寒村に過ぎなかつたが、今では米國太平洋岸に於ける第一の都

會を誇り（全國都市中第五位）、人口百二十萬を有して面積の廣大なる點（四一〇英町）に於ては世界都市の最大と云はれてゐる。此所は元メキシコの一部であつたが、一八四七年米墨戦争の結果米國の領土に歸し、一八五〇年市制施行の當時人口一六二〇人に過ぎなかつたのが、一九〇〇年には十萬人となり、更に桑港の震災以來此地に移住する者が續出して人口三十萬を超えるに至つた。其後僅二十年で一躍世界的の大都會となつた所以のものは、邦人の手で開拓された農園と、油田の發見及び活動フィルム生産によるので、今や米國に於ける石油・野菜並に活動フィルムの中心地として富を集めて居るのだ。従つて物資の集散夥だしく一九二六年に於ては八億六千餘萬弗（内、對外貿易一四〇〇萬弗）を示し、沿岸の通商は國內第一位で全國の七割四分を占めてゐるのを見ても商業の盛なる事が窺はれる。旅客數は年五十萬人を超え、之が設備としては旅館六百八十七軒、此室數一萬二千九百とアパートメント十四萬室を有し、同時に二十四萬人の旅客を收容し得ると稱してゐる。

又當地は原料豊富で動力が低廉なために、製造工業が發展し、工場數四千八百、職工十七萬千人、生産額は實に十一億五千萬弗に及んでゐる。商工業の發展につれて經濟力もまた益々増

大し、市内三十六の銀行に於ける資産高十億弗、預金高は九億弗を超えてゐる。かく金融狀況に活氣があるので建築は日に日に行はれ、一ケ年間に於ける其件數は五萬一千餘、其價格二億五千餘弗で、太平洋岸の主要都市の總額を超過すること約五百萬弗、實に紐育に次ぐ盛況を示し、且家屋所有者等が三割四分七厘とあつては、個人の經濟力が相當大なる事を物語るものだ。自動車數の多い事も米國第一で三人に一臺の割合を示し、一方劇場數の四十餘ヶ所もある所から察すれば、よく働きよく遊ぶ市民だと思へる。

尙我國との貿易關係に於ては、日本への輸出が第三位を占め、種目としては燃油・原油で年額約四百五十萬弗。次いで未製綿の百萬弗、其他はガソリン・硼砂・魚肉等年總額約七百四五十萬弗を示してゐる。日本からの輸入は主として在留邦人の需要に應ずる雜貨及食料品等で年額百餘萬弗に過ぎぬ狀況にある事は心細い。

羅府に於ける邦人の發展